

こおりやま広域 連携中枢都市圏ビジョン

「広め合う、高め合う、助け合う」
～ 持続可能な圏域の創生 ～



こおりやま広域圏

2019 年 3 月

郡 山 市

目次

I	こおりやま広域連携中枢都市圏ビジョンの概要	
1	策定の趣旨	1
2	連携中枢都市圏の名称及び構成市町村	1
(1)	連携中枢都市圏の名称	1
(2)	連携中枢都市圏の構成市町村	1
3	都市圏ビジョンの期間	1
II	圏域の将来像と人口目標	
1	こおりやま広域圏の将来像	2
2	将来の人口目標	3
III	こおりやま広域圏の現状	
1	こおりやま広域圏の概要	4
(1)	こおりやま広域圏の概要	4
(2)	構成市町村の概要等	5
2	圏域の現在人口と将来推計人口	20
(1)	圏域の総人口の推移と将来推計人口	20
(2)	圏域の年齢別人口の将来推計	21
(3)	圏域の人口動態	22
3	本市への通勤通学割合	24
4	経済産業の状況	25
(1)	産業	25
(2)	農業	27
(3)	製造業	28
(4)	卸売業	29
(5)	小売業	30
(6)	産業項目別県内シェア	31
(7)	有効求人倍率の推移	32
(8)	観光	33
5	都市機能の集積状況	35
(1)	医療・福祉	35
(2)	教育・文化・スポーツ	41
(3)	商業施設（大規模小売店舗）	48
(4)	工業団地等	50
(5)	衛生・上下水道	52
(6)	交通	57
(7)	消防・警察	61
(8)	国の機関等	63
6	財政状況	64
(1)	財政指標等	64
(2)	健全化判断比率	65
IV	連携協約に基づき推進する具体的取組及び成果指標	
1	全体像	66
2	連携事業一覧	68
3	具体的取組	70
(1)	圏域全体の経済成長のけん引	70
(2)	高次の都市機能の集積・強化	80
(3)	圏域全体の生活関連機能サービスの向上	85

I こおりやま広域連携中枢都市圏ビジョンの概要

1 策定の趣旨

我が国は、2014(平成 26)年に地方自治法を改正(2014(平成 26)年 11 月 1 日施行)し、地方自治体間の柔軟な連携を可能とする連携協約の制度を導入し、将来に渡り地域経済を持続可能なものとする連携中枢都市圏の形成を推進しており、同年の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」においても、本制度が地域活力向上の重点政策と位置づけられている。

さらには、総務省の自治体戦略 2040 構想研究会(2018(平成 30)年 7 月第二次報告)においても、2040 年頃に迫り来る人口減少・超高齢社会など内政上の危機にバックキャスティングの視点で対応し、圏域単位で対応が必須となる行政課題に取り組んでいく必要があるものと示された。

このような状況の中、福島県の中央に位置し、都市と自然が調和した働きやすく暮らしやすい環境を目指し、多様かつ高度な産業や研究機関が集積された「経済県都」として発展してきた本圏域では、2015(平成 27)年度の総務省「新たな広域連携促進事業」の実施を契機に、圏域内市町村と連携中枢都市圏形成に向けた協議を重ね、2017(平成 29)年には初の市町村長会議を開催し、2018(平成 30)年 9 月には中心市である本市が「連携中枢都市宣言」を行うなど、着実に圏域の形成に向け取り組んできたところである。

連携中枢都市圏は、相当の規模と中核性を備える圏域の中心都市(連携中枢都市)が近隣の市町村と連携して、人口減少・少子高齢化社会においても、一定の圏域人口を有しつつ活力ある社会経済を維持するための、経済成長のけん引などの機能を備えた拠点を形成するものである。

本ビジョンは、2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」への対応や、ICT の積極的な活用等、圏域内市町村それぞれの広域的・国際的連携も視野に入れた、主体的なまちづくりの理念と課題を踏まえた将来展望実現を目指し、その実現に向け関係市町村が連携して推進していく具体的取組の内容を示すものである。

2 連携中枢都市圏の名称及び構成市町村

(1) 連携中枢都市圏の名称

名称は、こおりやま広域連携中枢都市圏(略称：こおりやま広域圏)とする。

(2) 連携中枢都市圏の構成市町村

郡山市、須賀川市、田村市、本宮市、大玉村、鏡石町、天栄村、猪苗代町、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町

3 取組期間

2019(平成 31)年度から 2023 年度までの 5 年間とする。

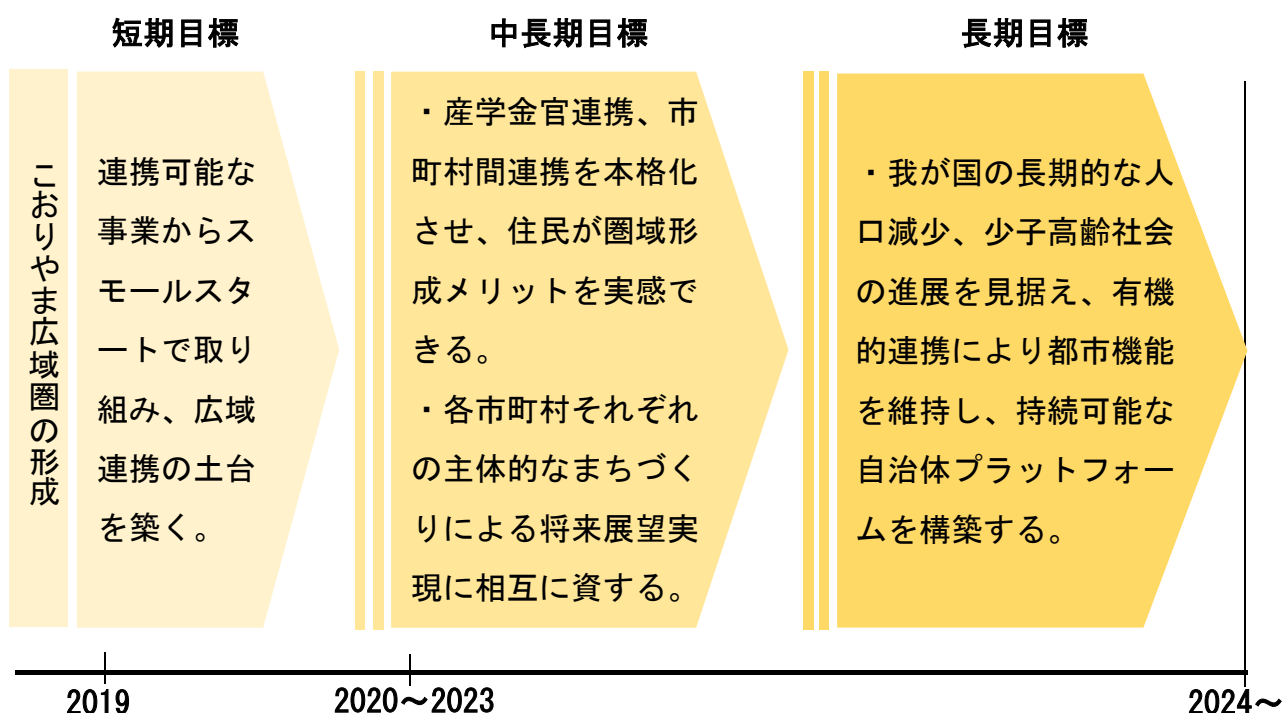
Ⅱ 圏域の将来像と人口目標

1 こおりやま広域圏の将来像

こおりやま広域圏では、各市町村それぞれの広域的・国際的連携等も視野に入れた、主体的なまちづくりの理念と課題を踏まえた将来展望実現に向け相互に資するとともに、広域的に学び、働き、暮らし続けることができる圏域づくりを以下の五つの基本的な考え方により推進する。

- (1) 災害発生時はもとより、平時においてもお互いの強みを「広め合う、高め合う、助け合う」関係を構築し、持続可能な圏域形成を目指す。
- (2) 多様かつ高度な産業研究機能集積を生かし、圏域内の公・共・私の境界を越えた主体的な研究連携を促進するとともに、国際的な視野にも立った広域産業圏として更なる発展を目指す。
- (3) 圏域の未来を担う若い世代、次の世代が十分に力を発揮できる機会と場を創出し、先人の知恵にも学びつつ、全世代参画型の将来展望と課題解決策を構想する。
- (4) 本圏域の発展が、より広域な国や県全体の発展に寄与するよう、I o T、A I 等も活用した先駆的かつモデル的な連携事業を推進する。
- (5) 地方自治の本旨である、圏域内の各自治体による団体自治と住民自治との有機的連携の下、本ビジョンの実現に取り組む。

**「広め合う、高め合う、助け合う」こおりやま広域圏
～ 持続可能な圏域の創生 ～**



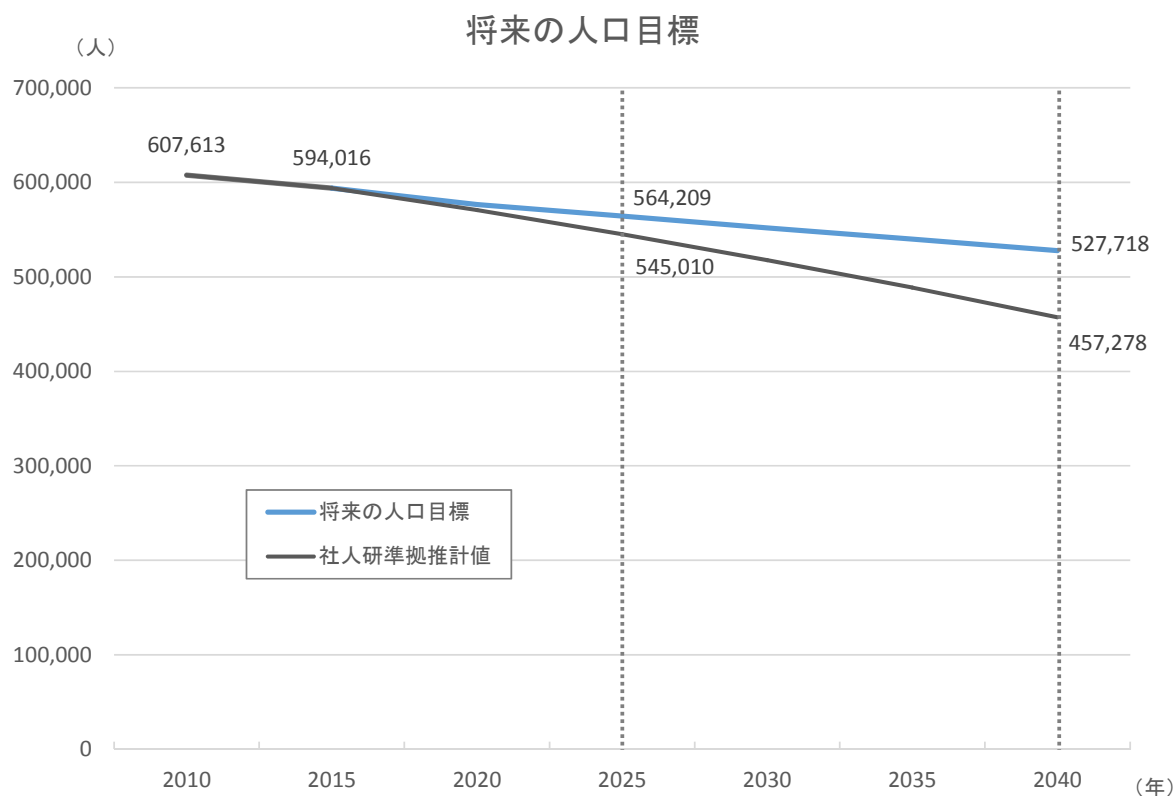
2 将来の人口目標

国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）に準拠した推計によれば、本圏域の人口は2015年の594,016人から2040年には約13万7千人減少すると推計される。

本圏域の将来の人口目標については、連携市町村の「広め合う、高め合う、助け合う」関係による持続可能な圏域の創生により、将来に渡り活力ある圏域を維持するため、15市町村の人口ビジョンの目標値も考慮し、長期的に50万人程度を維持するものとする。

			将来推計人口				
	2010年 *	2015年 *	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
将来の人口目標	607,613	594,016	576,425	564,209	551,919	540,028	527,718
社人研準拠推計値			570,858	545,010	517,655	488,621	457,278

* 国勢調査による実数



出典：各市町村人口ビジョン、総務省「国勢調査（各年次）」

※合併市町村は構成する旧市町村の数字を合算

※将来推計人口は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（2018年3月）」の福島県推計値準拠により郡山市が独自に推計したものであり、各市町村が策定した総合計画、人口ビジョンにおける将来展望人口等の推計値とは異なる。

Ⅲ こおりやま広域圏の現状

1 こおりやま広域圏の概要

(1) こおりやま広域圏の概要

こおりやま広域圏（下図参照）を構成する 15 市町村は、福島県の中央部に位置し、人口が約 59 万人（2015（平成 27）年国勢調査）で福島県内の人口の約 3 割を占めており、面積が約 2,968 km²で福島県の約 2 割を占めている。圏域の北部は二本松市や福島市、北塩原村と接し、西部は会津若松市や磐梯町、下郷村、南部は矢吹町や白河市、西郷村、東部はいわき市や葛尾村、浪江町、大熊町、川内村と接している。

また、東北を南北に貫く国道 4 号、東北自動車道、東北本線、東北新幹線と、日本海側と太平洋側を結ぶ国道 49 号、磐越自動車道、磐越東線、磐越西線や、郡山市から茨城県水戸市を結ぶ水郡線の結節点や、県内唯一の空港である福島空港が位置し、古くから人・モノ・情報が行き交う交通の要衝として栄えている。

中心市の郡山市の 1 月の平均気温は 0.8℃*、8 月の平均気温は 24.4℃*となっており、年間降水量は 1,163.2mm*と比較的穏やかな内陸性の気候である。一方で、猪苗代町や圏域西部の山間地では内陸型の積雪寒冷地に属し、12 月上旬から翌年 3 月までが積雪の期間となる。

圏域は福島県中央部の郡山盆地に位置し、北部は磐梯山や安達太良山、吾妻山といった吾妻山系に接している。西部は猪苗代湖に接し、東部は阿武隈高地に属している。猪苗代湖や羽鳥湖、あぶくま洞など景勝地も多く、豊かな自然に恵まれた地域である。

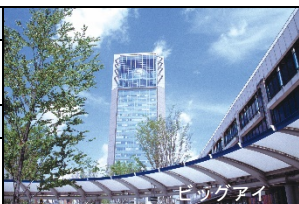
*気象庁 HP（過去の気象データ 平均値（年・月ごとの平均気温））

こおりやま広域圏図



(2) 構成市町村の概要等

① 郡山市

市章	所在地		所在地標高		
	郡山市朝日一丁目 23 番 7 号		海拔 245.00m		
	花	木	鳥		
	 ハナカツミ	 ヤマザクラ	 カッコウ		
概要					
（自然条件） 福島県の中央に位置し、面積は 757.20 km²と広域で、西は奥羽山脈と猪苗代湖に接し、東は阿武隈山系、北は安達太良山を望み、市街地東部を阿武隈川が南北に貫流している。年平均気温は約 12℃となっており、比較的穏やかな内陸性気候である。 （産業・経済） 東北有数の商品販売額、製造品出荷額を誇る商工業都市であると同時に、米については生産量、食味ともに全国トップクラスを誇り、「農業・商業・工業」がバランスよく発展している。高速交通体系に恵まれた立地を生かし、農・商・工さらには観光を加えた基幹産業の整備に努めている。 （観光・文化） 猪苗代湖の雄大な自然景観、多くの観光客が訪れる磐梯熱海温泉郷、張子の里高柴デコ屋敷、郡山布引風の高原など観光資源が豊富である。 また、2016 年 4 月には、近代郡山発展の礎となった安積開拓にまつわるストーリー「未来を拓いた『一本の水路』―大久保利通“最期の夢”と開拓者の軌跡 郡山・猪苗代―」が県内初の日本遺産に認定された。 文化面では、音楽活動が特に盛んで、多くの演奏会が市内で開催されているほか、毎年、市内小・中学校、高校の音楽関係部活動が全国大会で輝かしい成果を収めるなど、音楽都市こおりやまを全国に発信している。 （伝統行事・伝統芸能） 如宝寺境内で行われる「七日堂まいり」、奈良時代の伝説を今に伝える「郡山うねめまつり」、山車みこしが街中を練り歩き活気あふれる「安積国造神社の秋まつり」、市指定文化財である中田町「柳橋の歌舞伎」、三穂田町「富岡の唐傘行灯花火」等多数。 （特産品） 郡山産米「あさか舞」、うねめ牛、郡山の鯉、特選郡山梨、阿久津曲がりねぎ、布引高原大根、御前人参、高柴デコ屋敷の張子・三春駒、海老根伝統手漉和紙、奥州郡山いやしの福とんぼ、ブドウ蔓かご、味宿場郡山地酒探訪、蔵元焼酎吟粒、いも焼酎郡山太郎右エ門、たまござけ、OUSEPOIRE JAPONAISE（梨のリキュール）、郡山産ワイン「Vin de Ollage」（ヴァン デ オラージュ）					
将来都市構想・分野別将来構想					
将来都市構想：みんなの想いや願いを結び、未来（あす）へとつながるまち 郡山 ～課題解決先進都市～（2018 年 2 月策定）					
分野別将来構想：			基盤的取組：		
Ⅰ 産業・仕事の未来			・行政経営の効率化		
Ⅱ 交流・観光の未来			・セーフコミュニティ活動の推進		
Ⅲ 学び育む子どもたちの未来			・連携中枢都市圏構想の推進		
Ⅳ 誰もが地域で輝く未来					
Ⅴ 暮らしやすいまちの未来			（震災関連）		
			横断的取組：復興・創生の更なる推進		
沿革					
大 13.9.1 市制施行（編入小原田村）			昭 40.5.1 合併 郡山市、安積町、三穂田村、逢瀬村、片平村、喜久田村、日和田町、富久山町、湖南村、熱海町、田村町		
昭 29.11.1 編入 富田村			昭 40.8.1 編入 西田村、中田村		
昭 30.1.1 境界変更 高瀬村の一部			昭 45.11.1 境界変更 須賀川市		
昭 30.3.31 編入 大槻町			平 9.4.1 中核市移行		
昭 30.11.1 境界変更			平 11.10.1 境界確定変更 猪苗代湖		
三春町大字荒井、蒲倉、三穂田村の一部					
昭 30.11.15 編入 岩江村の一部					

出典：福島県市町村要覧 2018、各市町村 HP

② 須賀川市

市章	所在地				所在地標高		 ウルトラの父 円谷英二
	須賀川市八幡町 135 番地				海拔 262m		
	花		木		鳥		
		ぼたん		あかまつ		かわせみ	
概要							
（自然条件） 福島県の中央よりやや南に位置し、東西に広がりのある形状をなしており、東は阿武隈山地、西は奥羽山系の山々が連なり、その間の中央部に平坦地が広がる地形となっている。気候は、総体的には一年を通じて比較的温和で関東地方に近い。							
（産業・経済） 農業は、米、野菜、果実が中心で、首都圏に隣接する優位性を生かし都市型近郊農業も展開されている。特に「岩瀬きゅうり」で有名な夏秋きゅうりは市の特産品となっている。工業は、電気・鉄鋼・窯業・情報・化学・生産用機械器具製造業が中心で、製造品出荷額の約 50%を占めており、雇用の創出と地域全体の技術向上が図られる企業誘致を積極的に推進している。交通は、県内唯一の空の玄関口「福島空港」を有し、東北縦貫自動車道、国道 4 号、JR 東北本線、水郡線などが通り、高速交通体系の要衝となっている。							
（観光・文化） 発祥 250 年を迎える国指定名勝「須賀川の牡丹園」、約 1 万発の花火が夏の夜空を彩る「釈迦堂川花火大会」、日本三大火祭りの一つ「松明あかし」など、四季を通じて華やかな彩りに包まれており、「牡丹焚火」と「松明あかし」は俳句歳時記の季語に収載されている。また、ウルトラマンの生みの親である円谷英二監督と、東京オリンピックマラソン競技銅メダリスト円谷幸吉選手の「二人の円谷」を育んだまちでもある。さらに、図書館、公民館機能、円谷英二ミュージアムなど多くの機能を有する複合施設、市民交流センター「tette」が開館し、新たな魅力が加わった。							
（伝統行事・伝統芸能） きうり天王祭（7 月 14 日）、長沼まつり（9 月第 2 土曜日）、須賀川秋祭り（9 月第 2 土・日曜日）、いわせ悠久まつり（10 月下旬）、松明あかし（毎年 11 月第 2 土曜日）、牡丹焚火（11 月第 3 土曜日）等、多数。							
（特産品） なし、りんご、もも、いちご、乾麺、岩瀬きゅうり、米、トマト、ナス、秋冬ニラ、なたね油、そば、ユキヤナギ、西洋ウメモドキ							
将来都市像・政策別基本方針							
将来都市像：選ばれるまちへ ともに歩む自治都市 すかがわ（2017 年 12 月策定）							
政策別基本方針：							
1 いきいきと人が輝くまちづくり							
2 笑顔で健やかに暮らせるまちづくり							
3 安全に安心して暮らせるまちづくり							
4 環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり							
5 活力とにぎわいあるまちづくり							
沿革							
昭 29.3.31 合体（市制施行）須賀川町、浜田村、西袋村、稲田村、小塩江村							
昭 30.3.10 編入 仁井田村							
昭 42.2.1 編入 大東村							
平 17.4.1 編入 長沼町、岩瀬村							

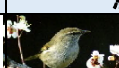
出典：福島県市町村要覧 2018、各市町村 HP

③ 田村市

市章	所在地				所在地標高		 星の村天文台
	田村市船引町船引字畑添 76 番地 2				海拔 408.00m		
	花		木		鳥		
		つつじ		なら		うぐいす	
概要							
（自然条件） 阿武隈高原の中央に位置し、緑豊かな自然に恵まれた面積 458.33 km²の地域を有する。本地域は阿武隈山系が南北に走り、大小の山々によって兵陸起伏が縦横に連続する地形となっている。これらの山岳を源に大滝根川や高瀬川などの多くの河川が地域を流下している。気候は内陸山間型の特徴がある。 （産業・経済） 第一次産業は、水稻、畜産、葉たばこ、そ菜等の複合経営が行われている。第二次産業は輸送用機械器具製造業、第三次産業は卸業及び小売業の占める割合が高くなっている。 （観光・文化） 国内有数の鍾乳洞である「あぶくま洞」「入水鍾乳洞」を始めとし、国の重要文化財や国指定、県指定の文化財が各地区に点在している。また、高柴山の約3万株のツツジなど、たくさんの自然に恵まれ、この自然を生かした施設も市内各地に整備されている。 （伝統行事・伝統芸能） だるま市、安倍文殊堂例大祭、灯籠流しと花火大会、各地区盆祭り、各地区文化祭、各神社例大祭、各地区三匹獅子舞、お人形様衣替え （特産品） あぶくまの天然水、ハム工房都路のハム・ウインナー・ベーコン（ドイツ農業協会食品競技会にて連続金賞受賞）、たきねワイン「北醇」、エゴマ油、鬼みそ、イワナ、ピーマン、トマト、地酒等							
将来像・基本方針							
将来像：あぶくまの人・郷・夢を育むまち はつらつ高原都市 田村市（2015 年 2 月策定）							
基本方針：							
1 地域を活かす産業の振興 2 健康づくりと福祉の充実 3 未来を担うひとづくり 4 快適な生活環境の整備 5 市民参加の郷づくり・まちづくり 6 行財政改革の推進							
沿革							
明 22.4.1 岩井沢村・古道村が合併により都路村となる。 昭 30.2.1 常葉町・山根村が合併により常葉町となる。 昭 30.4.1 船引町・芦沢村・美山村・移村・瀬川村・文珠村・七郷村が合併により船引町となる。 昭 32.3.31 境界変更三春町の一部が船引町となる。 平 17.3.1 滝根町、大越町、都路村、常葉町、船引町が合併により新市となる。							

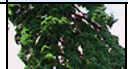
出典：福島県市町村要覧 2018、各市町村 HP

④ 本宮市

市章	所在地		所在地標高		
	本宮市本宮字万世 212 番地		海拔 214.10m		
	花	木	鳥		
	 ぼたん	 まゆみ	 うぐいす		
概要					
（自然条件） 本宮市は、福島県の中央部に位置し、市のほぼ中央部には東北地方を代表する名川・阿武隈川が北流し、東部には阿武隈山系の岩角山、高松山、嶽山などの山並みや丘陵地・農地が広がり、西部には安達太良山から連なる大名倉山を中心とした山並みを有し、水と緑の豊かな自然に恵まれている。総面積は 88.02 km²である。					
（産業・経済） 阿武隈川流域の肥沃な土地条件や高速交通網が結節する交通の要衝としての優れた立地条件等を最大限に活用し、農業・商業・工業の振興を柱に、農産物の地産地消や企業誘致による雇用の場の創出等活力ある産業のまちづくりを推進している。					
（観光・文化） 国の登録文化財「蛇の鼻御殿」がある「花と歴史の郷蛇の鼻」をはじめ、「岩角山」や「高松山」を中心とした観光コースは人気が高く、市内外を問わず多くの人々が訪れる。また、市内には、みずいろ公園やプリンス・ウィリアムズ・パーク、英国庭園、白沢ふれあい文化ホールがあり、多くの人たちでにぎわっている。					
（伝統行事・伝統芸能） 本宮市夏まつり（8月15日、16日）、もとみや秋祭り（10月第4土曜日を含む金、土、日の3日間）、しらさわ秋祭り（11月第2日曜日）、岩角山大梵天祭（1月3日）、ハッ田内七福神舞（1月7日）、高松山観音寺初寅祭（旧暦の初寅の日の夜）、荒井の太々神楽（大晦日から元旦暁）					
（特産品） 米、チェリートマト、キュウリ、本宮烏骨鶏、とろろ芋、大核無柿（おおたねなしかき）、りんご、しいたけ、ビール、手作り糲みそ、本格長芋焼酎「さわうらら」、しらさわ宝漬、ぎんなん、清酒、アスパラガス					
将来像・基本目標					
将来像：「笑顔」あふれる「人」と「地域」が輝くまち もとみや（2018年12月策定）					
基本目標：					
1 人を育み 地域を創る 未来へ夢ふくらむまち					
2 いつまでも健康・豊かで 活力と賑わいにあふれるまち					
3 自然と人の暮らしが調和する 安全・安心で快適なまち					
沿革					
平 19.1.1 本宮町、白沢村が合併により新市となる。					

出典：福島県市町村要覧 2018、各市町村 HP

⑤ 大玉村

村章	所在地		所在地標高		
	安達郡大玉村玉井字星内 70 番地		海拔 約 250m		
	花		木		
	 桜	 松	 きじ		
概要					
（自然条件） 本村は、福島県中通り地方のほぼ中央にあり、郡山市、二本松市、本宮市と接し、県内主要都市である福島市と郡山市のほぼ中間に位置する。年間平均気温 12℃、年間降雨量 1,100mm と自然条件に恵まれている。 （産業・経済） 本村は農業が主体であり、約 1,300ha の水田が整備され、基幹作物の米を中心に、畜産、そ菜等との複合経営を行っている。また、公害のない、生きがいのある職場となるような企業の誘致を図り、農工一体の活力ある村づくりをめざしている。 （観光・文化） 安達太良山麓に県民の森があり、年間延べ 10 万人の観光客が訪れ県民いこいの場となっている。県民の森に接して村営のアウトホームおおたまがあり、この施設を中心に多くのレクリエーション施設もある。また、貴重な遺産を保存展示するふるさとホールがある。 （伝統行事・伝統芸能） 遠藤ヶ滝不動尊祭礼が毎年 5 月 4 日から 6 日、9 月中旬の 2 回行われている。また、本揃田植踊り、神原田神社十二神楽の伝統芸能がある。 （特産品） 米、酵母牛、そば、日本酒、焼酎、きゅうり、りんご					
将来像・基本目標					
将来像：小さくても輝く“大いなる田舎”大玉村（2016 年 3 月策定）					
基本目標：					
1 力強い産業と広がる交流					
2 みんなで支える安心生活					
3 夢を育てる教育・子育て					
沿革					
昭 30.3.31 合併 大山村 玉井村					

出典：福島県市町村要覧 2018、各市町村 HP

⑥ 鏡石町

町章	所在地		所在地標高		
	岩瀬郡鏡石町不時沼 345 番地		海拔 270.00m		
	花	木	鳥		
	 あやめ	 しだれ桜	—		
概要					
（自然条件） 福島県の中通り南部に位置し、西に釈迦堂川、東に阿武隈川が流れ、標高 280m 台の平坦な台地にある。年間平均気温は 12℃ 前後で比較的温暖であり、降水量は年間約 1,170mm で寡降水量地域に属する。 （産業・経済） 農業は、米を中心に果樹や野菜等の複合経営であり、農業所得は県下の上位にある。工業は町内 5 箇所の工業団地を中心に、国道 4 号線、JR 東北本線、東北自動車道鏡石スマートインターチェンジ等の高い交通環境の中で定着化が進み、農商工一体の町づくりを進めている。 （観光・文化） 唱歌「牧場の朝」のモデルとなった岩瀬牧場、桜や町花「あやめ」が美しくふくしま国体サッカー競技の会場にもなった鳥見山公園のほか、2012 年から農業と観光が連携して展開している「田んぼアート」、町内 3 ヲ所にはアルカリ性温泉がある。また、鎌倉の故事を今に伝える史跡「鏡沼」、福島県重要文化財の西光寺の「杉戸絵」等多くの文化財がある。 （伝統行事・伝統芸能） 200 年の歴史をもつ「仁井田祭礼花火大会」や昭和 51 年に復活した「熊野神社太々神楽」が行われている。岩瀬牧場で交流の深いオランダにちなみ、鏡石「牧場の朝」オランダ・秋祭りが毎年開催されている。 （特産品） 特別栽培米「牧場のしずく」、特別純米酒「鏡の雫」、全国的にも有名な「岩瀬きゅうり」、リンゴやモモを代表とした果物も豊富で、近年では「いちご」が評判を呼んでいる。					
将来像・基本目標					
将来像：かわる、かがやく、“牧場の朝” のまち かがみいし（2017 年 3 月策定）					
基本目標：					
Ⅰ 町民と力を合わせて、新しい鏡石をつくります！					
Ⅱ 心豊かな人を育て、地域文化を大切にする鏡石をつくります！					
Ⅲ 地域で支えあう、人にやさしい鏡石をつくります！					
Ⅳ 新しい産業を開花させ、活力あふれる鏡石をつくります！					
Ⅴ 快適に暮らせ、住んでみたくなる鏡石、訪ねてみたくなる鏡石をつくります！					
沿革					
昭 37.8.1 町制施行					

出典：福島県市町村要覧 2018、各市町村 HP

⑦ 天栄村

村章	所在地		所在地標高		
	岩瀬郡天栄村大字下松本字原畑 78 番地		海拔 303m		
	花	木	鳥		
	 りんどう	 松 えんじゅ	 うぐいす		
概要					
（自然条件） 四季折々にさまざまな彩りを見せる天栄村の自然。村のほぼ中央部にある分水嶺「鳳坂峠」を境に、村の気候は東西に大きく二分される。西部は、日本海式気候で冬期間は積雪が多く、那須連峰に囲まれた地域である。一方、東部は、太平洋式気候で降雪が少なく、釈迦堂川、竜田川沿いに耕地が拓けている。					
（産業・経済） 農業は、水稻を中心に蔬菜や畜産の複合型農業である。特に夏秋きゅうりとニラの組み合わせで実績を上げている。 工業は、現在 16 社（飯豊農工団地 3 社、ハイテク大山工業団地 11 社、その他 2 社）が操業しており、雇用と地域産業の振興に寄与している。					
（観光・文化） 羽鳥湖高原には、スキー場、ゴルフ場、キャンプ場、英国村があり、四季を通じてレジャーが楽しめる。また、国民保養温泉地に指定されている二岐、岩瀬湯本、天栄温泉、各種ペンションなど宿泊施設も充実している。					
（伝統行事・伝統芸能） 5 月下旬 二岐山開き 7 月第 3 日曜日 湯本満願寺の馬頭観世音祭 9 月第 1 日曜日 羽鳥湖畔マラソン大会					
（特産品） ヤーコン、長ねぎ、天栄米、りんご、しいたけ、味噌、しょう油、清酒、きゅうりの漬物、ニラ、きゅうり、ウド、フキノトウ、りんごジュース					
将来像・基本目標					
将来像： 自然と共に 人・未来を創造する村 てんえい（2017 年 3 月策定）					
基本目標：					
1 みんなで安全・安心な環境づくり					
2 みんなで支え合い築く健康づくり					
3 みんなで地域を活かした産業づくり					
4 みんなで心豊かな人づくり					
5 みんなで未来につなぐ村づくり					
沿革					
昭 30. 3. 31 合体 湯本村、牧本村、大里村、広戸村					

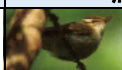
出典：福島県市町村要覧 2018、各市町村 HP

⑧ 猪苗代町

町章	所在地		所在地標高		
	耶麻郡猪苗代町字城南 100 番地		海拔 521.60m		
	花		木		
		サギソウ		ナナカマド	
概要					
（自然条件） 本町は、福島県のほぼ中央に位置する猪苗代湖の北岸に面し、東西北の三方を秀峰会津磐梯山をはじめとする山々に囲まれ、山と湖の織りなす雄大で美しい自然に包まれている。気候は日本海式気候で、内陸型の積雪寒冷地帯に属している。 （産業・経済） 米の生産調整対策に伴う転作作物としてのそばを地域の特産物とし、農業の振興に努めている。また中心市街地活性化のため、魅力ある商店街づくりを推進している。 （観光・文化） 磐梯山や猪苗代湖、世界に知られる医学者野口英世博士の生家などが保存・展示されている野口英世記念館など、名所・旧跡を多数有し、四季を通じてさまざまな魅力を堪能できる県内有数のオールシーズン型の観光リゾート地である。 （伝統行事・伝統芸能） 初市（十三日市 1 月 13 日）、小平湯天満宮初天神（1 月 25 日）、西久保彼岸獅子（3 月 14 日～24 日）、磐梯山山開き（5 月）、磐梯まつり（7 月下旬） （特産品） そば、ブランド米「いなわしろ天のつぶ」、磐梯トマト、アスパラ、あげまんじゅう、天ぷらまんじゅう、笹だんご、日本酒、地ビール、あいづ醸造ワイン、山菜加工品、しょうが加工品、中ノ沢こけし					
基本理念・基本目標					
基本理念：ともに地域を育て、みんなが心地よく暮らせるまち 猪苗代（2017 年 3 月策定） 基本目標： - 安全・安心を肌で感じる。 - 豊かな自然を活かしきる。 - いつまでも猪苗代に暮らす。 - 人をつくる。そして、まちをつくる。 - 協働により、みらいをひらく。					
沿革					
昭 30.3.1 合体 猪苗代町 千里村 吾妻村 月輪村 翁島村 昭 30.7.20 編入 長瀬村					

出典：福島県市町村要覧 2018、各市町村 HP

⑨ 石川町

町章	所在地				所在地標高		
	石川郡石川町字長久保 185 番地の 4				海拔 320.00m		
	花		木		鳥		
		桜		杉		うぐいす	
概要							
（自然条件） 本町は、県の南部、阿武隈高地の西側に位置し、阿武隈川流域の平坦地と阿武隈高地に連なる山間地から形成され、中央を流れる今出川と北須川に沿って開けている。気候は比較的温暖で、四季折々の景観を見せている。 （産業・経済） 近年、第二次産業から第三次産業への就業者数などの比率が高まっている。農業は米を中心に畜産、野菜、果樹などの複合経営で、今後、首都圏への近接性を生かした園芸農業にも積極的に取り組んでいくことにしている。また、毎年 10 月に町内産業の P R と振興のために、産業交流祭を開催している。 （観光・文化） 母畑・猫啼・片倉・塩ノ沢の温泉郷、母畑湖畔のレークサイドセンター、平安時代の女流歌人“和泉式部”生誕地、県指定史跡“大壇、悪戸”等の古墳群、自由民権運動史跡「鈴木重謙屋敷」などのほか、今出川・北須川沿いの桜並木は見ごたえがあり、毎年 4 月に開催される桜まつりには多くの観光客が訪れる。 （伝統行事・伝統芸能） 石都々古和気神社祭礼（9 月第三土・日曜）、中田のささら舞（9 月初旬）、八槻市（11 月 23 日） （特産品） 地酒（純米酒きらの初恋）、リンゴ、梨、もも、こんにゃく、シイタケ、いしかわうどん、納豆、りんごジュース、いしかわ牛							
将来像・基本目標							
将来像：共に創る 幸せ実現のまち（2019 年 3 月策定）							
基本目標：							
1 健康で元気に暮らせるまち 2 活力ある産業を形成するまち 3 豊かな心・町民文化を育むまち 4 安全で住みよいまち 5 都市機能が充実したまち 6 共に創るまち							
沿革							
昭 30. 3. 31 合体 石川町、沢田村、中谷村、母畑村、野木沢村、山橋村							

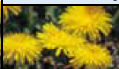
出典：福島県市町村要覧 2018、各市町村 HP

⑩ 玉川村

村章	所在地				所在地標高		
	石川郡玉川村大字小高字中畷 9 番地				海拔 262.00m		
	花		木		鳥		
		山桜		赤杉		山鳩	
概要							
（自然条件） 福島県の南部に位置し、阿武隈山地の西斜面の丘陵地と阿武隈川東岸に開けた平坦地に大別され、温暖な気候と豊かな自然に恵まれた住みよい村である。福島空港の所在地である当村は、交通の利便性に優れた地域として発展しつつある。 （産業・経済） 農業は、米、野菜を中心に畜産等の複合経営が行われている。近年は、小菊、リンドウなどの花き栽培を推進しており、特産品のさるなし、トマトなどとともに、生産物直売所「こぶしの里」や福島空港内の「空の駅たまかわ」で販売活動をしている。また、玉川工業団地への立地企業をはじめとする村内企業は、空港や道路環境の整備による交通の利便性を生かし、雇用面からも地域活性化が図られている。さらに、あぶくま高原道路などの高速交通ネットワークが整備され、ますますの発展が期待される。 （観光・文化） 芭蕉の「奥の細道」ゆかりの地、乙字ヶ滝は「五月雨の滝降りうつむ水かさ哉」の句碑と共に桜の名所でも知られている。また、福島空港公園を訪れる家族連れや観光客も年々多くなっている。さらに、「道の駅たまかわ」（生産物直売所こぶしの里）及び平成 20 年 2 月に福島空港内にオープンした「空の駅たまかわ」では、空港利用者に限らず地元特産品を目当てに訪れる客も増加している。このほか、国重要文化財指定の「石造五輪塔」、「東福寺舍利石塔」や県重要文化財指定の「宮ノ前古墳」など文化財も豊富で、古墳や遺跡も数多い。 （伝統行事・伝統芸能） 県無形重要文化財指定・福島遺産百選認定の「南須釜念仏踊り」は、毎年 4 月 3 日と 8 月 14 日に艶やかな衣装を身につけた少女たちによって踊られる。また、8 月 13 日に「玉川夏まつり・花火大会」、秋には「たまかわ産業フェスティバル」が開催される。 （特産品） 米、トマト、きゅうり、いんげん、さやえんどう、なす、大豆、さるなし、いちじく、ぎんなん、ブルーベリー、小菊、リンドウ							
将来像・基本目標							
将来像： 未来が輝く村づくり “元気な” たまかわ（2016 年 3 月策定） 基本目標： 1 皆で支えあう福祉のむらづくり 2 環境にやさしい安全・便利なむらづくり 3 活力のあるむらづくり 4 人を育むむらづくり 5 交流と協働の村づくり							
沿革							
昭 30.3.31 合体 泉村、須釜村							

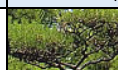
出典：福島県市町村要覧 2018、各市町村 HP

⑪ 平田村

村章	所在地		所在地標高		
	石川郡平田村大字永田字切田 116 番地		海拔 490. 40m		
	花		木	鳥	
	 たんぽぽ	 あかまつ	 やまばと		
概要					
（自然条件） 本村は福島県南東部、阿武隈山系にあり、美しい自然豊かな地域。標高が平均 500mと高いため桜の開花が少し遅い。夏は高原特有の涼しさが心地よい。蓬田岳山麓の「ジュピアランドひらた」には約 25 万株の芝桜が植栽されており、4 月から 5 月の開花時期には多くの観光客で賑わう。					
（産業・経済） 本村は、農業を基幹産業とし畜産業が盛んである。中山間地域の特性を生かし、稲作、野菜、花卉など多くの農産物が生産されている。工業では、あぶくま高原道路の全線開通による高速交通網の整備が図られ、積極的に企業誘致を進めている。					
（観光・文化） 石川郡内の最高峰標高 952. 2mの蓬田岳山頂には菅布祢神社が祀られ、登山者も多い。山麓には自然を活用した「ジュピアランドひらた」があり、春には「芝桜まつり」が行われる。また、園内には、展示されたアジサイの最多品種数でギネス世界記録に公式認定（平成 30 年 7 月 14 日）された「世界のあじさい園」と「ゆり園」もある。国道 49 号沿いにある道の駅ひらたでは、地域の特産品が販売されている。母畑湖畔に近い山鶏滝にも観光客が絶え間なく訪れている。					
（伝統行事・伝統芸能） 駒形ジャンガラ念仏踊りは 8 月 13 日に駒形地区で行われているもので、駒形念仏として広く知られている。また、正月の酉小屋燃やしが地域行事として定着している。					
（特産品） 自然薯、地酒、乾麺、アスパラガス、えごま					
将来像・基本目標					
将来像：自然に包まれ健康でおだやかな暮らしのできる高原のむら（2016 年 3 月策定）					
基本目標：					
1 心やすらぐ あんしん快適の 平田村					
2 心おどる にぎわい交流の 平田村					
3 心つながる ふれあい協働の 平田村					
沿革					
昭 30. 3. 31 合併 蓬田村・小平村					

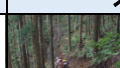
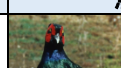
出典：福島県市町村要覧 2018、各市町村 HP

⑫ 浅川町

町章	所在地		所在地標高		
	石川郡浅川町大字浅川字背戸谷地 112 番地の 15		海拔 306.50m		
	花	木	鳥		
	 サギソウ	 あかまつ	 オナガ		
概要					
(自然条件) 福島県中通り南部に位置し、東部に阿武隈山麓に連なる丘陵が南北に続く。町を西北に縦断するように阿武隈川の支流が走り、西部はおおむね平坦で農地が集団化されている。気象条件は比較的恵まれているものの、冬季の寒さは厳しく春先の晩霜が農作物に与える影響は大きい。					
(産業・経済) 近年、第1次産業就業者は基幹作物の米を中心に畜産、野菜等の複合経営を行っている。第2次産業は精密機器、弱電気、信号機械が中心となっている。第2次、第3次産業への就業人口が増加し、地場産業の発掘、既存企業の育成、定住促進住宅の購入費等、町民はもとより他の地域からの移住者の生活の安定を図る。					
(観光・文化) 病理学者吉田富三博士を顕彰する「吉田富三記念館」、ついじの森にただずむ石仏「五智如来」、「即身弘智法印有貞」、遠く那須連峰を一望でき、夜景が素晴らしい城山がある。					
(伝統行事・伝統芸能) 300 有余年の歴史と伝統のある「浅川の花火」(毎年8月16日)、慶応以前から始められたと言われる「カラスもち」(毎年4月3日)、無病息災と豊作を祈願する「風袋(カザブクロ)」(毎年二百十日の前日)がある。近年、除夜の花火打上げで「花火の里」のイメージアップを図っている。					
(特産品) 米、肉用牛、野菜、乾麺、地酒、じゅうねん油、魔除花火など					
将来像・政策目標					
将来像：笑顔あふれる 住みよいまち 浅川 (2016 年3月策定)					
政策目標：					
1 健やかで安心・快適な暮らしづくり					
2 未来に輝く人文化づくり					
3 活力と交流に満ちた産業づくり					
4 持続的発展を支える基盤づくり					
沿革					
昭 10.8.1 町制施行					
昭 29.10.1 合併 浅川町、山白石村					
昭 30.8.20 境界変更 東村大字太田輪・小貫					

出典：福島県市町村要覧 2018、各市町村 HP

⑬ 古殿町

町章	所在地		所在地標高		
	石川郡古殿町大字松川字新桑原 31 番地		海拔 301.00m		
	花	木	鳥		
	 ヤマユリ	 スギ	 キジ		
概要					
（自然条件） 福島県の南、石川郡の南東、阿武隈山系の西斜面に位置している。標高は 300～500m で起伏の多い丘陵が波状的に連なり、地質は花崗岩を母体として形成され、中生層及び古生層の竹貫式結晶片岩からなる。山地は杉の適地である。					
（産業・経済） 第一次産業における農業は米、山菜栽培、畜産が中心である。林業も盛んであり間伐、林道事業等を積極的に推進している。					
（観光・文化） 三株山、芝山はキャンプ場も整備され、多くのハイカーでにぎわう。春は越代のサクラやふるどの桜街道の花見、鎌倉岳遊歩道の散策、秋の八幡神社祭礼の「流鏝馬」、また県重要文化財の西光寺阿弥陀堂、木造地藏菩薩座像などがある。					
（伝統行事・伝統芸能） 800 年余の伝統をもち、荘厳にして勇壮な鎌倉絵巻「流鏝馬（毎年 10 月第 2 日曜日とその前日）」、「馬場平のジャンガラ念仏（7 月、8 月 13～14 日、8 月 23 日）」、松川八ヶ久保地区及び論田地区の「獅子舞（毎年 10 月第 1 日曜日）」などがある。					
（特産品） チェリートマト、山菜					
将来像・基本構想					
将来像： 緑と人が響きあうぬくもりのあるまち ふるどの（2010 年 3 月策定）					
基本構想：					
Ⅰ 豊かな心を持つ人づくりプロジェクト					
Ⅱ 健やかで生きがいのあるくらしづくりプロジェクト					
Ⅲ 安全で安心なまちづくりプロジェクト					
Ⅳ 自然の恵みを生かした産業づくりプロジェクト					
Ⅴ 新たな地方を担う体制づくりプロジェクト					
沿革					
昭 30. 3. 31 合体 竹貫村、宮本村					
昭 32. 4. 1 町制施行					
平 6. 4. 11 郡界変更 東白川郡から石川郡					

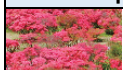
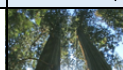
出典：福島県市町村要覧 2018、各市町村 HP

⑭ 三春町

町章	所在地				所在地標高	滝桜
	田村郡三春町字大町 1 番地の 2				海拔 314.3m	
	花		木		鳥	
		松波		しだれ桜		うぐいす
概要						
(自然条件) 県のほぼ中央部、阿武隈山系の西裾に位置し、郡山市の北東に隣接している。町のほとんどが標高 300～500m の丘陵地で、ゆるやかな山並みが続いている。気候は内陸性で、冬の降雪は少なく、夏もあまり暑くないため、過ごしやすい。 (産業・経済) 田村西部工業団地が磐越自動車道船引三春 IC に隣接しており、交通アクセスに優れた生産基地を提供。市街地においては、商業基盤等の充実や蔵を活用した賑わい創出等魅力的な商店街の形成が図られている。また、豊かな田園生活を追及した新たな農業への取り組みが行われている。 (観光・文化) 樹齢千年以上といわれる国指定天然記念物三春滝桜、歴史民俗資料館、三春郷土人形館、旧城下町のたたずまいや神社仏閣、自由民権運動の発祥の地として歴史や観光資源が多い。また、三春ダムやその周辺の施設なども年間を通して訪れる人も多い。 (伝統行事・伝統芸能) 元日に行われる西方水かけ祭り、1 月第 3 日曜日の三春だるま市、各神社の祭礼に奉納される長獅子舞・三匹獅子舞・太々神楽、8 月 15・16 日に行われる三春盆踊りなどが今に伝えられる。また、これらの保存会の活動も盛んである。 (特産品) 三春駒、三春人形（張子）、三角油あげ、米、葉たばこ、しいたけ、加工用トマト、ピーマン、三春素麺、地酒、ブルーベリー						
将来像・基本目標						
将来像： 豊かな自然・歴史・文化に育まれ未来に輝く元気なまち 三春（2015 年 4 月策定） ～いつまでも住みよい自慢し合えるまちづくり～ 基本目標： 1 誰もが安全安心に暮らせるまちづくり 2 住みよい美しい環境で暮らせるまちづくり 3 豊かな心と文化を育むまちづくり 4 誰もが健やかに暮らせるまちづくり 5 産業が育ち魅力と活力にあふれるまちづくり 6 協働と町民参画による自立したまちづくり						
沿革						
昭 30. 4. 1 合体 三春町、中郷村、沢石村、要田村、御木沢村、中妻村 昭 30. 11. 1 境界変更 郡山市大字荒井 蒲倉 昭 30. 11. 15 編入 岩江村の一部 昭 31. 10. 10 境界変更 郡山市大字下舞木の一部 昭 32. 3. 31 境界変更 船引町の一部 昭 35. 4. 1 境界変更 郡山市大字上舞木及び下舞木の一部 昭 38. 9. 1 境界変更 船引町の一部						

出典：福島県市町村要覧 2018、各市町村 HP

⑮ 小野町

町章	所在地		所在地標高		
	田村郡小野町大字小野新町字館廻 92 番地		海拔 432.00m		
	花	木	鳥		
	 つつじ	 杉		かつこう	
概要					
（自然条件） 阿武隈山系の南部に位置し、3市1村と境を接する。地形は、周囲を高柴山、矢大臣山、日影山等の900m前後の山々に囲まれた丘陵地帯で、町中央を右支夏井川が流れている。年間の気温は平均 10℃程と低く冷涼、降雨量は積算で 1,200mm と少ない。 （産業・経済） 地域の特性や伝統を生かしながら、農商工の連携・発展を推進するとともに、新たな産業が育ちやすい環境を整備し、活気と活力のある自立性の高い、個性豊かで快適な魅力ある町づくりを進める。 （観光・文化） 県立自然公園の東堂山満福寺は 1,200 年前、坂上田村麻呂が徳一大師を招いて開山したと伝えられており、500 体近くの羅漢像が老杉に囲まれ静かに佇んでいる。 また、4 月は夏井川沿いの約 1,000 本の桜が一斉に咲き誇り、5 月は高柴山の約 3 万株のヤマツツジが真赤に色づく景色は壮観。 （伝統行事・伝統芸能） 東堂山例大祭（5 月 3 日）、夏井諏訪神社湯花祭（7 月海の日前日の日曜）、篁踊り（8 月）、じゃんがら念仏踊り（8 月）、菅布彌神社祭礼（9 月）、塩釜神社祭礼（9 月末の土曜・日曜） （特産品） 米、黒にんにく、インゲン、ピーマン、トマト、おのっこ一笑漬（漬物）、くんせい卵、小町めん、おのまち小町アイスバーガー、砂糖パン					
将来像・基本目標					
将来像： 人も自然も元気 みんなの笑顔が かがやくまち（2018 年 3 月策定）					
基本目標：					
1 子育てや教育に喜びを感じ、そして生きがいを見出すために					
2 便利で住みよいきれいな町を目指して					
3 将来への不安のない健康的な暮らしをすべての町民へ					
4 働く喜びをみんなで感じるために					
沿革					
昭 30.2.1 合併 小野新町、飯豊村、夏井村					

出典：福島県市町村要覧 2018、各市町村 HP

2 圏域の現在人口と将来推計人口

(1) 圏域の総人口の推移と将来推計人口

圏域の人口は2000年をピークに減少に転じており、2015年には594,016人となっている。

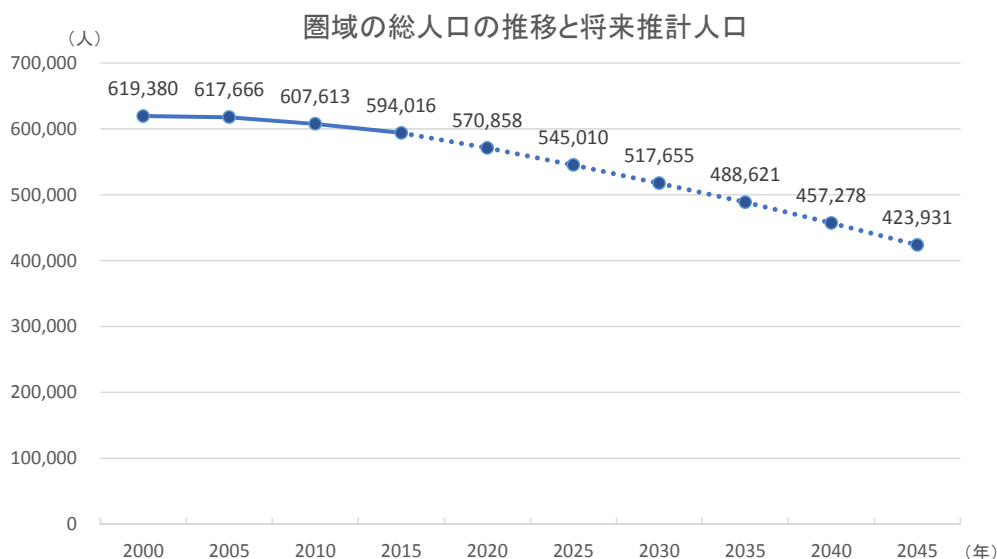
この傾向は今後も続くことが予想され、社人研に準拠した推計によれば、2045年には423,931人（2015年比28.6%減）と予想されている。

圏域内の一部自治体では、2010年⇒2015年の国勢調査人口で増加傾向が見られており、圏域全体の産業集積・雇用の確保を基盤としつつ、各地域の強みを生かし、誰もが住みたい地域で暮らし続けられるよう集落の生活基盤確保も含めた人口減少対策が求められている。

また、出入国管理法の改正など、外国人労働者増加による地域産業の人手不足解消や、国際交流、インバウンドに向けた圏域のPR観光の呼び水となることが期待できる。

(単位:人)

自治体名	現在人口（国勢調査）				将来推計人口					
	2000年 (平成12年)	2005年 (平成17年)	2010年 (平成22年)	2015年 (平成27年)	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
郡山市	334,824	338,834	338,712	335,444	324,657	311,990	297,942	282,429	265,394	247,204
須賀川市	79,409	80,364	79,267	77,441	74,612	71,389	67,953	64,300	60,269	55,960
田村市	45,052	43,253	40,422	38,503	36,242	33,936	31,699	29,492	27,256	24,876
本宮市	31,541	31,367	31,489	30,924	29,690	28,320	26,915	25,459	23,884	22,199
大玉村	8,407	8,464	8,574	8,679	8,329	7,958	7,570	7,158	6,710	6,223
鏡石町	12,743	12,746	12,815	12,486	12,067	11,574	11,042	10,462	9,840	9,178
天栄村	6,889	6,486	6,291	5,611	5,314	4,986	4,669	4,351	4,003	3,632
猪苗代町	18,178	17,009	15,805	15,037	14,036	13,047	12,098	11,193	10,290	9,376
石川町	19,914	18,921	17,775	15,880	14,919	13,937	12,973	12,021	11,035	10,031
玉川村	7,680	7,602	7,231	6,777	6,468	6,144	5,819	5,492	5,133	4,737
平田村	7,910	7,538	6,921	6,505	6,125	5,746	5,374	5,017	4,646	4,238
浅川町	7,484	7,272	6,888	6,577	6,234	5,864	5,498	5,137	4,769	4,388
古殿町	6,818	6,511	6,030	5,373	4,989	4,607	4,252	3,930	3,609	3,264
三春町	19,976	19,194	18,191	18,304	17,324	16,301	15,266	14,188	13,054	11,883
小野町	12,555	12,105	11,202	10,475	9,852	9,211	8,585	7,992	7,386	6,742
合計	619,380	617,666	607,613	594,016	570,858	545,010	517,655	488,621	457,278	423,931



出典：総務省「国勢調査（各年次）」

※合併市町村は構成する旧市町村の数字を合算

※将来推計人口は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（2018年3月）」の福島県推計値準拠により郡山市が独自に推計したものであり、各市町村が策定した総合計画、人口ビジョンにおける将来展望人口等の推計値とは異なる。

圏域の在留外国人数（2017 年 12 月末日現在）

市町村名	人数（人）	市町村名	人数（人）	市町村名	人数（人）
郡山市	2,477	鏡石町	48	平田村	121
須賀川市	340	天栄村	62	浅川町	27
田村市	298	猪苗代町	62	古殿町	50
本宮市	193	石川町	97	三春町	66
大玉村	42	玉川村	66	小野町	114

出典：福島県国際課「福島県の国際化の現状」

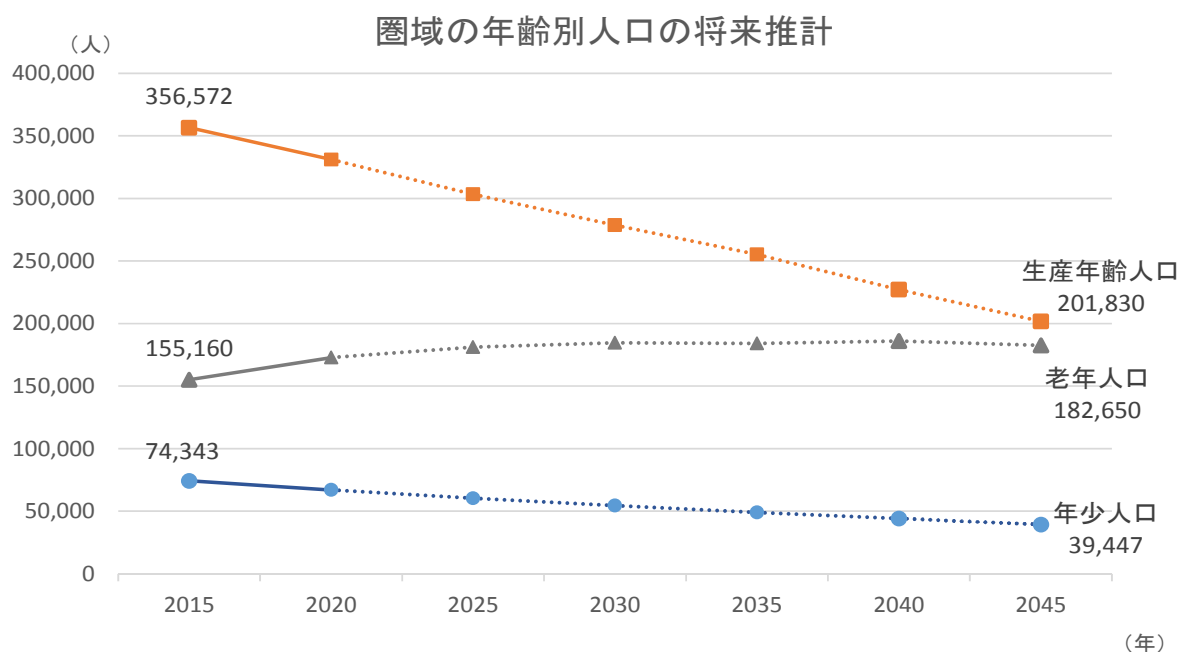
（２）圏域の年齢別人口の将来推計

社人研準拠による将来推計人口を年齢３区分別に見ると、年少人口（15 歳未満）、生産年齢人口（15 歳～64 歳）は年々減少し、2045 年には年少人口が 39,447 人（2015 年比 46.9%減）、生産年齢人口は 201,830 人（2015 年比 43.4%減）となる見込みである。

一方、老年人口（65 歳以上）は徐々に増加し、2040 年にピークである 185,921 人（2015 年比 19.8%増）に達した後、減少に転じる見込みである。

（単位：人）

区分	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045
年少人口 （15歳未満）	74,343	67,002	60,486	54,550	48,960	44,131	39,447
生産年齢人口 （15～64歳）	356,572	331,066	303,364	278,573	255,393	227,229	201,830
老年人口 （65歳以上）	155,160	172,786	181,159	184,532	184,273	185,921	182,650



出典：総務省「国勢調査（2015 年）」

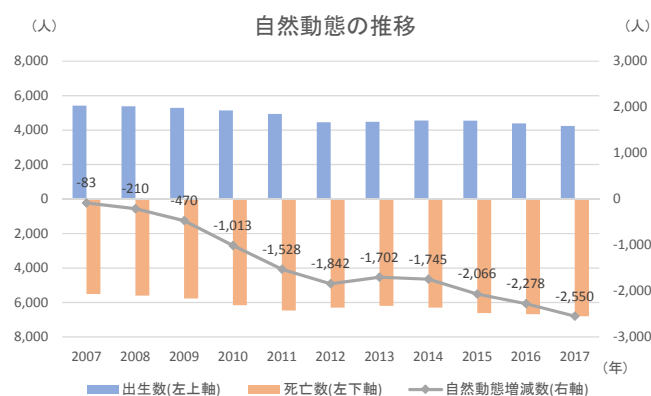
※将来推計人口は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（2018 年 3 月）」の福島県推計値準拠により郡山市が独自に推計したものであり、各市町村が策定した総合計画、人口ビジョンにおける将来展望人口等の推計値とは異なる。

(3) 圏域の人口動態

① 自然動態の推移

圏域の自然動態を見ると、2007 年には死亡数が出生数をわずかに上回る程度であったが、少子高齢化の進行により自然減が増加。2013 年からは減少幅が一時弱まったものの、2015 年から再び震災前のトレンドに戻り、自然減も拡大している。

(単位:人)											
区分	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
出生数	5,418	5,384	5,301	5,149	4,934	4,457	4,493	4,560	4,550	4,398	4,245
死亡数	5,501	5,594	5,771	6,162	6,462	6,299	6,195	6,305	6,616	6,676	6,795
自然動態増減数	-83	-210	-470	-1,013	-1,528	-1,842	-1,702	-1,745	-2,066	-2,278	-2,550

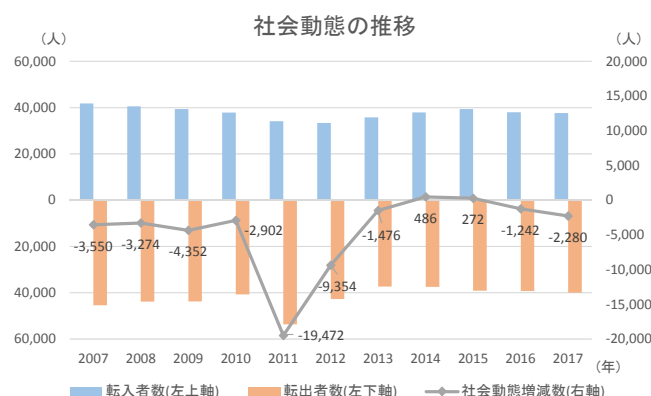


出典：福島県統計課「福島県現住人口調査年報（各年次）」

② 社会動態の推移

圏域の社会動態を見ると、震災前から既に転出超過であったが、2011 年の震災により転出が 19,472 人と大幅に超過。その後の復旧・復興の動きに合わせて徐々に転入超過となったものの、2016 年から再び転出超過に転じている。

(単位:人)											
区分	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
転入者数	41,830	40,574	39,384	37,828	34,142	33,384	35,798	37,930	39,356	38,044	37,684
転出者数	45,380	43,848	43,736	40,730	53,614	42,738	37,274	37,444	39,084	39,286	39,964
社会動態増減数	-3,550	-3,274	-4,352	-2,902	-19,472	-9,354	-1,476	486	272	-1,242	-2,280



出典：福島県統計課「福島県現住人口調査年報（各年次）」

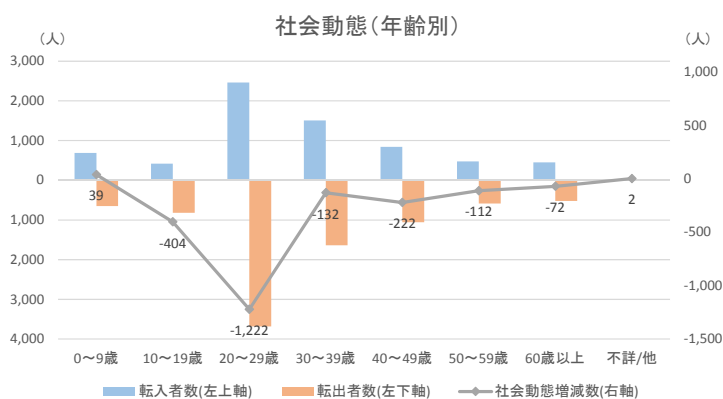
※転入、転出者数は統計データの制約上、圏域内各市町村の転入、転出数を単純に合計したものであり、圏域内市町村から圏域内他市町村への転入、転出数も含む。

③ 転入転出状況（年齢別）

年齢別（10歳ごと）の社会動態を見ると、「10～19歳」、「20～29歳」といった若年層で大幅な転出超過となっており、進学や就職を契機とした転出と推察される。

(単位:人)

区分	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/他	総数
転入者数	690	416	2,459	1,509	838	474	447	5	6,838
転出者数	651	820	3,681	1,641	1,060	586	519	3	8,961
社会動態増減数	39	-404	-1,222	-132	-222	-112	-72	2	-2,123



出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告(2017年)」

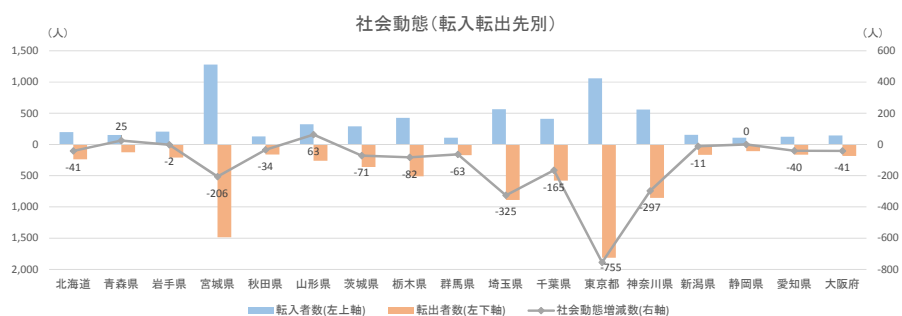
④ 転入転出状況（転入転出先別）

転入先または転出先が100人を超える都道府県で見た場合、東京都への転出が1,814人、転出超過数も755人と最多。また、埼玉県、千葉県、神奈川県をはじめとした首都圏への転出も多い。

近県では宮城県への転出が1,487人、転出超過数も206人となっており、転入超過は青森県の25人、山形県の63人のみである。

(単位:人)

区分	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	静岡県	愛知県	大阪府
転入者数	197	151	206	1,281	127	324	291	427	109	564	412	1,059	559	156	107	123	142
転出者数	238	126	208	1,487	161	261	362	509	172	889	577	1,814	856	167	107	163	183
社会動態増減数	-41	25	-2	-206	-34	63	-71	-82	-63	-325	-165	-755	-297	-11	0	-40	-41



出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告(2017年)」

※転入転出先が100人を超える県を抽出

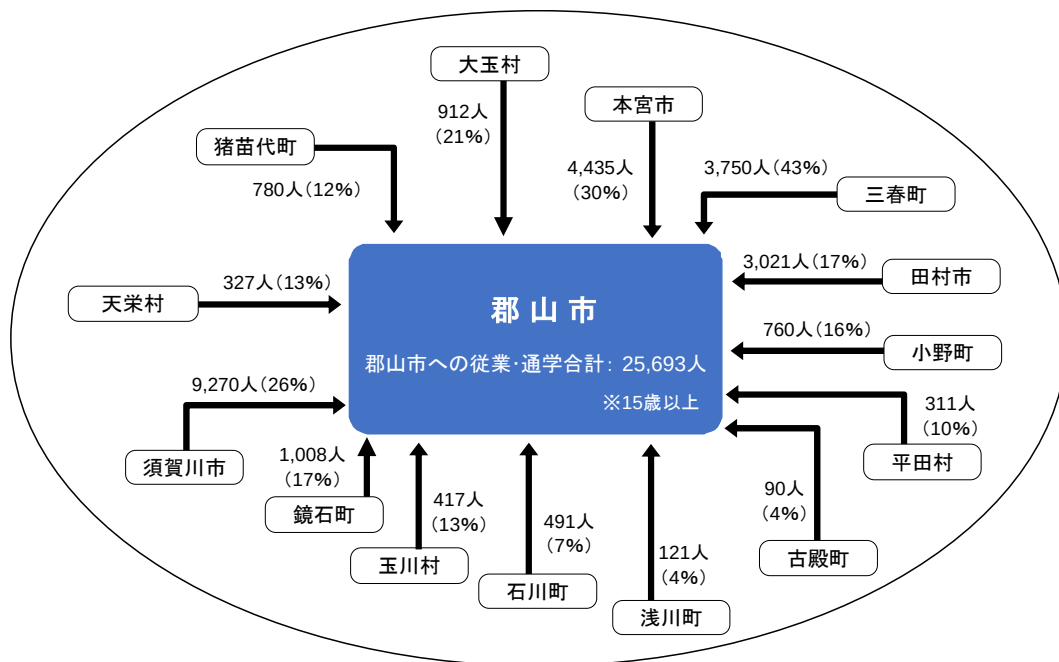
3 本市への通勤通学割合

広域圏の中心市である郡山市への通勤通学割合を見ると、最も高いのが三春町の0.43であり、以降、本宮市が0.30、須賀川市が0.26となっている。国が示す「連携中枢都市圏構想推進要綱」で規定する、経済的結びつきが強いとされる通勤通学割合0.1以上を超える市町村は11市町村であり、0.1未満は石川町、浅川町、古殿町である。

(単位：人)

区分	A 当地に常住する就業者・通学者総数	B うち自宅で従業等	C 郡山市へ従業・通学	郡山市への通勤通学割合 C / (A-B)
須賀川市	42,204	5,888	9,270	0.26
田村市	21,670	3,866	3,021	0.17
本宮市	16,787	1,874	4,435	0.30
大玉村	4,977	735	912	0.21
鏡石町	6,866	909	1,008	0.17
天栄村	3,153	598	327	0.13
猪苗代町	8,144	1,541	780	0.12
石川町	8,486	1,546	491	0.07
玉川村	4,058	769	417	0.13
平田村	3,754	776	311	0.10
浅川町	3,649	619	121	0.04
古殿町	2,987	628	90	0.04
三春町	10,021	1,272	3,750	0.43
小野町	5,983	1,177	760	0.16

出典：総務省「国勢調査（2015年）」



4 経済産業の状況

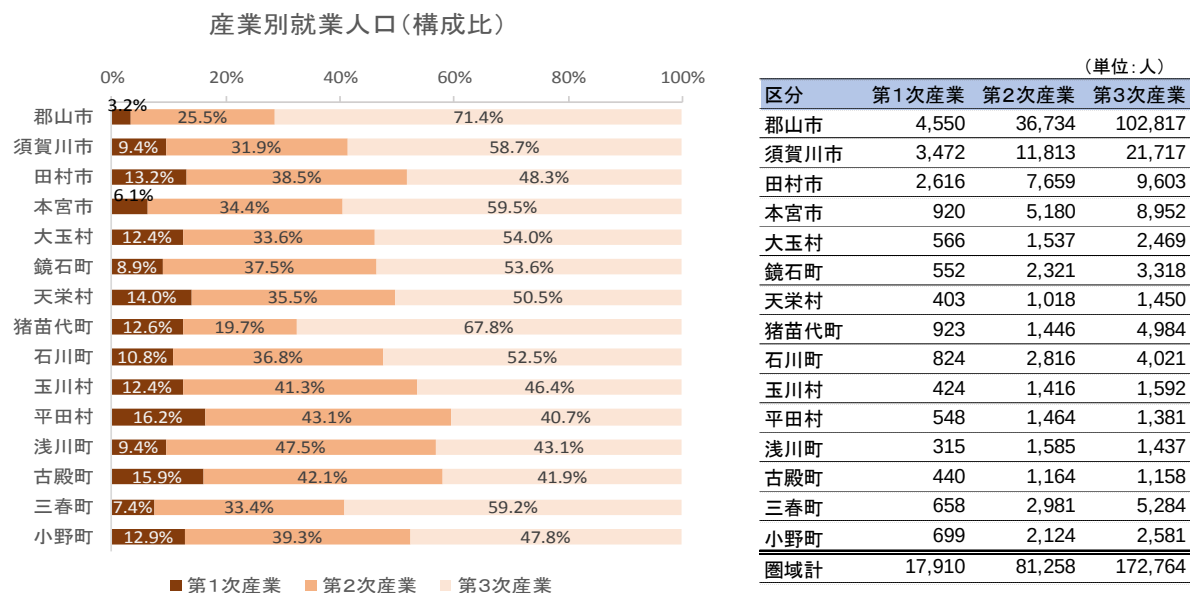
(1) 産業

① 産業別就業人口

圏域の産業別就業人口を見ると、第3次産業への就業者数が172,764人と全体の63.5%を占めて、第2次産業は81,258人(29.9%)、第1次産業は17,910人(6.6%)である。

市町村別では、第1次産業は平田村、古殿町、第2次産業は浅川町、平田村、古殿町、玉川村、第3次産業は郡山市、猪苗代町が他市町村と比較して高い構成比を示している。

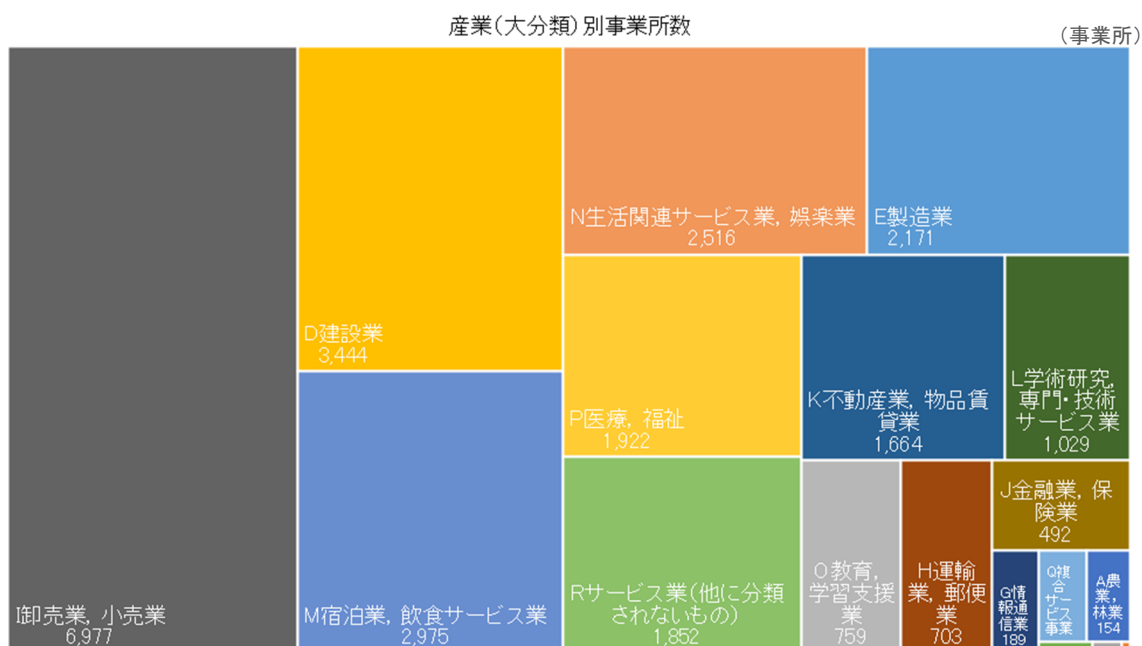
圏域全体としては「経済県都圏域」として本県の経済活動の中心としての役割をになっており、小売業やサービス業への就業割合が高い状況であるが、それぞれの地域において住民サービス、社会経済活動を将来にわたり持続可能なものとするため、地域密着型の小規模商工業や伝統工芸等における事業承継支援、圏域全体としての基幹産業の1つである農業や農村振興への継続支援等が求められる。



出典：総務省「国勢調査」(2015年)」

② 産業（大分類）別事業所数

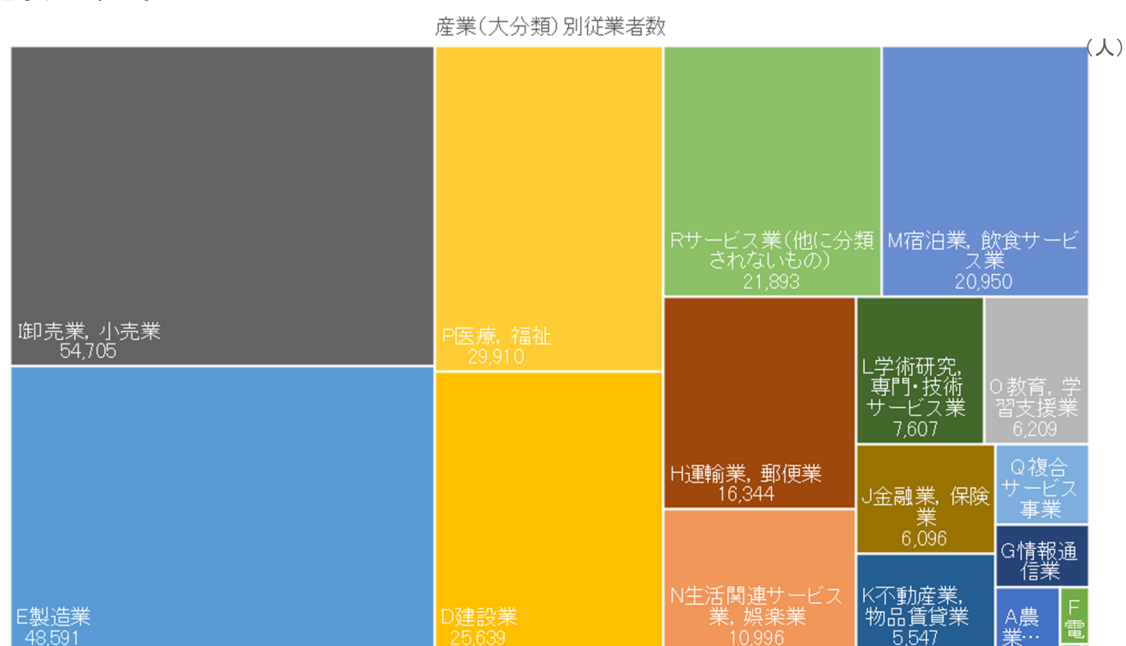
圏域の事業所数を産業（大分類）別で見ると、多いのは「卸売業、小売業（6,977 事業所）」、「建設業（3,444 事業所）」、「宿泊業、飲食サービス業（2,975 事業所）」であり、これら産業で約半数を占めている。また、製造業は 2,171 事業所にとどまっている。



出典：総務省「2016 年 経済センサス-活動調査 事業所に関する集計 産業横断的集計」

③ 産業（大分類）別従業者数

圏域の従業員数を産業（大分類）別に見ると、多いのは「卸売業、小売業（54,705 人）」、「製造業（48,591 人）」、「医療、福祉（29,910 人）」、「建設業（25,639 人）」であり、これら産業が地域雇用の主要な受け皿になっているといえる。圏域内において多様で継続的な雇用確保ができるよう、各市町村の強みを生かしながら事業承継、地元産業の育成を図る必要がある。



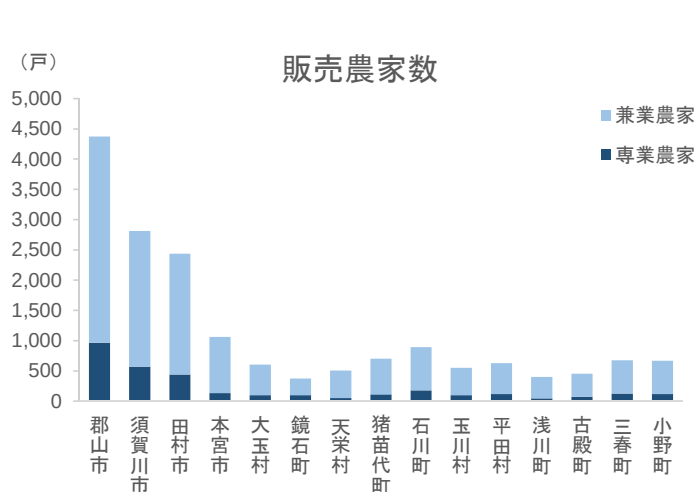
出典：総務省「2016 年 経済センサス-活動調査 事業所に関する集計 産業横断的集計」

(2) 農業

① 販売農家数

圏域の販売農家数は、郡山市、須賀川市、田村市で多い。また、販売農家数に対する専業農家数は郡山市、須賀川市、鏡石町、石川町で多く、兼業農家数は本宮市、天栄村、浅川町で多い。なお、全ての市町村において約8割が兼業農家である。

広域連携することにより農産物の流通等において対象品目や流通量が増加し、スケールメリットを生かした供給体制の確保が図られるとともに、圏域内の高等学校や研究機関等とも連携し、各地域の特性を生かした6次産業化の推進も期待される。また、原子力発電所事故に伴う風評の払しょくにも各市町村連携により取り組む必要がある。

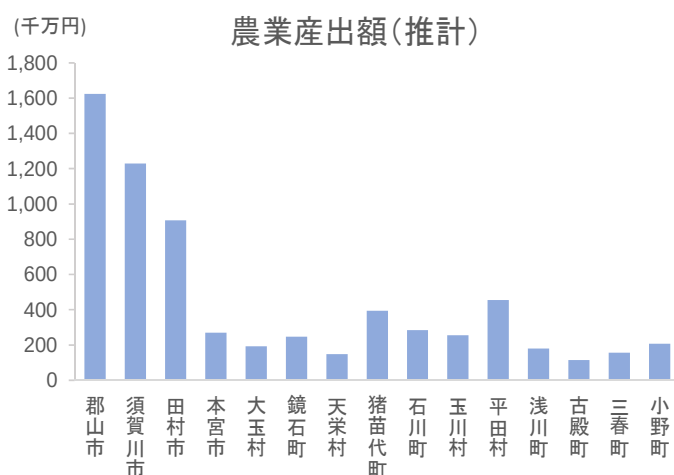


出典：福島県統計課「2015年 農林業センサス」

※販売農家：経営耕地面積 30ha 以上又は農産物販売金額が 50 万円以上の農家をいう

② 農業産出額（推計）

農業産出額（推計）は、郡山市、須賀川市、田村市、平田村、猪苗代町で高い。また、販売農家数1戸当たりの算出額は、平田村、鏡石町、猪苗代町で高い数値を示している。



出典：農林水産省「2016年 市町村別農業産出額（推計）」

区分	農業産出額(推計) (販売農家1戸当たり)	
	(千万円)	(万円)
郡山市	1,624	(371)
須賀川市	1,229	(437)
田村市	907	(372)
本宮市	270	(255)
大玉村	193	(320)
鏡石町	247	(660)
天栄村	149	(294)
猪苗代町	395	(563)
石川町	284	(318)
玉川村	255	(463)
平田村	455	(727)
浅川町	180	(448)
古殿町	115	(254)
三春町	157	(233)
小野町	207	(310)
圏域計	6,667	(389)

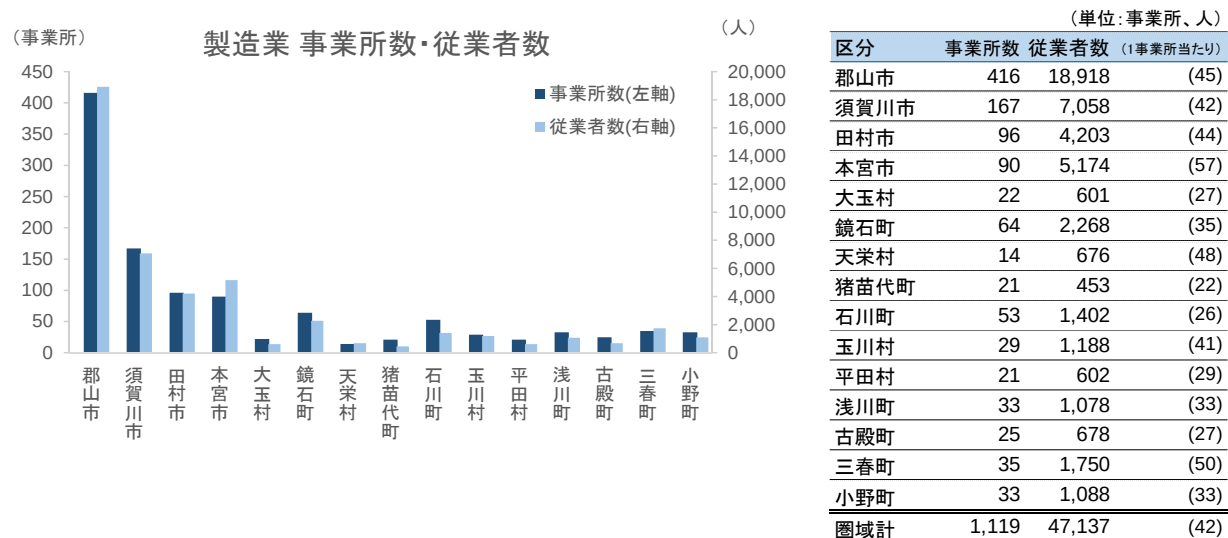
(3) 製造業

製造業については東北自動車道及び磐越自動車道沿線の自治体で特に集積が見られるが、各市町村にそれぞれ工業団地等も造成整備されており、地域雇用を支える基盤としても期待されている。また、圏域内に立地する学術研究機関や高等教育機関等とも連携し、産学官連携による競争力の強化や国際化への対応が求められる。

① 事業所数・従業者数

圏域の製造業における事業所数、従業者数は、郡山市、須賀川市、田村市、本宮市で多い。

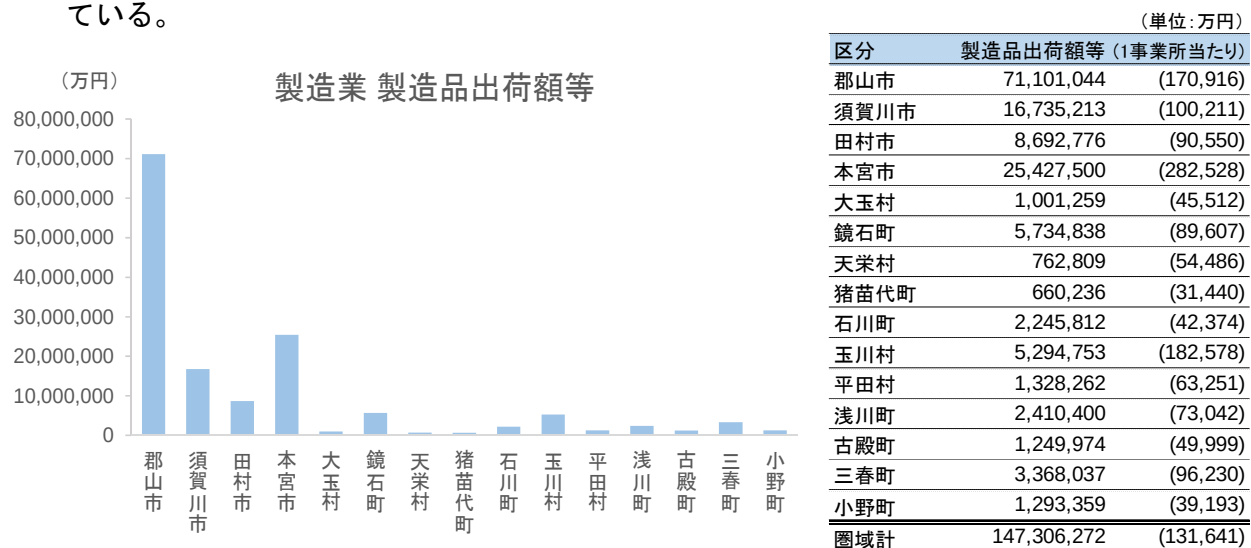
一方、1事業所当たりの従業者数は、本宮市、三春町で高い数値を示しており、比較的規模の大きい事業所数が立地していると推察される。



出典：経済産業省「2017年工業統計調査（地域別統計表）」

② 製造品出荷額等

製造品出荷額等は、郡山市、本宮市、須賀川市、田村市、鏡石町で多い。また、1事業所当たりの製造品出荷額等は、本宮市が非常に多く、以下、玉川村、郡山市、須賀川市が続いている。

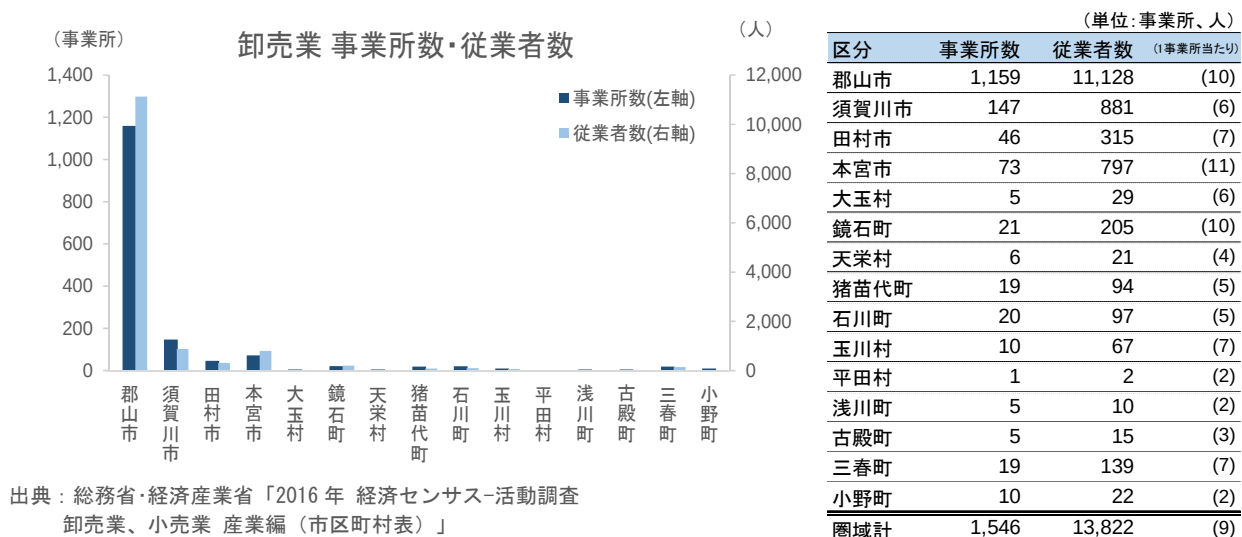


出典：経済産業省「2017年工業統計調査（地域別統計表）」

(4) 卸売業

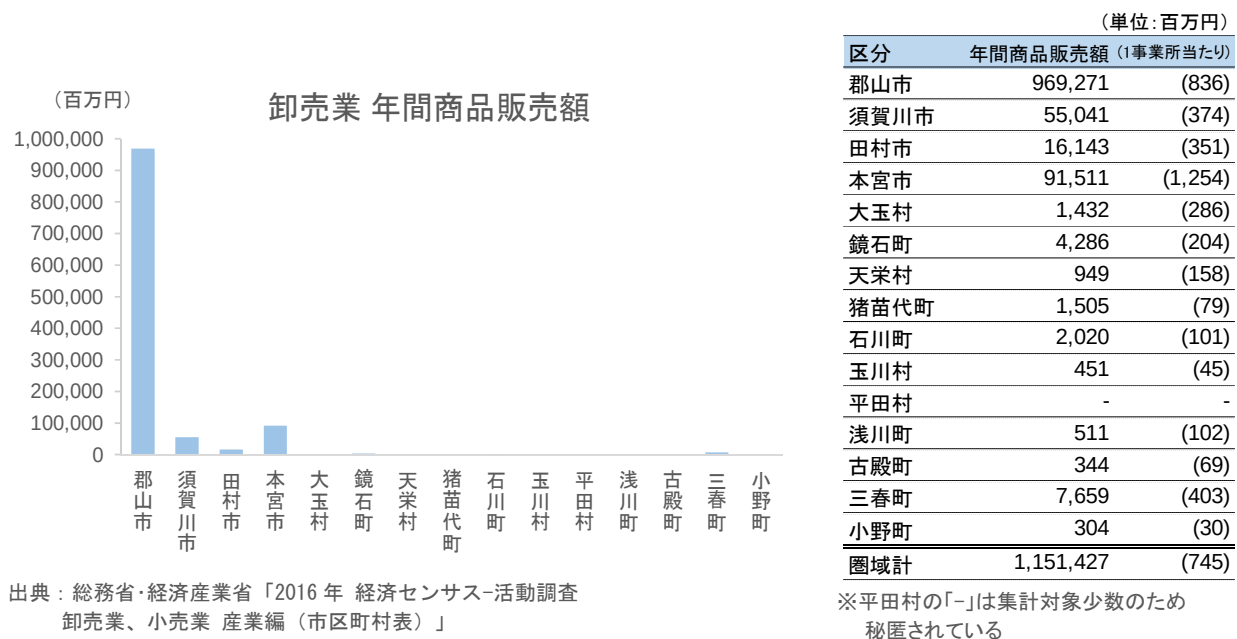
① 事業所数・従業者数

圏域の卸売業における事業所数、従業者数は、郡山市が突出しており、圏域全体の事業所数の75%、従業者数の80%を占めている。一方、1事業所当たりの従業者数は、本宮市、郡山市、鏡石町で比較的高い数値を示している。



② 年間商品販売額

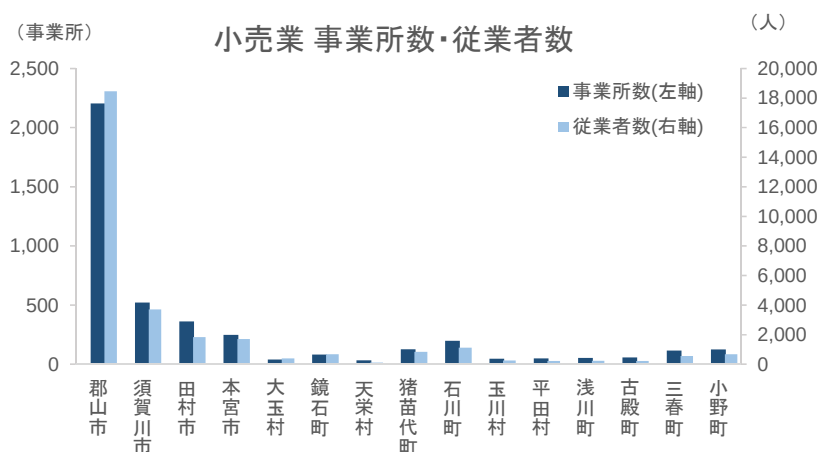
年間商品販売額は、事業所数が多い郡山市が高い数値を示している。また、1事業所当たりの年間商品販売額は、本宮市が郡山市よりも多い状況にある。



(5) 小売業

① 事業所数・従業者数

圏域の小売業における事業所数、従業者数は、卸売業同様、郡山市が非常に多く、圏域全体の事業所数の52%、従業者数の60%を占めている。また、1事業所当たりの従業者数は、全ての市町村において10名未満となっており、小規模な事業者が多数を占めている状況にある。



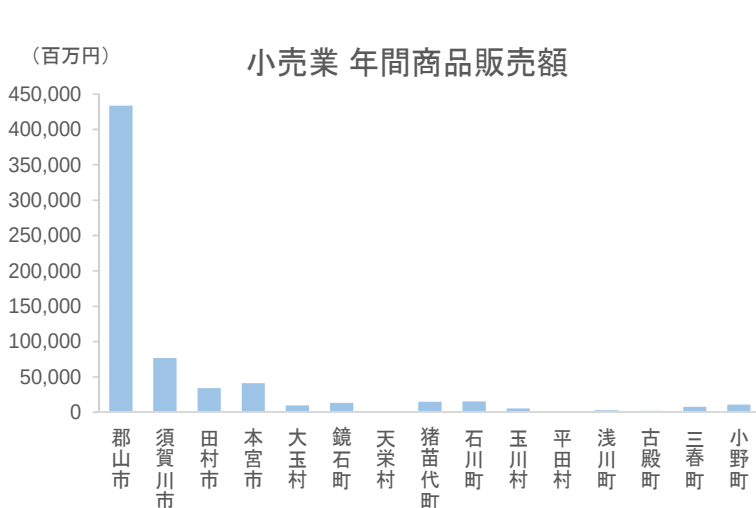
出典：総務省・経済産業省「2016年 経済センサス-活動調査 卸売業、小売業 産業編（市区町村表）」

(単位：事業所、人)

区分	事業所数	従業者数 (1事業所当たり)
郡山市	2,205	18,458 (8)
須賀川市	521	3,710 (7)
田村市	362	1,839 (5)
本宮市	248	1,708 (7)
大玉村	41	389 (9)
鏡石町	83	681 (8)
天栄村	33	110 (3)
猪苗代町	127	833 (7)
石川町	199	1,131 (6)
玉川村	47	254 (5)
平田村	49	218 (4)
浅川町	54	233 (4)
古殿町	59	221 (4)
三春町	115	548 (5)
小野町	125	682 (5)
圏域計	4,268	31,015 (7)

② 年間商品販売額

年間商品販売額は、事業所数が多い郡山市で突出している。また、1事業所当たりの年間商品販売額は、大玉村が郡山市よりも多い状況にある。



出典：総務省・経済産業省「2016年 経済センサス-活動調査 卸売業、小売業 産業編（市区町村表）」

(単位：百万円)

区分	年間商品販売額 (1事業所当り)
郡山市	433,691 (197)
須賀川市	76,908 (148)
田村市	34,163 (94)
本宮市	41,127 (166)
大玉村	9,901 (241)
鏡石町	13,331 (161)
天栄村	1,219 (37)
猪苗代町	15,098 (119)
石川町	15,183 (76)
玉川村	5,242 (112)
平田村	-
浅川町	3,052 (57)
古殿町	2,242 (38)
三春町	7,715 (67)
小野町	11,082 (89)
圏域計	669,954 157

※平田村の「-」は集計対象少数のため秘匿されている

（６）産業項目別県内シェア

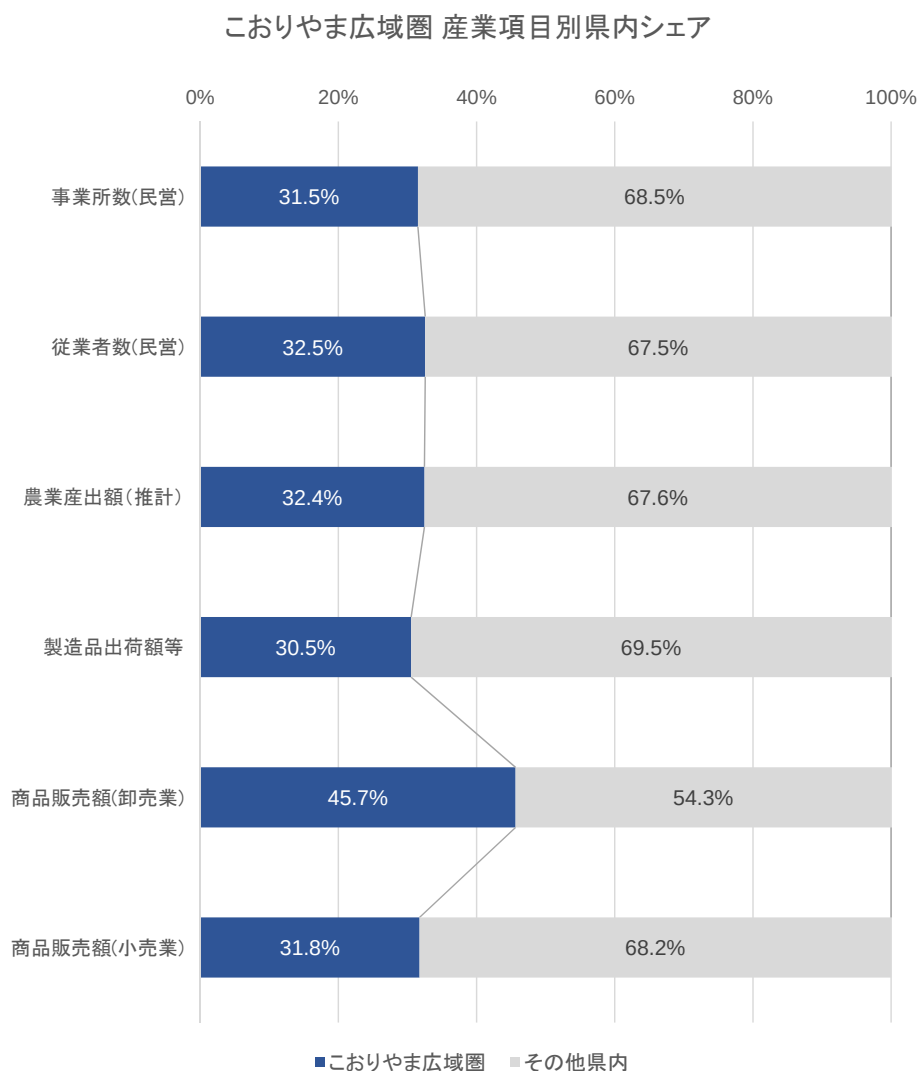
これまで現状分析を行った産業分野の各項目について、こおりやま広域圏の県内シェアは次のとおり。

事業所数、従業者は、それぞれ 31.5%、32.5%となっており、圏域の人口同様、県内の約 3 割を占めている。

農業分野の指標である農業産出額（推計）は 32.4%となっており、農業は圏域の基幹産業のひとつであるといえる。

製造業の指標である製造品出荷額等は 30.5%と他の指標と比較して若干低いですが、それでも大規模な製造業が集積するいわき市（18.9%）を大きく超えるシェアを占めている。

小売業の指標である商品販売額についても 3 割を超える数値を示しており、特に卸売業は 45.7%と非常に高いシェアを占めるなど、アクセス性の良さを生かしたスムーズな商品流通を担う事業所が集積しているといえる。



出典：総務省「2016 年 経済センサス-活動調査」、福島県統計課「2015 年 農林業センサス」、
農林水産省「2016 年 市町村別農業産出額(推計)」、経済産業省「2017 年 工業統計調査」、
総務省・経済産業省「2017 年 経済センサス-活動調査」

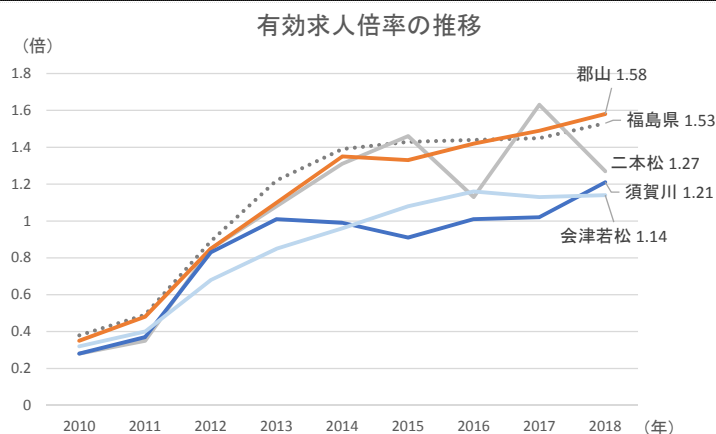
（７）有効求人倍率の推移

福島県及び圏域内市町村を管轄するハローワーク別に有効求人倍率を見ると、震災前は全ての地区で１倍を大きく下回る０．３倍程度であったが、２０１１年の震災直後からの復興需要増により急激に上昇。２０１３年には会津若松地区を除く全ての地区で１倍を超えている。

その後、２０１５年頃から復興需要のピークアウトを迎え、有効求人倍率の上昇傾向は緩やかになるものの、それでも人手不足の影響から、引き続き上昇傾向にある。特に郡山地区については、２０１８年４月には１．５８倍と高い数値を示している。

（単位：倍）

区分	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
福島県	0.38	0.49	0.89	1.22	1.39	1.43	1.44	1.45	1.53
二本松	0.28	0.35	0.85	1.08	1.31	1.46	1.13	1.63	1.27
郡山	0.35	0.48	0.85	1.10	1.35	1.33	1.42	1.49	1.58
須賀川	0.28	0.37	0.83	1.01	0.99	0.91	1.01	1.02	1.21
会津若松	0.32	0.40	0.68	0.85	0.96	1.08	1.16	1.13	1.14



出典：福島労働局「有効求人倍率の推移（各年４月）」

【管轄区域】

二本松 二本松市、本宮市、安達郡（大玉村）
 郡山 郡山市、田村市、田村郡（三春町、小野町）
 須賀川 須賀川市、岩瀬郡（鏡石町、天栄村）、石川郡（石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町）
 会津若松 会津若松市、大沼郡、耶麻郡のうち磐梯町、猪苗代町、河沼郡

※下線はこおりやま広域圏構成市町村

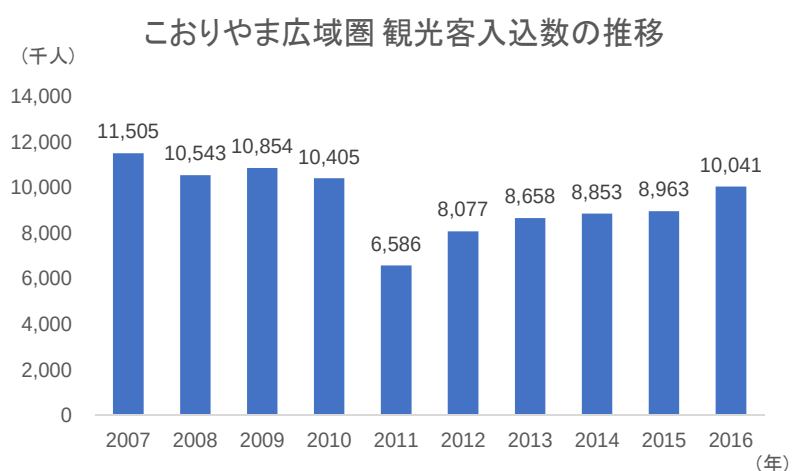
(8) 観光

インバウンド観光への対応や団体旅行から個人旅行への移行が進展する状況を踏まえ、圏域内市町村の地域資源を生かした官民協働による周遊型観光の取り組みや、収容力の高いコンベンション施設を核としたアフターコンベンションへの接続など構成市町村それぞれの強みと魅力の積極的なPRが求められる。

① 観光客入込数

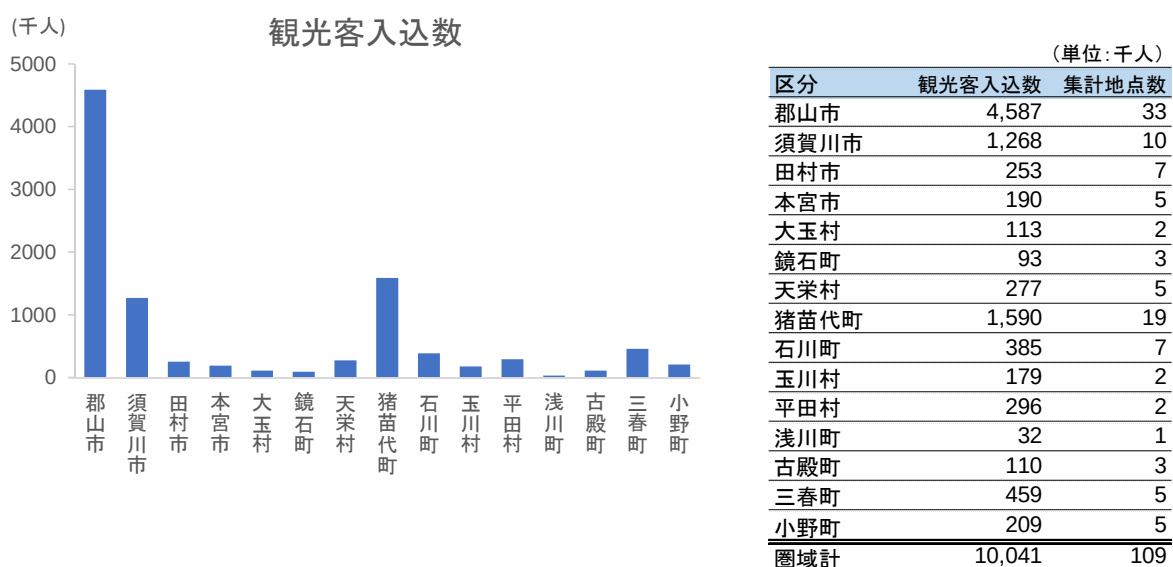
圏域の観光客入込数は1千万人程度で推移してきたが、震災の影響により2011年に激減している。

その後、回復のテンポは鈍かったものの、2016年には震災前の水準である1千万人を超えたところである。



出典：福島県観光交流課「福島県観光客入込状況（各年次）」※千人未満切捨て

市町村別では、調査対象集計地点を多く抱える郡山市、猪苗代町、須賀川市において高い数値を示している。また、平田村は2地点と少ない地点数ではあるものの、多くの入込数と



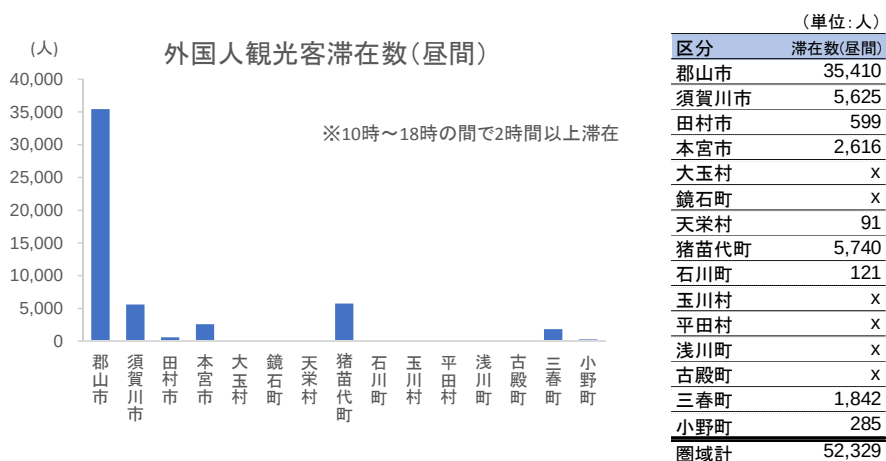
出典：福島県観光交流課「福島県観光客入込状況(2016年)」※千人未満切捨て

② 外国人観光客（インバウンド）滞在状況

外国人観光客（インバウンド）の状況については、市町村別の統計データが不足しており、分析が難しい状況にあるが、比較的データを保有する地域経済分析システム「RESAS」の数字を用いて分析を行う。

圏域におけるインバウンドの昼間（10時から18時）の滞在状況については、郡山市、猪苗代町、須賀川市が多い。

また、月別では4～5月と、10月～11月が1年で最も多い状況にある。



出典: RESAS「外国人滞在分析(2017年各月)」(1月～11月までを合算)

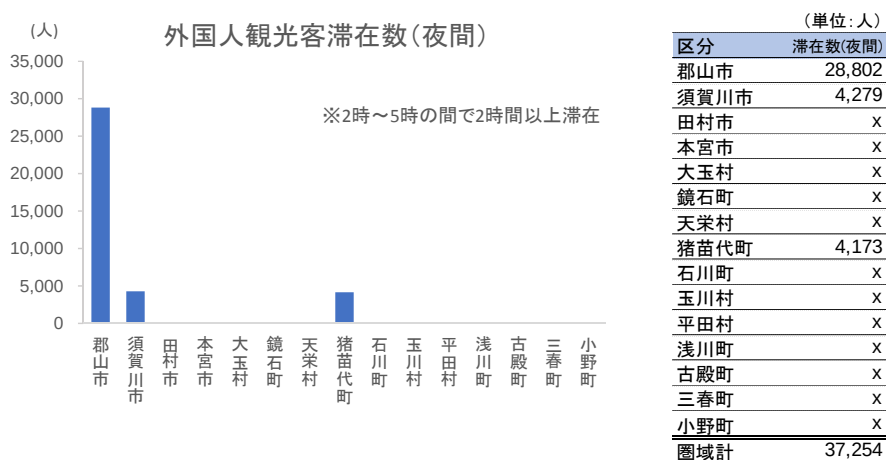
※1 指定地域の昼間帯(10時～18時)に2時間以上滞在した外国人数を日別に算出し、対象期間の日数分を積算。

当該データは、訪日外国人における約400万台の携帯電話の運用データを基に拡大推計。

※2 大玉村、鏡石町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町はデータがないため算出不可(「x」で表示)

インバウンドの夜間（2時から5時）の滞在状況は宿泊場所を示していると想定するが、データが公開されているのは一部の市町村にとどまっている。

公開されている市町村では、宿泊施設を多く抱える郡山市が突出しており、県内各地区へのアクセスの良さなども宿泊先として選択されていると推察される。



出典: RESAS「外国人滞在分析(2017年各月)」(1月～11月までを合算)

※1 指定地域の夜間帯(2時～5時)に2時間以上滞在した外国人数を日別に算出し、対象期間の日数分を積算。

当該データは、訪日外国人における約400万台の携帯電話の運用データを基に拡大推計。

※2 郡山市、須賀川市、猪苗代町以外の市町村はデータがないため算出不可(「x」で表示)。

5 都市機能の集積状況

(1) 医療・福祉

県中医療圏の核として、人口に対する病床数も全国平均を上回る郡山市を中心に、各地域におけるかかりつけ医及び救急医療体制が充実していることは本圏域の大きな強みであり、住民の生活圏を踏まえた医療提供のあり方が求められている。

広域的に入所可能な介護老人福祉施設等の整備に当たっては、今後の高齢者人口及び要介護認定者の推移を見極めながら計画的な整備が求められる。

連携中枢都市である本市に通勤する近隣市町村の住民や本市から近隣市町村に通勤する住民が、安心して子どもを産み育て、働き続けることができるよう、圏域内の保育施設を柔軟に利用できる環境づくりが求められている。

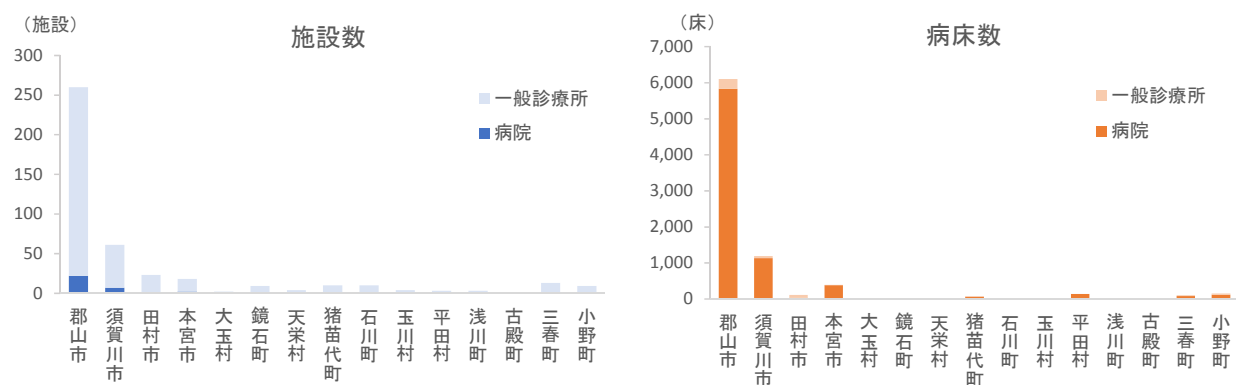
① 医療施設及び医師

(単位：施設、床、店、人)

二次医療圏	構成 市町村名	病院		一般診療所		薬局数	医師数
		施設数	病床数	施設数	病床数		
県北	本宮市	2	383	16	3	15	27
	大玉村	0	0	2	0	0	0
県中	郡山市	22	5,829	238	277	143	818
	須賀川市	7	1,134	54	54	32	119
	田村市	1	32	22	76	12	23
	鏡石町	0	0	9	0	5	8
	天栄村	0	0	4	0	2	3
	石川町	0	0	10	8	7	9
	玉川村	0	0	4	0	3	2
	平田村	1	142	2	0	1	7
	浅川町	0	0	3	0	2	1
	古殿町	0	0	2	0	1	0
	三春町	1	86	12	0	5	17
	小野町	1	119	8	36	2	13
会津・南会津	猪苗代町	1	65	9	19	5	13

出典：福島県「第七次福島県医療計画」(2018年3月)

福島県内の各保健福祉事務所の業務概要 (2018年3月31日現在)



② 救急医療施設及び周産期医療施設

区分	市町村名	医療機関
三次救急	郡山市	太田西ノ内病院（救命救急センター）
二次救急	郡山市	寿泉堂綜合病院、星綜合病院、太田西ノ内病院、今泉西病院、桑野協立病院、太田熱海病院、総合南東北病院
	須賀川市	須賀川病院、公立岩瀬病院、池田記念病院
	本宮市	谷病院
	平田村	ひらた中央病院
二次救急（協力病院）	郡山市	佐藤胃腸科外科病院
	田村市	大方病院
	三春町	町立三春病院
初期救急	郡山市	郡山医師会休日在宅当番医制、郡山市休日・夜間急病センター
	須賀川市	須賀川地方休日夜間急病診療所
	田村市	田村医師会休日在宅当番医制、田村地方夜間診療所
	本宮市	安達医師会休日在宅当番医制
	大玉村	
	石川町	石川郡医師会休日在宅当番医制
	玉川村	
	平田村	
	浅川町	
	古殿町	
	三春町	田村医師会休日在宅当番医制
	小野町	
地域周産期母子医療センター	郡山市	太田西ノ内病院
周産期医療協力施設	郡山市	寿泉堂綜合病院、星綜合病院
	須賀川市	公立岩瀬病院

出典：福島県「第七次福島県医療計画」（2018年3月）

【参考】福島県二次医療圏



出典：福島県「福島県医療地域構想」

③ 社会福祉施設等

(単位：施設、人)

市町村名	保護施設		老人福祉施設		障害者支援施設		児童福祉施設	
	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員
郡山市	1	80	8	304	11	610	53	3,604
須賀川市	0	0	5	30	1	60	29	1,991
田村市	1	40	4	30	2	96	8	619
本宮市	0	0	1	19	5	87	8	566
大玉村	0	0	0	0	1	30	1	140
鏡石町	0	0	1	0	0	0	5	322
天栄村	0	0	1	0	0	0	1	60
猪苗代町	0	0	1	0	2	80	7	571
石川町	0	0	2	70	2	100	7	457
玉川村	0	0	0	0	0	0	1	120
平田村	0	0	0	0	0	0	2	80
浅川町	0	0	1	15	0	0	1	80
古殿町	0	0	0	0	0	0	1	160
三春町	0	0	1	80	0	0	5	375
小野町	0	0	0	0	0	0	4	225

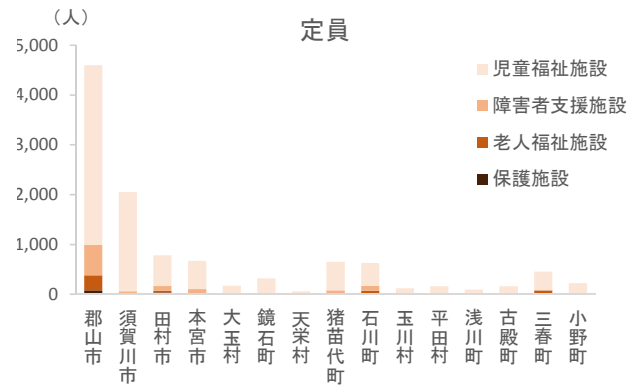
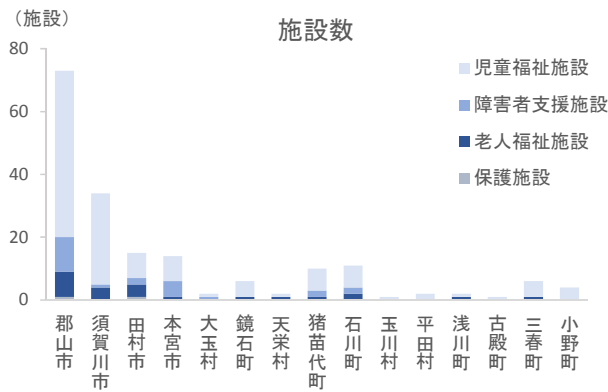
出典：厚生労働省 社会福祉施設等調査（2017年）、各市町村HP等（2018年3月末現在）

※保護施設：救護施設、更生施設、授産施設、宿所提供施設

老人福祉施設：養護老人ホーム、軽費老人ホーム、ケアハウス、老人福祉センター

障害者支援施設：障害者支援施設、地域活動支援センター、福祉ホーム

児童福祉施設：母子生活支援施設、保育所、児童養護施設、児童家庭支援センター 等

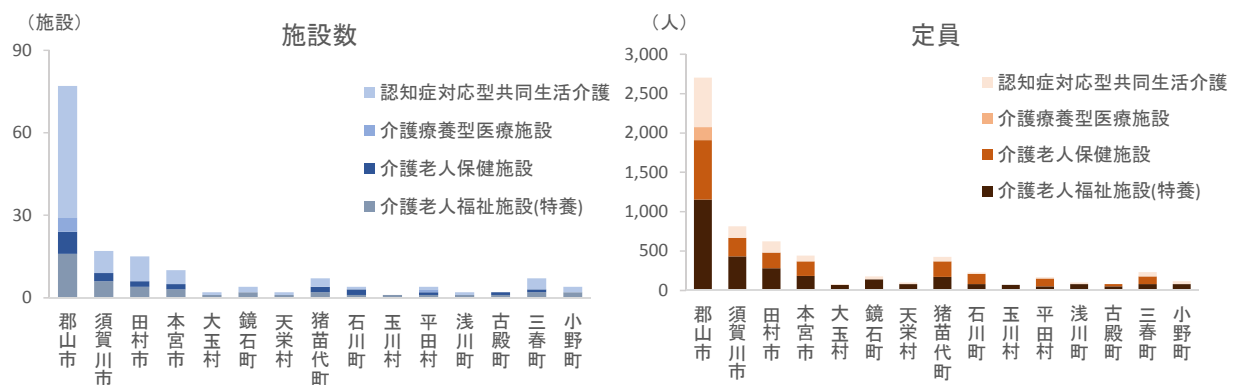


ア 介護保険施設等

(単位：施設、人)

市町村名	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)		介護老人保健施設		介護療養型医療施設		認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	
	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員
郡山市	16	1,154	8	754	5	166	48	630
須賀川市	6	460	3	220	0	0	8	144
田村市	4	280	2	200	0	0	9	144
本宮市	3	185	2	183	0	0	5	72
大玉村	1	70	0	0	0	0	1	9
鏡石町	2	140	0	0	0	0	2	36
天栄村	1	80	0	0	0	0	1	18
猪苗代町	2	170	2	200	0	0	3	54
石川町	1	80	2	129	0	0	1	18
玉川村	1	70	0	0	0	0	0	0
平田村	1	50	1	100	1	20	1	18
浅川町	1	80	0	0	0	0	1	18
古殿町	1	50	1	29	0	0	0	0
三春町	2	79	1	100	0	0	4	54
小野町	2	79	0	0	0	0	2	35

出典：各市町村 HP 等（2018 年 3 月末現在）

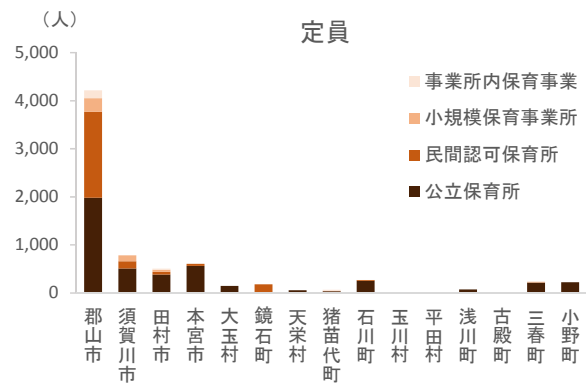
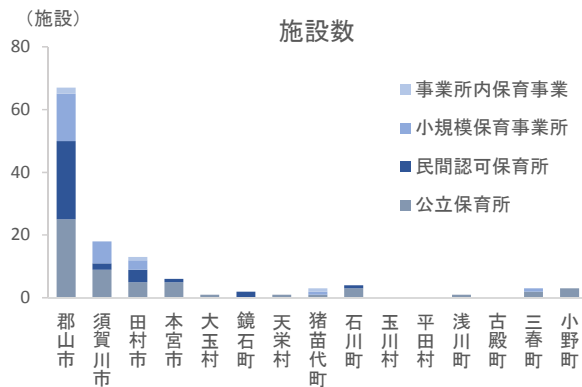


イ 保育所・幼稚園

(単位：施設、人)

市町村名	保育施設							
	公立保育所		民間認可保育所		小規模保育事業		事業所内保育事業	
	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員
郡山市	25	1,980	25	1,789	15	280	2	170
須賀川市	9	510	2	150	7	121	0	0
田村市	5	380	0	0	3	43	1	19
本宮市	5	566	1	39	0	0	0	0
大玉村	1	150	0	0	0	0	0	0
鏡石町	0	0	2	182	0	0	0	0
天栄村	1	60	0	0	0	0	0	0
猪苗代町	1	35	0	0	1	10	1	24
石川町	3	255	1	14	0	0	0	0
玉川村	0	0	0	0	0	0	0	0
平田村	0	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	1	72	0	0	0	0	0	0
古殿町	0	0	0	0	0	0	0	0
三春町	2	216	0	0	1	19	0	0
小野町	3	225	0	0	0	0	0	0

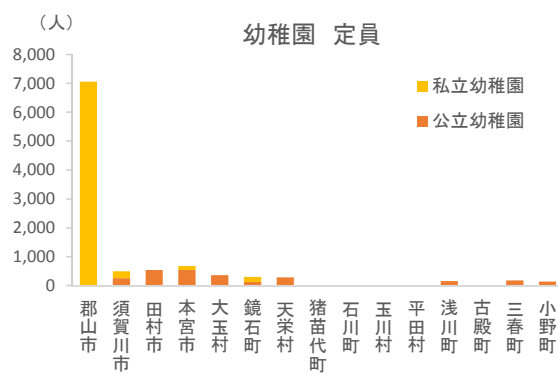
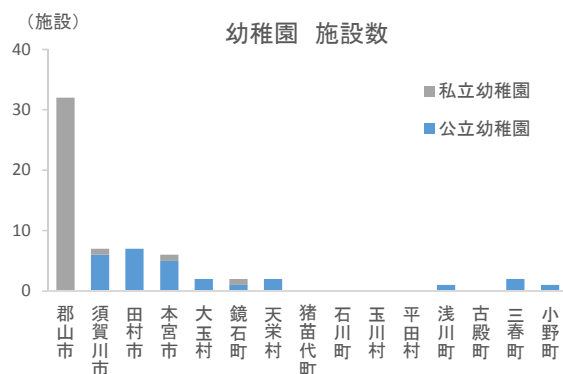
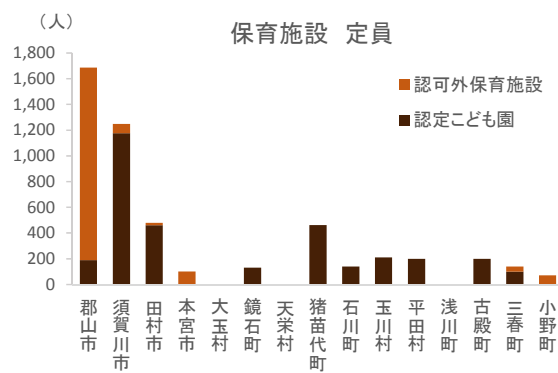
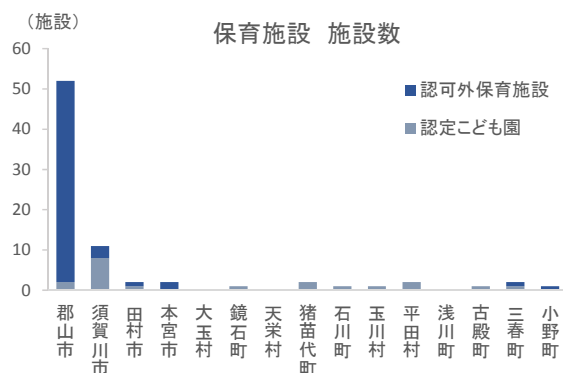
出典：各市町村 HP 等（2018 年 4 月現在）



(単位：施設、人)

市町村名	保育施設		認定こども園		幼稚園			
	認可外保育施設				公立幼稚園		私立幼稚園	
	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員
郡山市	50	2,435	2	300	0	0	32	7,055
須賀川市	3	74	8	1,176	6	255	1	240
田村市	1	20	1	460	7	540	0	0
本宮市	2	101	0	0	5	540	1	135
大玉村	0	0	0	0	2	360	0	0
鏡石町	0	0	1	130	1	120	1	180
天栄村	0	0	0	0	2	280	0	0
猪苗代町	0	0	2	462	0	0	0	0
石川町	0	0	1	140	0	0	0	0
玉川村	0	0	1	210	0	0	0	0
平田村	0	0	2	200	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	1	160	0	0
古殿町	0	0	1	200	0	0	0	0
三春町	1	40	1	100	2	180	0	0
小野町	1	70	0	0	1	140	0	0

出典：各市町村 HP 等（2018 年 4 月現在）



(2) 教育・文化・スポーツ

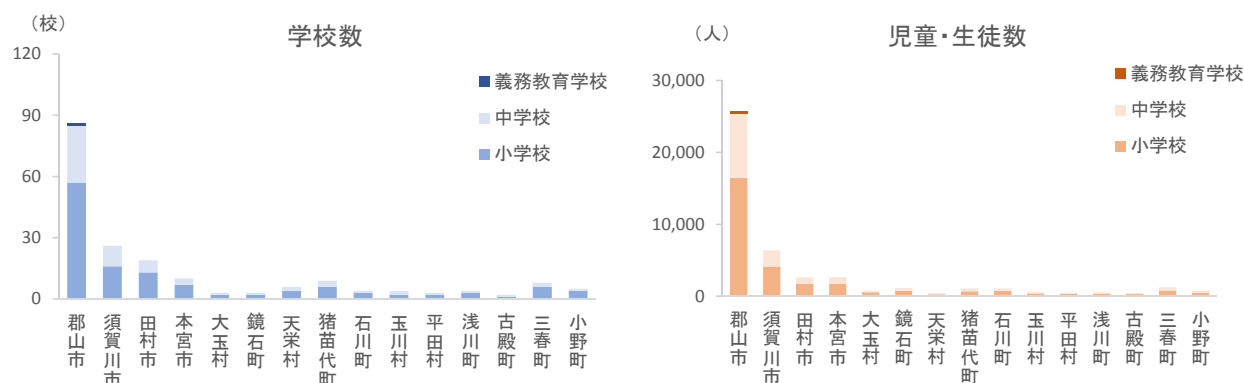
それぞれの地域における充実した初等・中等教育の質の確保と、様々な分野の大学・専修学校等の立地を生かし、地域で学びたいことを学べる環境整備を図るとともに、圏域内に立地する多くの国や県等の研究学術機関や企業・団体等との官民連携による取り組みや地域の経済活動を支える人材育成が求められている。

① 小中学校等

(単位：校、人)

市町村名	小学校		中学校		義務教育学校	
	学校数	児童数	学校数	生徒数	学校数	児童生徒数
郡山市	53	16,439	27	8,944	1	280
須賀川市	16	4,126	10	2,247	0	0
田村市	13	1,684	6	938	0	0
本宮市	7	1,717	3	920	0	0
大玉村	2	516	1	240	0	0
鏡石町	2	729	1	384	0	0
天栄村	4	250	2	155	0	0
猪苗代町	6	664	3	379	0	0
石川町	3	709	1	360	0	0
玉川村	2	360	2	194	0	0
平田村	2	297	1	169	0	0
浅川町	3	334	1	200	0	0
古殿町	1	277	1	132	0	0
三春町	6	774	2	463	0	0
小野町	4	490	1	285	0	0

出典：平成30年度学校基本調査（2018年5月1日現在）



② 高等学校・特別支援学校

市町村名	名称	主な学科等
郡山市	安積高等学校	普通科
	安積黎明高等学校	普通科
	郡山東高等学校	普通科
	郡山商業高等学校	流通経済科、会計科、情報処理科
	郡山北工業高等学校	機械科、電気科、電子科、情報技術科、建築科、化学工学科
	郡山高等学校	普通科、英語科
	あさか開成高等学校	国際科学科
	湖南高等学校	普通科
	郡山萌世高等学校	定時制単位制普通科、通信制単位制普通科
	安積高等学校御館校	普通科
	日本大学東北高等学校	普通科
	尚志高等学校	普通科、情報総合科
	帝京安積高等学校	普通科、ビジネス総合科
	郡山女子大学附属高等学校	普通科、音楽科、美術科、食物科
	聴覚支援学校	普通科、情報工業科、生活技術科
	郡山支援学校	普通科
	あぶくま支援学校	普通科
	須賀川支援学校郡山校	普通科
須賀川市	須賀川高等学校	普通科、オフィス情報科
	須賀川桐陽高等学校	普通科、理数科学科
	清陵情報高等学校	情報電子科、電子機械科、情報処理科、情報会計科
	長沼高等学校	普通科
	須賀川支援学校	普通科
田村市	船引高等学校	普通科
	たむら支援学校	普通科
本宮市	本宮高等学校	普通科、情報会計科
鏡石町	岩瀬農業高等学校	生物生産科、園芸科学科、食品加工科、アグリビジネス科、ヒューマンサービス科
猪苗代町	猪苗代高等学校	普通科、観光ビジネス科
	ふたば未来学園高等学校（協力校）	総合学科
	猪苗代支援学校	普通科
石川町	石川高等学校	普通科
	学校法人石川高等学校	普通科
	石川支援学校	普通科
三春町	田村高等学校	普通科、体育科
小野町	小野高等学校	総合学科

出典：福島県教育庁高校教育課、各高等学校 HP（2019 年 3 月現在）

③ 大学・専修学校等

市町村名	名称	主な学部・学科等
郡山市	日本大学工学部	土木工学科、建築学科、機械工学科、電気電子工学科、生命応用科学科、情報工学科、博士前後期課程
	郡山女子大学	家政学部人間生活学科、家政学部食物栄養学科、人間生活学研究科（大学院）
	郡山女子大学短期大学部	健康栄養科、幼児教育学科、地域創成学科、専攻科文化学専攻
	奥羽大学	歯学部、薬学部、歯学研究科（大学院）
	福島医療専門学校	柔整科、鍼灸科、歯科衛生士科
	日本調理技術専門学校	調理師本科、製菓衛生師科
	東北歯科専門学校	歯科衛生士科、歯科技工士科
	ケイセンビジネス公務員カレッジ	公務員上級学科、行政事務学科、行政マネジメント学科、総合ビジネス学科
	国際医療看護福祉大学校	看護学科、言語聴覚士科、救命救急士科、臨床工学技師科、介護福祉学科、看護学科（通信課程）、社会福祉科（通信課程）
	今泉女子専門学校	服飾科、プロフェッショナル科、服飾家政科、研究科
	i キャリア医療福祉専門学校	介護福祉学科、医療事務福祉学科、情報ビジネス学科
	郡山健康科学専門学校	こども未来学科、介護福祉学科、メディカルスポーツ柔道整復学科、作業療法学科、理学療法学科
	郡山ヘアメイクカレッジ	美容科、美容科（通信課程）
	太田看護専門学校	看護学科
	国際ビジネス公務員大学校	公務員科、公務員短期受験科、医療ビジネス科、医療事務科、オフィスビジネス科、会計ビジネス科、ホテルビジネス科、観光科、スポーツビジネス科、こども保育科、国際ホテル・ツーリズム科、国際ビジネス科
	国際ビューティファッション・製菓大学校	美容学科、トータルビューティ科、ブライダルコーディネート学科、ファッション学科、パティシエ学科
	郡山看護専門学校	看護学科、准看護学科
	ポラリス保健看護学院	保健看護学科
	国際アート&デザイン大学校	グラフィックデザイン科、CGマスター科、CGアニメーション科、イラストレーション科、コミックマスター科、コミックイラスト科、マンガクリエイト科、音響・ミュージック科、アニメ声優科、ペット総合科
	国際情報工科自動車大学校	1級自動車工学科、自動車車体工学科、自動車工学科、建築CAD設計科、建築士専攻科、高度情報工学科、情報システム工学科、電気エネルギー工学科、ゲームソフト開発科、ゲームグラフィック科、放射線工学科、ドローンスペシャリスト科
	郡山学院高等専修学校	情報事務科
	福島県立テクノアカデミー郡山	郡山職業能力開発短期大学：精密機械工学科、組込技術工学科 郡山職業能力開発校：建築科
須賀川市	公立岩瀬病院附属高等看護学院	看護学科
	独立行政法人国立病院機構福島病院附属看護学校	看護学科
	須賀川専門学校	編物科、洋裁科、和裁科、家政、ファッション専攻科
三春町	福島県理工専門学校	高等科、専門科

出典：各大学等HP等（2018年12月現在）

④ 研究機関・産業支援機関

市町村名	主な研究機関等
郡山市	国立研究開発法人 産業技術総合研究所福島再生可能エネルギー研究所、独立行政法人 日本貿易振興機構福島貿易情報センター、独立行政法人 国際協力機構 JICA 郡山、ふくしま医療機器開発支援センター、福島県農業総合センター、福島県林業研究センター、福島県ハイテクプラザ、公益財団法人 福島県産業振興センター エネルギー・エージェンシーふくしま、公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構、郡山テクノポリスものづくりインキュベーションセンター、郡山市園芸振興センター
須賀川市	福島県ものづくり支援センター
大玉村	福島県野生生物共生センター
猪苗代町	福島県内水面水産試験場、福島県猪苗代水環境センター、福島県農業総合センター畜産研究所沼尻分場
三春町	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構福島研究開発部門福島研究開発拠点福島環境安全センター、国立研究開発法人 国立環境研究所福島支部、福島県環境創造センター

出典：各機関 HP 等（2018 年 9 月現在）

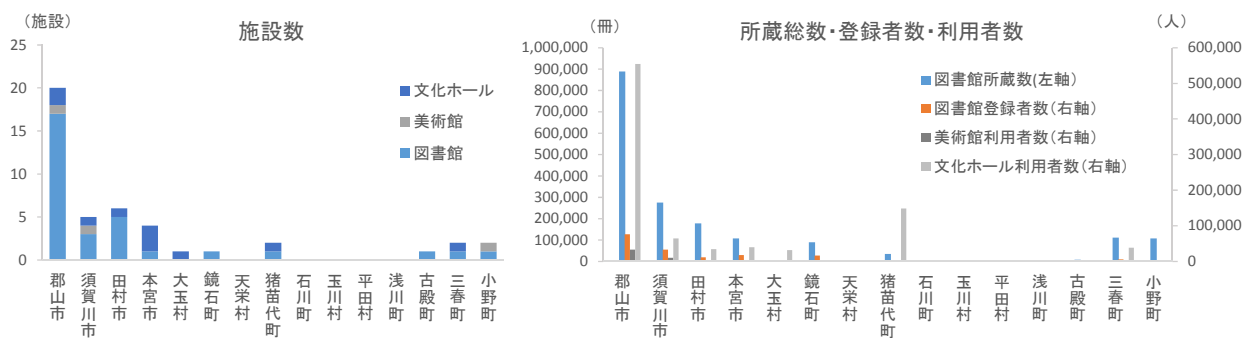
⑤ 文化施設

(単位：施設、冊、人)

市町村名	図書館			美術館・博物館		文化ホール	
	施設数	所蔵総数	登録者	施設数	利用者数	施設数	利用者数
郡山市	17	889,671	76,182	1	33,313	2	554,559
須賀川市	3	275,071	33,073	1	10,232	1	64,429
田村市	5	178,300	11,404	0	0	1	34,438
本宮市	1	107,633	17,576	0	0	3	40,108
大玉村	0	0	0	0	0	1	31,719
鏡石町	1	90,039	16,558	0	0	0	0
天栄村	0	0	0	0	0	0	0
猪苗代町	1	37,100	3,783	1	4,521	1	148,704
石川町	0	0	0	0	0	0	0
玉川村	0	0	0	0	0	0	0
平田村	0	0	0	0	0	0	0
浅川町	0	0	0	0	0	0	0
古殿町	1	8,327	394	0	0	0	0
三春町	1	111,719	5,480	0	0	1	38,407
小野町	1	107,007	3,737	1	2,750	0	0

出典：各市町村統計情報等（2018年3月末現在）

※各市町村の条例に基づき設置される文化施設等



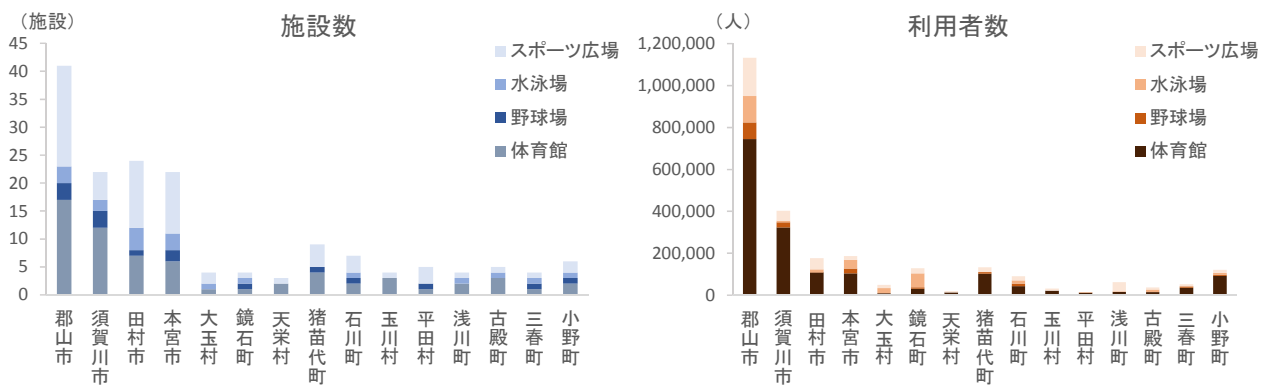
⑥ スポーツ施設

(単位：施設、人)

市町村名	体育館		野球場		水泳場		スポーツ広場	
	施設数	利用者数	施設数	利用者数	施設数	利用者数	施設数	利用者数
郡山市	17	744,649	3	80,043	3	125,505	18	182,334
須賀川市	12	324,010	3	24,181	2	6,502	5	48,174
田村市	7	108,674	1	463	4	13,584	12	53,855
本宮市	7	112,394	3	26,965	3	40,604	10	15,999
大玉村	1	9,919	0	0	1	23,796	2	15,026
鏡石町	1	31,015	1	6,532	1	66,056	1	24,572
天栄村	2	12,796	0	0	0	0	1	7,088
猪苗代町	4	102,637	1	6,673	0	0	2	24,800
石川町	2	43,190	1	11,684	1	16,315	3	19,449
玉川村	3	22,006	0	0	0	0	1	9,517
平田村	1	10,604	1	2,852	0	0	3	1,146
浅川町	2	15,702	0	0	1	2,096	1	45,044
古殿町	3	14,012	0	0	1	13,064	1	9,992
三春町	1	34,818	1	6,280	1	1,105	1	9,673
小野町	2	91,262	1	6,230	1	8,235	2	14,983

出典：各市町村統計情報等（2018年3月末現在）

※各市町村の条例に基づき設置される体育施設等



【参考】

＜公認プール＞

名称	種別	コース
郡山カルチャーパーク[郡山市]	飛込	一般／屋外
	25m	7 レーン／屋外
	50m	8 レーン／屋外
郡山ユラックス熱海温水プール[郡山市]	25m	7 レーン／屋内
郡山スウィンスイミングスクール[郡山市]	25m	6 レーン／屋内
日本大学工学部水泳プール[郡山市]	50m	6 レーン／屋内
郡山しんきん開成山プール（開成山屋内水泳場）[郡山市]	50m	10 レーン／屋内
	25m	8 レーン／屋内

出典：（公財）日本水泳連盟 HP

＜公認陸上競技場・競争路＞

名称	種別	距離
郡山ヒロセ開成山陸上競技場（開成山陸上競技場）[郡山市]	第 3 種	400m
田村市陸上競技場[田村市]	第 3 種	400m
猪苗代町陸上競技場[猪苗代町]	第 3 種	400m
円谷幸吉メモリアル公認[須賀川市]	ハーフマラソンコース 往復	21. 0975km
猪苗代湖[猪苗代町]	ハーフマラソンコース 循環	21. 0975km

出典：（公財）日本陸上競技連盟 HP

(3) 商業施設（大規模小売店舗）

福島県の経済県都として、農業、商業、工業の各分野の産業集積を背景に、住民の生活サービスや企業の物流・生産拠点をそれぞれの強みを生かしながら支え合う体制構築が求められている。また、福島県においては、特定小売商業施設（店舗面積 6,000 ㎡以上）の立地誘導について、現行の「単独の市町村」から「複数の市町村で構成する圏域単位」への要件緩和に向けた検討を進めていることから、近隣市町村が連携による地域商業の振興が求められている。

（上段：店舗面積 1,000 ㎡以上 10,000 ㎡未満、下段：10,000 ㎡以上）

市町村名	店舗名
郡山市	三丹ビル・SIビル、ヨークベニマル希望ヶ丘店、菊ービル、郡山中町ビル、かねとビル、トステムビバ安積店、ヨークベニマル安積町店、やまのいカルチャーセンター、トステムビバ大槻店、仙台ターミナルビル郡山店、トライアルマート喜久田店、高橋ビル、アメ横郡山店、ゼビオ郡山本店、トステムビバ桑野店、カワチ薬品城清水店、JR 郡山市民市場、台新ショッピングセンター、ディスカウントストアトライアル郡山安積バイパス店、ブックオフ郡山安積店、カインズホーム大槻店、G・O・1 郡山並木店、カワチ薬品安積店、ゲオ郡山城清水店、コジマ NEW 郡山店、ダイソー郡山島店、カワチ薬品富田店、万 SAI 堂郡山店、G.L.O 郡山店、リビングステージ扇屋、リオン・ドール郡山東店、サンショー横塚店、東京インテリア家具郡山店、ダイユーエイト三春街道店、ドッポ郡山本店、ヨークベニマル郡山荒井店、岩瀬書店富久山店、ハローズ郡山桑野店、ヨークベニマル郡山横塚店、カワチ薬品大槻店、建デポ郡山桑野店、みどり書房桑野店、ヨークベニマルコスモス通り店、ファッションセンターしまむら富田店、ダイユーエイト安積店、ヨークタウン八山田、MOLTI、ヨークベニマル新小原田店、ヨークタウン大槻、ケイヨーデーツー郡山安積店、小原田ファッションモール、郡山駅東ショッピングセンター、カワチ薬品富久山店、サンキ郡山店、ヤマダ電機テックランド郡山北店、ヨークタウン片平、ニトリ郡山店、ヨークタウン郡山堤下、ヨークベニマル日和田店、若葉ファッションモール、ヤマダ電機テックランド郡山南店、ファッションセンターしまむらコスモス通り店、ダイユーエイト郡山インター店、ヨークベニマル方八町店、ザ・ビック郡山喜久田店、ダイユーエイト郡山横塚店、ヨークタウン金屋
	ATI 郡山、イトーヨーカドー郡山店、ショッピングモールフェスタ、オリエントパーク日和田、イオンタウン郡山ショッピングセンター、カインズホーム郡山富田店、中町再開発ビル、フェスタパワー、ザ・モール郡山
須賀川市	ヨークベニマル須賀川西店、カワチ薬品須賀川店、リオン・ドール須賀川南店、ダイユーエイト須賀川西店、いちい須賀川東店、リオン・ドール須賀川東店、カワチ薬品須賀川東店、協同組合ながめまショッピングパーク、ケーズデンキ須賀川パワフル館、フレスポ須賀川、サンデー須賀川店
	イオンタウン須賀川、メガステージ須賀川
田村市	シミズストア船引パーク店、ダイユーエイト船引店、リオン・ドールガーデン船引、メガステージ田村、ケーズデンキ船引店
	—
本宮市	シミズストア本宮店、コメリ本宮店、コメリ本宮仁井田店、ウエルシア福島本宮店、ザ・ビッグ本宮店、ヨークベニマル新本宮館町店、リオン・ドール本宮店、ダイソーリオン・ドール本宮店、TSUTAYA 本宮店、ヤマダ電機テックランド本宮店、ファッションセンターしまむら本宮店、農家の店さんさん
	エイトタウン本宮
大玉村	—
	PLANT-5 大玉店

市町村名	店舗名
鏡石町	いちい鏡石店、リオン・ドール鏡石店 イオンスーパーセンター鏡石店
猪苗代町	ヨークベニマル猪苗代店、リオン・ドール猪苗代店、カワチ薬品猪苗代店、ダイ ユーエイト猪苗代店、コメリ猪苗代店 —
石川町	カワチ薬品石川店、リオン・ドール石川店、ビバホーム石川店、ツルハドラッグ 石川店、ダイユーエイト石川店 メガステージ石川
玉川村	リオン・ドール玉川店、ウエルシア福島玉川店 —
浅川町	ダイユーエイト浅川店 —
三春町	ヨークベニマル三春店 —
小野町	小野町ショッピングセンター、おのショッピングプラザ —

出典：各市町村統計情報等（2018 年 3 月現在）

※大規模小売店舗立地法の届出については、店舗名称が変更となってもその時点で変更届出の必要がない場合があるため、実際の店舗と異なる。

(4) 工業団地等

東北自動車道と磐越自動車道の結節点であることや、福島空港が立地するなど陸路・空路の物流拠点としても経済活動が活発な地域であることは本圏域の強みである。また、産学連携が活発に行われ高度技術産業の集積が極めて高いエリアであり、特に近年は医療・福祉機器産業クラスターの形成が進んでいることから、社会的需要に対応した企業誘致や、物流・生産拠点としての強みを生かした開発が求められている。

(単位：ha)

市町村名	名称	総面積	工場用地	分譲済面積
郡山市	郡山西部第一工業団地	70.6	38.8	12.5
	郡山西部第二工業団地	251.3	173.4	172.1
	郡山ウエストソフトパーク	19.8	12.8	12.8
	郡山中央工業団地	189.0	114.5	114.5
	郡山流通業務団地	25.5	19.0	19.0
	郡山北部工業団地	58.1	29.8	29.8
	郡山鉄工団地	8.3	—	—
	郡山食品工業団地	9.3	6.0	6.0
	郡山地区木材木工工業団地	12.3	9.5	9.5
須賀川市	須賀川テクニカルリサーチガーデン	128.1	25.8	17.4
	北部工業団地	26.0	16.0	16.0
	南部工業団地	41.3	33.6	33.6
	越久工業団地	17.0	15.2	15.2
	横山工業団地	51.4	40.7	40.7
	長沼第一工業団地	4.7	2.9	2.9
	長沼第二工業団地	4.5	4.3	4.3
	長沼第三工業団地	25.0	15.1	15.1
田村市	田村市産業団地	16.0	11.9	3.6
	田村西部工業団地	75.4	38.3	38.3
	船引第2工業団地	22.8	11.8	11.8
	沼ノ下工業団地	10.6	8.7	8.7
	常葉工業団地	3.3	1.4	1.4
	大越牧野工業団地	49.4	46.4	46.4
	舟ヶ作工業団地	18.2	10.6	10.6
本宮市	本宮工業等団地	74.7	59.9	59.9
	本宮南工業適地	12.0	12.0	8.6
	本宮北工業団地	8.8	6.7	6.7
	東笹田工業団地	18.2	15.0	15.0
	和田工業団地	6.4	4.0	4.0
	長屋工業団地	6.8	6.6	6.6
	白岩工業団地	8.3	6.0	6.0
	白岩西部工業団地	5.1	3.8	3.8
	桑田工業団地	6.9	5.0	5.0

市町村名	名称	総面積	工場用地	分譲済面積
大玉村	大玉第一工業団地	15.4	13.3	3.7
	大玉第二工業団地	13.4	9.9	9.9
鏡石町	境工業団地	18.2	14.9	14.9
	鏡石東部工業団地	40.9	31.2	31.2
	鏡石南部第一工業団地	12.7	9.4	9.4
	鏡石北部工業団地	16	12.1	12.1
	島田工業団地	8.4	8.4	8.4
天栄村	ハイテク大山工業団地	24.4	13.0	10.3
猪苗代町	五百苅団地	9.6	9.4	0.0
石川町	石川藤沢工業団地	10.8	9.0	5.7
玉川村	玉川南工業団地	22	15.5	15.5
平田村	平田工業団地	9.9	6.7	6.7
	小館工業団地	7.2	4.9	4.4
浅川町	浅川南工業団地	20.3	8.9	8.9
古殿町	古殿工業団地	4.8	4.8	4.8
	古殿第二工業団地	7.5	7.5	0.0
	西渡工業団地	8.4	4.2	4.2
三春町	大平工業団地	15.2	11.9	11.9
	平沢工業団地	12.4	10.5	10.5
	田村西部工業団地	42.4	28.5	27.4
	南原工業団地	22.7	22.7	22.7
小野町	鶴庭工業用地	16.2	5.0	5.0
	緑の工業団地	38.8	3.6	3.6
	塩庭農工（小野第二）工業団地	25.6	15.0	15.0

出典：福島県企業立地ガイド等（2018年12月1日現在）

（５）衛生・上下水道

ごみの排出を抑制するためには、各家庭における生ごみの堆肥化や分別の徹底に加え、各事業所における廃棄物の減量化（リデュース）や再利用（リユース）、再資源化（リサイクル）などの取り組みを積み重ねていくことが重要であり、今後ともごみ減量の意識啓発を行い、住民や事業者と行政が協力の下、社会全体で資源の有効活用を図り、環境負荷の少ない持続可能な社会の形成に向け取り組んでいくことが求められている。

また、火葬施設については、急速に進行する高齢化への対応や各施設の更新時期に備え、圏域内の住民が利用しやすい施設の環境整備が求められている。

水道は、住民生活を支える重要なライフラインであり、いつでも安全かつ安心して使用できることが求められていることから、災害発生時や緊急時においても近隣市町村間が連携した応急給水と復旧が行える体制整備が求められている。

下水道は、汚水処理による生活環境の改善や河川などの水質保全、降雨時における市街地の浸水被害を軽減する総合的な機能を有していることから、施設の耐震化や適切な維持管理が求められている。

① 清掃施設

設置主体	種別	名称	規模	
			敷地面積（㎡）	処理能力
郡山市	し尿	富久山クリーンセンター 衛生処理センター 第一処理施設	14,310.28	170kl/日
		第二処理施設	8,710.86	70kl/日
		富久山クリーンセンター	36,200	焼却 300t/24h 破碎 80t/5h
	じんかい	河内クリーンセンター	68,000	焼却 300t/25h 破碎 70t/5h
		河内埋立処分場	255,650	894,000 m ³ (残容量 195,700 m ³)
須賀川地方保健環境組合 ※構成：須賀川市、鏡石町、天栄村	し尿	須賀川地方衛生センター	13,721	97kl/日
	じんかい	須賀川地方衛生センター	10,400	焼却 150t/24h 破碎 —
		森宿一般廃棄物最終処分場（2期）	19,200	140,800 m ³ (残容量 65,500 m ³)
田村市	じんかい	船引清掃センター	8,340	資源・不燃ごみ選別処理 6t/日
		船引一般廃棄物最終処分場	35,439	29,884 m ³ (残容量 743.4 m ³)

設置主体	種別	名称	規模	
			敷地面積 (㎡)	処理能力
田村広域行政組合 ※構成：田村市、三春町、小野町	し尿	田村地方衛生処理センター	19,786.51	100kl/日
	じんかい	田村東部環境センター ※田村市、小野町	8,544.26	焼却：30t/8h 破碎：9t/5h
		田村西部環境センター ※田村市、三春町	9,620	焼却：40t/24h 灰溶融処理：6.4t/24h
		田村広域一般廃棄物最終処分場	11,370	12,575 m ³ (残容量：4,620 m ³)
安達地方広域行政組合 構成：二本松市、本宮市、大玉村 ※下線はこおりやま広域圏構成市町村	し尿	あだたら環境共生センター	13,713.47	130kl/日
	じんかい	もとみやクリーンセンター	約 26,000	焼却：80t/24h
		安達埋立処分場	27,689.44	(残容量：0 m ³)
		東和クリーンヒル	約 13,000	約 103,000 m ³
会津若松地方広域市町村圏整備組合 ※構成：会津若松市、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津美里町 ※下線はこおりやま広域圏構成市町村	し尿	し尿処理施設		
		第一処理施設	504.07	126kl/日
		第二処理施設	1,417.03	100kl/日
	じんかい	ごみ焼却処理施設	5,202.33	225t/24h
		ごみ破碎処理施設	3,535.37	50t/5h
		最終処分施設	第1処分場 21,780 第2処分場 36,788	14,870 m ³ (残容量：27,402 m ³)
石川地方生活環境施設組合 ※構成：石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町	し尿	石川地方生活環境施設組合	33,892	100kl/日
	じんかい	石川地方生活環境施設組合	25,782	60t/16h
		きららクリーンセンター 最終処分場	96,105.7	55,000 m ³ (残容量：28,799 m ³)
		きららクリーンセンター 粗大ごみ処理施設		24t/5h
		三春町清掃センター		
三春町	じんかい	沼之倉第2埋立地前処理施設	230.6	破碎：4.9t/日
		資源分別場 (空缶類選別圧縮施設)	約 4,000	圧縮・梱包：7.5t/日
		資源分別場 (資源ごみストックヤード)		選別、圧縮・梱包：10t/日
		沼之倉第二埋立地	7,000	30,000 m ³ (残容量：8,402 m ³)

出典：各市町村 HP、各一部事務組合 HP 等（2019 年 2 月現在）

② 火葬施設

設置主体	名称	火葬炉数	使用料（12歳以上の場合）
郡山市	郡山市東山悠苑	・標準炉：7基 ・大型炉：3基 ・汚物焼却炉：1基	・郡山市民：無料 ・郡山市民以外の者：75,000円/1体
須賀川地方保健環境組合 ※構成：須賀川市、鏡石町、天栄村	須賀川地方保健環境組合斎場	・火葬炉：4基	・構成市町村の住民：5,000円/1体 ・上記以外の者：50,000円/1体
田村市	田村市斎場	・火葬炉：3基	・田村市民：10,000円/1体 ・上記以外の者：75,000円/1体
安達地方広域行政組合 ※構成：二本松市、本宮市、大玉村	安達地方広域行政組合斎場 「あだたら聖苑」	・火葬炉：5基 ・汚物焼却炉：1基	・構成市町村の住民：18,000円/1体 ・上記以外の者：54,000円/1体
猪苗代町	いなわしろ聖苑	・火葬炉（大型）：2基 ・汚物焼却炉：1基	・猪苗代町民：10,000円/1体 ・上記以外の者：50,000円/1体
石川地方生活環境施設組合 ※構成：石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町	石川地方火葬場 「いしかわ清苑」	・火葬炉：3基	・構成市町村の住民：25,000円/1体 ・上記以外の者：60,000円/1体 ※13歳以上の場合
小野町	小野町火葬場 「おの悠苑」	・無煙無臭大型火葬炉：2基 ・ペット専用動物炉：1基	・小野町民：5,000円/1体 ・田村市滝根町及び大越町住民：25,000円/1体 ・上記以外の住民：50,000円/1体 [ペット] ・町内：5kg未満 8,000円 ・町内：5kg以上 10,000円 ・町外：5kg未満 24,000円 ・町外：5kg以上 30,000円

出典：各市町村HP等（2019年月現在）

③ 水道施設の状況

市町村名	事業区分	行政区域内 人口 (人)	給水区域内 人口 (人)	給水人口 (人)	普及率 (%)	年間総給水量 (m ³)	管路総延長 (m)
郡山市	上水道	333,108	322,403	319,682	99.2	38,432,970	1,784,553
	簡易水道		4,141	3,926	94.8	485,947	69,258
須賀川市	上水道	76,767	75,110	69,253	90.2	7,389,640	588,985
	簡易水道		36	36	100.0	3,905	2,395
田村市	上水道	36,905	24,143	19,368	80.2	2,453,701	260,571
	簡易水道		801	582	72.7	78,311	14,793
本宮市	上水道	30,656	30,629	29,922	97.7	5,777,545	344,622
大玉村	上水道	8,670	8,593	8,359	97.3	80,213	130,930
鏡石町	上水道	12,340	12,340	12,238	99.2	1,407,733	113,081
天栄村	上水道	5,359	4,803	4,663	97.1	600,782	74,459
	簡易水道		429	420	97.9	41,000	18,305
猪苗代町	上水道	14,278	13,576	13,440	99.0	2,179,068	250,687
石川町	上水道	15,065	15,505	11,536	74.4	2,089,802	133,402
	簡易水道		6,307	6,238	98.9	664,752	94,773
玉川村	上水道	6,802	6,446	5,316	82.5	616,679	81,070
平田村	簡易水道	6,150	3,843	3,061	79.7	404,270	88,573
浅川町	上水道	6,307	6,307	6,232	98.8	664,752	94,773
古殿町	上水道	4,963	4,496	4,384	97.5	546,038	29,977
三春町	上水道	17,831	16,702	14,834	88.8	1,658,702	147,981
	簡易水道		273	281	102.9	29,290	5,196
小野町	上水道	10,062	6,393	5,116	80.0	628,753	46,438

出典：各市町村統計書等（2018年3月31日現在）

※行政区域内人口：各市町村の現住人口（2018年3月31日現在）

※給水区域内人口：給水区域内に居住し、給水を受けている人口

※普及率：給水区域内人口に対する給水人口の割合

※年間総給水量：1年間で給水した水量の合計

※管路総延長：配水管等布設延長の合計

④ 下水道施設の状況

市町村名	事業区分	行政区域内人口 (人)	処理区域面積 (ha)	処理区域内人口 (人)	普及率 (%)	年間総処理水量 (m³)	管路総延長 (m)
郡山市	公共下水道	324,423	4,576.9	234,429	72.3	27,447,405	1,300,129
	特定環境保全公共下水道		146.1	2,754	0.8	159,437	
	農業集落排水		1522.0	12,504	3.9	791,211	
須賀川市	公共下水道	76,767	920.0	36,819	48.0	3,452,739	414,000
	特定環境保全公共下水道		46.0	426	0.6	41,671	
	農業集落排水		1,579.0	13,705	17.9	1,158,958	
田村市	公共下水道	37,460	558.5	11,700	31.2	654,547	98,435
	農業集落排水		41.6	293	0.8	36,865	
本宮市	公共下水道	30,520	535.6	13,729	45.0	1,595,749	77,912
大玉村	農業集落排水	8,670	159.0	3,398	39.1	245,631	30,000
鏡石町	公共下水道	12,691	283.0	10,014	78.9	1,311,436	64,934
	農業集落排水		103.0	998	7.9	68,147	
天栄村	農業集落排水	5,714	353.0	4,045	70.8	425,811	60,707
	簡易排水		4.0	50	0.9	67	
猪苗代町	公共下水道	14,481	512.0	7,246	50.0	1,062,356	121,660
	特定環境保全公共下水道		77.0	957	6.6	114,830	
	農業集落排水		241.0	2,281	15.8	156,062	
玉川村	農業集落排水	6,802	169.0	2,887	42.4	258,443	32,000
平田村	農業集落排水	6,219	217.0	3,879	62.4	230,657	33,070
浅川町	特定環境保全公共下水道	6,543	106.1	2,609	39.9	129,537	17,754
	農業集落排水		8.0	89	1.4	4,883	
古殿町	農業集落排水	5,371	176	2,686	50.0	197,502	26,669
	林業集落排水		32	686	12.8	48,288	
三春町	公共下水道	17,301	116.0	3,339	19.3	303,604	61,626
	農業集落排水		122.0	2,551	14.7	219,069	

出典：各市町村統計書等（2018年3月31日現在）

※行政区域内人口：各市町村の住民基本台帳人口（2018年3月31日現在）

※処理区域面積：公共下水道が使用可能である区域の面積

※処理区域内人口：公共下水道が使用可能な区域に住んでいる人口

※普及率：行政区域内人口に対する処理区域内人口の割合

※処理区域内人口：行政区域内人口に対する処理区域内人口

(6) 交通

東北自動車道と磐越自動車道が交差し、東北新幹線をはじめとした鉄道網の結節点でもある本圏域はＪＲ郡山駅と各市町村の中心部が公共交通機関で約１時間以内のアクセスが可能であり、また、本県の空の玄関口である福島空港を有する人、モノ、情報の結節点として位置づけられている。こうした交通・物流面での強みを生かすとともに、拠点間の利便性の高い交通網の整備や、住民生活に密着した公共交通ネットワーク・社会インフラ整備が求められる。

① 交通インフラの状況

区分	主な路線等
空港	福島空港（須賀川市、玉川村）
高速道路	東北縦貫自動車道弘前線（郡山 JCT、郡山 IC、郡山中央 SIC、郡山南 IC、本宮 IC、須賀川 IC、鏡石 SIC）、東北横断自動車道いわき新潟線（郡山 JCT、郡山東 IC、磐梯熱海 IC、船引三春 IC、田村 SIC、小野 IC、猪苗代磐梯高原 IC）
地域高規格道路	郡山西環状道路（あさか野バイパス）、あぶくま高原道路（玉川 IC、福島空港 IC、石川母畑 IC、平田西 IC、平田 IC、小野 IC）
JR 東日本	・東北新幹線（郡山駅） ・東北本線（郡山駅、日和田駅、安積永盛駅、五百川駅、本宮駅、須賀川駅、鏡石駅） ・磐越東線（郡山駅、舞木駅、三春駅、要田駅、船引駅、磐城常葉駅、大越駅、菅谷駅、神俣駅、小野新町駅、夏井駅） ・磐越西線（郡山駅、郡山富田駅、喜久田駅、安子ヶ島駅、磐梯熱海駅、中山宿駅、上戸駅、（臨）猪苗代湖畔駅、関都駅、川桁駅、猪苗代駅、翁島駅） ・水郡線（郡山駅、安積永盛駅、磐城守山駅、谷田川駅、小塩江駅、川東駅、泉郷駅、川辺沖駅、野木沢駅、磐城石川駅、里白石駅、磐城浅川駅）
路線バス	・福島交通（郡山市、須賀川市、田村市、鏡石町、天栄村、石川町、玉川村、古殿町、平田村、浅川町、三春町、小野町） ・新常磐交通（田村市、小野町） ・会津乗合自動車（郡山市、猪苗代町） ・磐梯東都バス（猪苗代町）
巡回バス等	郡山市（市内循環バス）、須賀川市（市内循環バス）、本宮市（市街地巡回バス、広域生活バス）、大玉村（広域生活バス）、三春町（町営バス）
その他	リムジンバス（郡山駅ー福島空港間）

出典：福島空港ビル株式会社 HP、東日本旅客鉄道株式会社 HP、福島交通株式会社 HP、各市町村 HP 等（2019 年 3 月現在）

② 主な国県道路線

路線名		関係市町村（市町村順）
一般国道	4号	郡山市、須賀川市、本宮市、鏡石町、大玉村
	49号	郡山市、猪苗代町、平田村
	115号	猪苗代町
	118号	須賀川市、鏡石町、天栄村、石川町、浅川町
	288号	郡山市、田村市、三春町
	294号	郡山市、天栄村
	349号	田村市、本宮市、平田村、浅川町、古殿町、小野町
	399号	田村市
	459号	猪苗代町
主要地方道	本宮・熱海線	郡山市、本宮市
	猪苗代・湖南線	郡山市、猪苗代町
	小野・田母神線	郡山市、小野町
	船引・大越・小野線	田村市・小野町
	本宮・三春線	郡山市、本宮市、三春町
	本宮・土湯温泉線	本宮市、大玉村、猪苗代町
	郡山・長沼線	郡山市、鏡石町
	飯野・三春・石川線	郡山市、須賀川市、本宮市、石川町、玉川村、三春町
	浪江・三春線	田村市、三春町
	須賀川・三春線	郡山市、須賀川市、三春町
	郡山・矢吹線	郡山市、須賀川市、鏡石町、天栄村
	郡山・大越線	郡山市、田村市、三春町
	古殿・須賀川線	須賀川市、玉川村、石川町、古殿町
	小野・郡山線	郡山市、小野町
	二本松・金屋線	郡山市、本宮市
一般県道	安積・長沼線	郡山市、鏡石町
	三春・日和田線	郡山市、三春町
	二本松・三春線	本宮市、三春町
	本宮・常葉線	本宮市、田村市、三春町
	平田・小野線	平田村、小野町
	母畑・須賀川線	須賀川市、玉川村
	玉川・田村線	郡山市、須賀川市、玉川村
	仁井田・郡山線	郡山市、須賀川市
	谷田川・三春線	郡山市、三春町
	石筵・本宮線	郡山市、本宮市、大玉村
	福島空港西線	須賀川市、玉川村
	羽鳥・福良線	郡山市、天栄村
	浅川・古殿線	浅川町、古殿町
	下松本・鏡石停車場線	須賀川市、鏡石町、天栄村
	牧ノ内・長沼線	須賀川市、天栄村
	荒井・郡山線	郡山市、本宮市
	夷沢・要田線	田村市、三春町
	門沢・三春線	田村市・三春町
	須賀川・二本松線	郡山市、須賀川市、本宮市、大玉村
	須賀川・二本松自転車道線	郡山市、須賀川市
	岩根・日和田線	郡山市、本宮市
	大橋・五百川停車場線	本宮市、大玉村

出典：福島県の道路網図 2018年度版 （2018年3月末現在）

③ 道の駅

市町村名	名称	主な機能
天栄村	季の里天栄	レストラン、EV 充電施設、観光案内、多目的トイレ、ショップ
	羽鳥湖高原	ベビーベッド、レストラン、無線 LAN、観光案内、多目的トイレ、ショップ
猪苗代町	猪苗代	ATM、ベビーベッド、レストラン、軽食・喫茶、EV 充電施設、無線 LAN、観光案内、多目的トイレ、ショップ
玉川村	たまかわ「こぶしの里」	レストラン、EV 充電施設、無線 LAN、体験施設、多目的トイレ、ショップ
平田村	ひらた「しばさくらの里」	ベビーベッド、レストラン、軽食・喫茶、多目的トイレ、ショップ
古殿町	ふるどの「流鏑馬の里」	ベビーベッド、レストラン、多目的トイレ、ショップ

※道の駅公式 HP（2019 年 2 月現在）

④ 地域公共交通（郡山市との所要時間）

市町村名	主な公共交通機関による所要時間等
須賀川市	須賀川駅＝(JR 東北本線：10 分)＝郡山駅 運賃：240 円
田村市	船引駅＝(JR 磐越東線：28 分)＝郡山駅 運賃：500 円
本宮市	本宮駅＝(JR 東北本線：13 分)＝郡山駅 運賃：240 円
大玉村	農協前＝(広域生活バス：12 分)＝本宮駅 運賃：200 円
	本宮駅＝(JR 東北本線：13 分)＝郡山駅 運賃：240 円
鏡石町	鏡石駅＝(JR 東北本線：15 分)＝郡山駅 運賃：320 円
天栄村	天栄村役場＝(福島交通バス：26 分)＝鏡石駅 運賃：610 円
	鏡石駅＝(JR 東北本線：15 分)＝郡山駅 運賃：320 円
猪苗代町	猪苗代駅＝(JR 磐越西線：37 分)＝郡山駅 運賃：670 円
石川町	磐城石川駅＝(JR 水郡線：43 分)＝郡山駅 運賃：760 円
玉川村	泉郷駅＝(JR 水郡線：30 分)＝郡山駅 運賃：500 円
平田村	上蓬田＝(福島交通バス：60 分)＝郡山駅 運賃：1,370 円
浅川町	磐城浅川駅＝(JR 水郡線：60 分)＝郡山駅 運賃：840 円
古殿町	古殿役場＝(福島交通バス：35 分)＝石川駅前 運賃：870 円
	磐城石川駅＝(JR 水郡線：43 分)＝郡山駅 運賃：760 円
三春町	三春駅＝(JR 磐越東線：13 分)＝郡山駅 運賃：240 円
小野町	小野新町駅＝(JR 磐越東線：52 分)＝郡山駅 運賃：840 円

出典：東日本旅客鉄道株式会社 HP、福島交通株式会社 HP、各市町村 HP 等（2019 年 2 月現在）

⑤ 各鉄道の主な駅別年間乗車人員

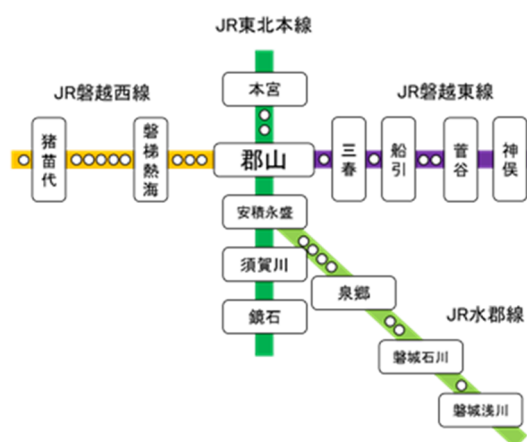
(単位：千人)

路線名	駅名	乗車人員
東北本線	鏡石	321
	須賀川	842
	安積永盛	860
	郡山	6,610
	本宮	660
水郡線	磐城浅川	62
	磐城石川	198
	泉郷	42
磐越東線	小野新町	149
	神俣	63
	菅谷	32
	船引	303
	三春	331
磐越西線	磐梯熱海	96
	猪苗代	218

出典：福島県統計年鑑（2018年版）、東日本旅客鉄道株式会社 HP 等

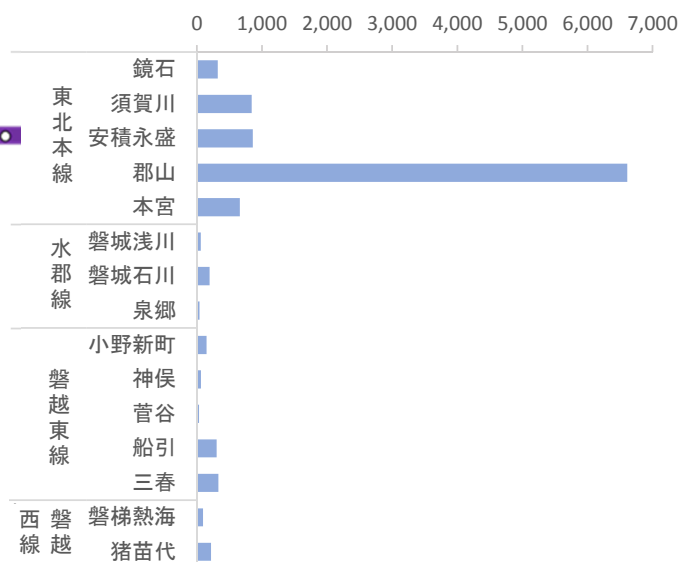
※無人駅を除く

鉄道路線図(概略図)※全38駅



各駅別年間乗車人員

(千人)



(7) 消防・警察

本圏域の消防体制は、それぞれの市町村が加入する4つの広域消防組合から構成されており、迅速で効果的な災害対応や本部機能の効率化などが既に図られているが、福島県が設定する二次医療圏との乖離があることから、圏域住民の安全・安心な救急体制の提供に向け、これまで以上に消防と医療機関との連携が求められている。

また、圏域内には各警察署及び交番・駐在所が設置されていることから、事故や犯罪等に対し、自治体のみならず住民、学校、企業等が警察との連携によるセーフコミュニティの推進により、地域が一体となり未然に防止できる体制を構築していくことがますます求められている。

① 消防署

二次医療圏	属する組合名称	構成市町村	署所数	署所名称
県北	安達地方広域行政組合	本宮市	1	南消防署
		大玉村	0	
県中	郡山地方広域消防組合	郡山市	10	郡山消防署（郡山消防本部）、大槻基幹分署、喜久田基幹分署、熱海分署、日和田分署、田村分署、安積分署、針生救急所、湖南分署、中田分署
				田村消防署、移分駐所、滝根分署、大越分遣所、都路分署、常葉分署
		小野町	1	小野分署
		三春町	1	三春分署
	須賀川地方広域消防組合	須賀川市	2	須賀川消防署（須賀川地方広域消防本部）、長沼分署
		鏡石町	1	鏡石分署
		天栄村	1	湯本分遣所
		石川町	1	石川消防署
		玉川村	1	玉川分署
		平田村	1	平田分署
		浅川町	1	浅川分署
		古殿町	1	古殿分署
会津・南会津	会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部	猪苗代町	1	猪苗代消防署

出典：各組合 HP（2019 年 2 月現在）

【参考】福島県二次医療圏



出典：福島県「福島県地域医療構想」

② 警察署

警察署名	管轄市町村名	交番・駐在所	
		設置数	名称
福島県郡山警察署	郡山市	14	駅前交番、開成交番、芳賀交番、古舘交番、長者交番、麓山交番、久留米交番、笹川交番、大槻交番、東部駐在所、柳橋駐在所、三穂田駐在所、二瀬駐在所、田村駐在所
福島県郡山北警察署		10	富田交番、富久山交番、熱海駐在所、逢瀬駐在所、片平駐在所、喜久田駐在所、西田駐在所、日和田駐在所、福良駐在所、舟津駐在所
福島県郡山北警察署 本宮分庁舎	本宮市	3	岩根駐在所、白岩駐在所、白沢駐在所
	大玉村	1	大玉駐在所
福島県須賀川警察署	須賀川市	7	駅前交番、西袋交番、川東駐在所、岩瀬駐在所、長沼駐在所、仁井田駐在所、稲田駐在所
	鏡石町	1	鏡石駐在所
	天栄村	2	天栄駐在所、湯本駐在所
	玉川村	1	空港警察派出所
福島県石川警察署	石川町	2	沢田駐在所、山橋駐在所
	玉川村	1	玉川駐在所
	平田村	1	平田駐在所
	浅川町	1	浅川駐在所
	古殿町	1	古殿駐在所
福島県田村警察署	田村市	6	瀬川駐在所、移駐在所、七郷駐在所、常葉駐在所、都路駐在所、船引幹部交番
	三春町	2	中郷駐在所、三春岩江駐在所
福島県田村警察署 小野分庁舎	田村市	2	滝根駐在所、大越駐在所
	小野町	2	夏井駐在所、飯豊駐在所
福島県警猪苗代警察署	猪苗代町	3	月輪駐在所、長瀬駐在所、吾妻駐在所

出典：各警察署 HP（2019 年 2 月現在）

(8) 国の機関等

本圏域内には地方自治と密接な関連をもつ国の出先機関が多数設置されていることから、これらの機関に対し本圏域の取り組みを積極的に発信するとともに、これまで以上に相互の関係を強化し、自治体単独では対応が困難な行政課題に対し関係市町村等と連携し取り組んでいくことが求められている。また、圏域内市町村が実施する施策への形成段階からの参画や地域の実情を国の施策に反映できるよう積極的な情報共有や提案がこれまで以上に求められている。

市町村名	主な機関等
郡山市	防衛省東北防衛局郡山防衛事務所、防衛省陸上自衛隊東北方面隊第6師団郡山駐屯地、防衛省自衛隊福島地方協力本部郡山地区援護センター、法務省福島地方法務局郡山支局、法務省仙台入国管理局郡山出張所、財務省国税庁仙台国税局郡山税務署、厚生労働省福島労働局郡山労働基準監督署、厚生労働省福島労働局郡山公共職業安定所、国土交通省東北地方整備局郡山国道事務所、国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所郡山出張所、農林水産省東北農政局福島地域センター郡山庁舎、農林水産省林野庁関東森林管理局福島森林管理署郡山森林事務所、福島地方検察庁郡山支部、福島地方裁判所郡山支部、日本年金機構郡山事務所
須賀川市	厚生労働省福島労働局須賀川労働基準監督署、厚生労働省福島労働局須賀川公共職業安定所、厚生労働省独立行政法人国立病院機構福島病院、財務省国税庁仙台国税局須賀川税務署、法務省福島地方法務局須賀川証明サービスセンター
田村市	農林水産省林野庁関東森林管理局福島森林管理署常葉森林事務所・都路森林事務所
大玉村	農林水産省林野庁関東森林管理局福島森林管理署玉ノ井森林事務所
天栄村	農林水産省林野庁関東森林管理局福島森林管理署白河支所大平森林事務所、農林水産省東北農政局阿武隈土地改良調査管理事務所羽鳥ダム管理所
猪苗代町	国土交通省猪苗代車両検測所、農林水産省林野庁関東森林管理局会津森林管理署猪苗代森林事務所
玉川村	財務省横浜税関小名浜税関支署福島空港出張所、国土交通省東京航空局福島空港出張所、国土交通省仙台航空測候所福島空港出張所
平田村	農林水産省林野庁関東森林管理局福島森林管理署白河支署蓬田森林事務所
古殿町	農林水産省林野庁関東森林管理局福島森林管理署白河支署大原森林事務所・横川森林事務所
三春町	国土交通省三春ダム管理所、日本原子力研究開発機構福島研究開発部門、国立研究開発法人国立環境研究所福島支部
小野町	農林水産省林野庁関東森林管理局福島森林管理署小野町森林事務所

出典：各省庁等HP等（2019年2月現在）

6 財政状況

(1) 財政指標等

平成 29 年度普通会計決算における各財政指標の圏域平均は、標準財政規模が県平均を上回っているものの、財政力指数及び経常収支比率は県平均を下回っている。また、地方債残高については、県平均の残高数より多い状況となっている。特に、経常収支比率については、市町村により差はあるものの圏域平均で 88.0%とやや財政の硬直化が見られるため、圏域全体の住民生活の向上を図る上でも、経常的経費の抑制に努める必要がある。

(単位：千円)

市町村名	標準財政規模	財政力指数	経常収支比率	地方債残高
郡山市	67,407,452	0.80	90.6%	85,192,914
須賀川市	18,675,936	0.59	91.9%	37,476,955
田村市	13,688,932	0.33	91.2%	23,952,449
本宮市	8,179,525	0.63	86.8%	14,999,287
大玉村	2,761,646	0.37	88.2%	4,652,058
鏡石町	3,289,726	0.57	84.9%	5,401,418
天栄村	2,641,601	0.31	85.7%	3,785,208
猪苗代町	5,230,901	0.39	89.4%	9,147,978
石川町	4,437,633	0.43	85.4%	6,450,979
玉川村	2,326,841	0.36	88.0%	3,414,484
平田村	2,651,917	0.27	84.7%	7,316,940
浅川町	2,176,415	0.35	83.2%	3,123,082
古殿町	2,627,965	0.23	89.6%	5,353,897
三春町	4,783,373	0.42	91.3%	7,131,998
小野町	3,291,975	0.34	88.6%	5,073,450
圏域平均	9,611,456	0.43	88.0%	14,831,540
(参考) 県平均	8,676,885	0.46	88.5%	13,801,400

出展：福島県市町村財政課 平成 29 年度市町村普通会計決算の概要（確報）

※標準財政規模：その団体が合理的かつ妥当な水準で行政を行うための標準的な一般財源の規模を表す指標。

※財政力指数：標準的な行政需要に自主財源でどれだけ対応できるかを表す指標。

※経常収支比率：地方税、普通交付税のように使途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち、人件費、扶助費、公債費のように毎年経常的に支出される経費に充当されたものが占める割合で、財政構造の弾力性を表す指標。

(2) 健全化判断比率

平成 29 年度決算に基づく各市町村の健全化判断比率は、実質赤字比率及び連結赤字比率はともに実質収支が黒字で赤字額はなく、実質公債費比率及び将来負担比率はいずれも国の示した早期健全化基準を大きく下回っており、健全な財政状況となっている。

(単位：％)

市町村名	健全化判断比率					
	実質赤字比率 (財政再生基準 20%)		連結実質赤字比率 (財政再生基準 30%)		実質公債費比率 (財政再生基準 35%)	将来負担比率 (早期健全化基準 350%)
	比率	早期健全化基準	比率	早期健全化基準	3 か年平均	比率
郡山市	—	11.25	—	16.25	5.6	—
須賀川市	—	12.56	—	17.56	6.3	35.3
田村市	—	12.88	—	17.88	7.5	30.5
本宮市	—	13.70	—	18.70	8.3	77.4
大玉村	—	15.00	—	20.00	6.8	17.7
鏡石町	—	15.00	—	20.00	9.3	39.4
天栄村	—	15.00	—	20.00	8.6	17.6
猪苗代町	—	14.85	—	20.00	9.4	66.4
石川町	—	15.00	—	20.00	5.3	18.6
玉川村	—	15.00	—	20.00	8.7	39.8
平田村	—	15.00	—	20.00	8.9	98.5
浅川町	—	15.00	—	20.00	7.7	22.1
古殿町	—	15.00	—	20.00	7.4	—
三春町	—	15.00	—	20.00	7.6	18.7
小野町	—	15.00	—	20.00	6.7	—

出展：福島県市町村財政課 平成 29 年度決算に基づく健全化判断比率等の概要（確報）

※実質赤字比率：歳出に対する歳入の不足額を、市町村の一般財源の標準的な規模を表す「標準財政規模」で除したものの。

※連結実質赤字比率：市町村すべての会計の赤字額と黒字額を合算し、歳出に対する歳入の資金不足額を標準財政規模で除したものの。

※実質公債費比率：義務的に支出しなければならない経費である公債費や公債費に準じた経費の額を標準財政規模を基本とした額で除したものの 3 か年の平均値。

※将来負担比率：市町村が発行した地方債残高のほか、土地開発公社や市町村が損失補償した第三セクターの債務などを標準財政規模を基本とした額で除したものの。

※資金不足比率：一般会計等における実質赤字に相当する公営企業会計の「資金不足額」を公営企業の事業規模で除したものの。

IV 連携協約に基づき推進する具体的取組及び成果指標

1 全体像

経済成長のけん引

【世界を視野に入れた圏域内外との「ボーダーレス」な産業振興を展開】

主な連携事業



◆創業支援事業

圏域内の創業者育成、
新たな事業展開に取り
組む中小企業者の応援



◆産業イノベーション事業

再エネ・医療機器関連産業
の集積・育成、新事業・新産
業の創出



◆6次産業化プロジェクト

広域圏内の食の魅力向
上、消費拡大及びブラン
ド確立



◆インバウンド推進事業

外国人観光客の受入環境
整備、プロモーション実施
による外国人誘客促進

高次の都市機能の集積・強化

【多様性を受容する「コンパクト化・ネットワーク化」を推進】

主な連携事業



◆広域的な医療体制の構築

医療体制の広域連携（機
能分化やネットワーク構
築等）に関する調査検討



◆広域的な交通網の形成促進

地域交通の課題等につい
ての調査検討、交通網形成
による利便性の向上



◆福島空港利用促進による 地域活性化

関連する各種協議会等と
連携しながら福島空港の
利活用を促進



◆高等教育等の推進による 多様な人材育成

圏域内の高等教育機関等
と連携を図り、産業振
興、地域人材育成を推進

生活関連機能サービスの向上

【「学び、働き、暮らし続けることができる」圏域づくり】

主な連携事業



◆災害対策

圏域全体での災害対策推
進、広域避難等、防災体
制の充実



◆長寿社会対策推進事業

地域において活躍できる高
齢者の養成、高齢者自身
の社会参加促進



◆環境対策

地球温暖化対策、エネ
ルギー地産地消促進等



◆図書館、文化スポーツ施設 等の広域利用

圏域内における施設の相互
利用を促進、有効活用



◆移住・定住促進事業

こおりやま広域圏の魅力
発信、潜在的な移住希望
者の掘り起こし等



◆研修・人材育成等

各種研修ネットワークや共
同研究による人材育成、カ
イゼン運動の推進等

＜基本目標＞

指標	現状値	目標値
製造品出荷額等	1,473,063 百万円 (2016 年)	1,500,000 百万円 (2023 年)
年間商品販売額 (卸・小売業)	1,824,857 百万円 (2016 年)	1,850,000 百万円 (2022 年)
農業産出額	66,670 百万円 (2016 年)	70,000 百万円 (2023 年)
観光客入込数	1,095 万人 (2017 年)	1,150 万人 (2023 年)

指標	現状値	目標値
福島空港利用者数	約 26 万人 (2017 年)	30 万人 (2023 年)
公共交通利用者数 (※詳細は P80 参照)	約 1,111 万人 (2017 年)	約 1,139 万人 (2023 年)

指標	現状値	目標値
合計特殊出生率	各市町村の人口ビジョン等に掲げる合計特殊出生率の達成を目指す	
人口の社会動態	各市町村の人口ビジョン等に掲げる人口社会動態の達成を目指す	
圏域の健康寿命	各市町村における健康寿命の延伸を目指す	
温室効果ガス排出量 (参考：郡山市)	2,906 千 t-CO ₂ (2015 年)	2,538 千 t-CO ₂ (2020 年)
交通事故死傷者数	2,203 人 (2017 年)	1,100 人 (2023 年)

こおりやま広域圏の強みを生かす！

横断的な『重点プロジェクト』

I SDGs推進 プロジェクト

「持続可能な開発目標」SDGsについて
圏域全体で取組を推進



＜SDGsとは＞

国連で決めた「2030年までに世界をより良くするための目標」。「誰一人取り残さない」をスローガンに、17のゴール（具体的な169のターゲット）を目指す。

▲17のゴールを示したロゴ

II ICT・カイゼン プロジェクト

ICTをフル活用し、業務プロセスのカイゼンやシステムの共有化を促進



(例) 自治体クラウドの推進

圏域内の自治体が共同で利用できるクラウドの検討を行う。

III エリアプロモーション プロジェクト

様々なチャンネルを活用し、こおりやま広域圏の魅力効果を効果的・効率的に発信



(例) 広域圏インフォメーション事業

圏域のイベント、季節の風物詩などの地域資源情報を発信

IV オープンイノベーション プロジェクト

多様かつ高度な産業研究機能が集積されている環境を生かし、様々な研究連携を促進



(例) 広域圏アンバサダー

圏域内で活躍する事業者等による「地域の応援団」を結成し、先進的・発展的な視点を導入

V チャレンジ・スタートアップ プロジェクト

様々なチャレンジ・スタートアップを支援、圏域のフロンティア開拓を促進



(例) スモールスタート支援

まちづくりに資する取組を始めようとする事業者等を資金面、ノウハウ面で支援

VI 住民の安全・安心 プロジェクト

蓄積された情報・ノウハウを共有し、圏域全体の住民の安全・安心な生活を確保



(例) セーフコミュニティの推進

セーフコミュニティの活動、成果、ノウハウ等の情報を共有

横断的に推進

2 連携事業一覧

分類	連携協約項目	事業名
1 圏域全体の経済成長のけん引	(1) 産学金官民一体となった経済成長の推進体制の構築	1 こおりやま広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会運営事業
		2 こおりやま広域圏アンバサダー制度運営事業
		3 S D G s の推進
		4 国・県に向けた要望活動・地方分権・特区申請
	(2) 新規創業の促進及び地域産業の振興	5 創業支援事業
		6 こおりやま中小企業活性化事業
		7 産業振興人材育成事業
		8 企業立地セミナー及び合同プロモーション事業
		9 産業イノベーション事業
	(3) 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	10 6次産業化プロジェクト
		11 海外販路拡大支援事業
		12 物産振興事業
	(4) 戦略的な観光施策の推進	13 インバウンド推進事業
		14 シティプロモーション推進事業
		15 観光誘客事業
		16 日本遺産「一本の水路」プロモーション事業（広域観光）
2 高次の都市機能の集積・強化	(1) 高度な医療サービスの提供	17 広域的な医療体制の構築
	(2) 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築	18 広域交流中核拠点の整備
		19 広域的な交通網の形成促進
		20 福島空港利用及び地域の活性化促進
	(3) 高等教育・研究開発の環境整備	21 高等教育等の推進による人材育成
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 地域医療・福祉・子育ての充実	22 (再掲) 広域的な医療体制の構築
		23 認知症高齢者支援事業
		24 自殺対策推進事業
		25 長寿社会対策推進事業
		26 ファミリーサポートセンターの広域利用
		27 病児・病後児保育事業
		28 一時的保育事業
		29 保育士・保育所支援センター事業
		30 子どもの遊び場等の共同利用推進事業
	(2) 教育・文化・スポーツの振興	31 図書館相互利用事業
		32 生涯学習施設の広域利用
		33 教職員等交流
		34 文化体育施設の広域利用
	(3) 広域的な土地利用の促進	35 都市づくりに関する研究会

分類	連携協約項目	事業名	
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(4) 地域振興	36	スモールスタート支援事業
		37	協働のまちづくり推進事業
		38	ユニバーサルデザイン推進事業
		39	男女共同参画推進に向けた取組
		40	多様な働き方支援事業
	(5) 災害対策・住民の安全安心確保	41	災害対策
		42	セーフコミュニティの推進
	(6) 環境対策の推進	43	地球温暖化対策事業
		44	エネルギー地産地消促進
		45	有害鳥獣被害防止対策事業
	(7) 地域公共交通の充実	46	(再掲) 広域的な交通網の形成促進
	(8) ICTインフラの整備	47	Web 会議システムの運用
		48	自治体クラウドの推進
		49	オープンデータ利活用推進事業
		50	根拠に基づく政策立案 (EBPM) の推進
	(9) 道路等の社会インフラの整備・維持	51	道路等の交通インフラ整備
		52	インフラメンテナンス連携推進事業
		53	上下水道技術研修の実施
		54	公共施設等マネジメント推進事業
		55	PPP/PMI の調査検討
	(10) 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消	56	地域農業「学び」推進事業
		57	(再掲) 6次産業化プロジェクト
		58	(再掲) 物産振興事業
	(11) 圏域内外の住民との交流・移住促進	59	移住・定住促進事業
		60	婚活支援事業
	(12) 圏域マネジメント能力の強化	61	職員相互交流事業 (「人財」育成事業)
		62	研修等ネットワーク構築及び共同開催
		63	カイゼン運動の推進
		64	こおりやま広域圏チャレンジ「新発想」研究塾
		65	広域圏インフォメーション事業

3 具体的取組

(1) 圏域全体の経済成長のけん引

取組の方向性

本圏域は、福島県の「経済県都」と称され、稲作を中心に高い生産力を誇る農業、県内随一の商圏人口や年間商品販売数を誇る商業、また、高速交通網の発達による地理的優位性から工業、物流の拠点としても栄え、農業・商業・工業がバランス良く発達していることが強みである。連携中枢都市である本市は、圏域全体の経済成長をけん引する役割を担っていることから、各経済団体との連携により、本圏域の経済を支える小規模事業者や中小企業の成長発展、持続的発展を支援するとともに、ＪＡ等との有機的連携やアグリテック活用による農産物の生産性向上や高付加価値化、さらには、積極的な６次産業化や海外も視野に入れた販路拡大に取り組み、近隣市町村と連携しながら経済成長のための取り組みを展開する。

また、多様かつ高度な学術研究機関が集積する立地環境を生かし、圏域内企業のシーズ支援や新技術・商品の開発など、ＩｏＴやＡＩ等による産業のイノベーションを産学金官など関係機関が十分に連携し国際競争力の高い産業振興を推進する。

さらに、本圏域の歴史遺産や魅力溢れる地域資源等について、近隣市町村との連携による圏域全体の魅力向上と周遊性の向上に取り組み、国内外からの交流人口及び関係人口の拡大に取り組むとともに、恵まれた立地特性を生かし、国内外の多様なコンベンション及びアフターコンベンション誘致を積極的に展開する。

【基本目標】

指標	現状値（2016 年）	目標値（2023 年）
製造品出荷額等	1,473,063 百万円	1,500,000 百万円
年間商品販売額 （卸・小売業）	1,824,857 百万円	1,850,000 百万円 （2022 年）
農業産出額	66,670 百万円	70,000 百万円
観光客入込数（年間）	1,095 万人（2017 年）	1,150 万人

① 産学官民一体となった経済成長の推進体制の構築

事業名	こおりやま広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会運営事業						SDGs	
重点プロジェクト	Ⅳ オープンイノベーション プロジェクト							
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町
	○	○	○	○	○	○	○	○
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町	
	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	こおりやま広域連携中枢都市圏ビジョンの策定及び推進に当たり、圏域の関係団体、学識経験者等から幅広く意見を聴取するための懇談会を開催する。							
連携効果	連携事業の充実と圏域の活性化に寄与する。							
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計		
	783	783	783	783	783	3,915		
活用する国県補助事業等								
役割分担及び 費用負担	郡山市	・ 本事業の中心となって取り組む。 ・ その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・ 事業実施に必要な費用を負担する。						
	連携市町村	・ 郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・ 各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。						
成果指標 (KPI)	指標		現状値（2018 年度）		目標値（2023 年度）			
	都市圏ビジョンの「基本目標」 向上項目数		－		11 項目			

事業名	こおりやま広域圏アンバサダー制度運営事業					SDGs			
重点プロジェクト	Ⅳ オープンイノベーション プロジェクト								
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町	
	○	○	○	○	○	○	○	○	
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町		
	○	○	○	○	○	○	○		
事業概要	圏域内で活躍する事業者等による地域の応援団「こおりやま広域圏アンバサダー」を結成し、各分野の先進的・発展的な視点や具体的な事業提案等を連携事業に取り入れる。								
連携効果	圏域内における多様なネットワークの構築や、連携事業の活性化が期待できる。								
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計			
	142	142	142	142	142	710			
活用する国県補助事業等									
役割分担及び 費用負担	郡山市	・本事業の中心となって取り組む。 ・その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・事業実施に必要な費用を負担する。							
	連携市町村	・郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。							
成果指標 (KPI)	指標			現状値 (2018 年度)		目標値 (2023 年度)			
	アンバサダーとの連携事業数 (累計)			—		10 事業			

事業名	SDGsの推進					SDGs		
重点プロジェクト	I SDGs推進 プロジェクト							
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町
	○	○	○	○	○	○	○	○
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町	
	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	2015年の国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発目標」いわゆるSDGsの達成に向けて、圏域全体で取り組みを推進する。 ○市町村職員向けセミナー ○官民連携ワークショップの実施 ○住民向け出前講座 ○SDGsに関する情報共有							
連携効果	SDGsの取組について、広域的な普及促進が図られ、広範囲に多様なステークホルダーの参加を促すことができる。							
事業費 (千円)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	計		
	525	525	525	525	525	2,625		
活用する国県補助事業等								
役割分担及び費用負担	郡山市	・本事業の中心となって取り組む。 ・その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・事業実施に必要な費用を負担する。						
	連携市町村	・郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。						
成果指標 (KPI)	指標		現状値（2018年度）		目標値（2023年度）			
	セミナー、ワークショップ等への参加者数（累計）		225人		1,200人			

事業名	国・県に向けた要望活動・地方分権・特区申請					SDGs			
重点プロジェクト									
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町	
	○	○	○	○	○	○	○	○	
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町		
	○	○	○	○	○	○	○		
事業概要	圏域市町村の様々な地域課題の解決を図るため、国県への要望活動等を共同で実施する。 ○国・県の施策や予算に向けた要望活動 ○規制緩和等の提案募集制度に向けたセミナー等開催、共同提案 ○構造改革特区、国家戦略特区の共同申請に向けた検討 ○提案募集制度等を活用したさらなる地方分権の推進								
連携効果	圏域全体の課題解決に向けた要望となり説得力、重厚感が増すとともに、規制緩和や特区の効果を圏域全体で享受することが可能となり、住民の利便性が高まる。								
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計			
	650	650	650	650	650	3,250			
活用する国県補助事業等									
役割分担及び 費用負担	郡山市	・本事業の中心となって取り組む。 ・その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・事業実施に必要な費用を負担する。							
	連携市町村	・郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。							
成果指標 (KPI)	指標			現状値（2018 年度）		目標値（2023 年度）			
	地方分権改革に関する共同提案件数（累計）			－		5 件			

② 新規創業の促進及び地域産業の振興

事業名	創業支援事業					S D G s			
重点プロジェクト	Ⅴ チャレンジ・スタートアップ プロジェクト								
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町	
	○	○	○	○	○	○	○	○	
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町		
	○	○	○	○	○	○	○		
事業概要	圏域内の創業者を育成するとともに、新たな事業展開に取り組む中小企業者を支援する。 ○社会起業家加速化支援プログラム ○こおりやま産業クラウドファンディング								
連携効果	圏域内の起業支援及び中小企業等の経営力強化が期待できる。								
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計			
	9,535	9,535	9,535	9,535	9,535	47,675			
活用する国県補助事業等	地方創生推進交付金								
役割分担及び費用負担	郡山市	・ 本事業の中心となって取り組む。 ・ その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・ 事業実施に必要な費用を負担する。							
	連携市町村	・ 郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・ 各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。							
成果指標 (KPI)	指標			現状値 (2018 年度)		目標値 (2023 年度)			
	支援対象者数			11 人		20 人			

事業名					こおりやま中小企業活性化事業		S D G s				
重点プロジェクト											
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町			
	○	○	○	○	○	○	○	○			
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町				
	○	○	○	○	○	○	○				
事業概要		中小企業の成長発展、持続的発展を目指し、様々な課題に応じた取り組みを実施する。 ○キャリア教育支援事業 ○SNS 等を活用した情報発信事業 ○経済団体等支援事業									
連携効果		各市町村または圏域内の事業者等が実施する各種制度、事業、イベント等を、SNS で情報発信することにより、事業等の効果的な周知が図られるなど、圏域内の中小企業等の振興が期待できる。									
事業費 (千円)		2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計				
		2,496	2,500	2,500	2,500	2,500	12,496				
活用する国県補助事業等		みらいを描く市町村等支援事業助成金									
役割分担及び費用負担		郡山市	・キャリア教育支援事業の実施等、圏域内の中小企業の成長発展、持続的発展に寄与する取り組みを実施する。 ・その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・事業実施に必要な費用を負担する。								
		連携市町村	・郡山市と連携・協力し、各市町村における中小企業の成長発展、持続的発展に寄与する取り組みを実施する。 ・各市町村が取り組む関連事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。								
成果指標 (KPI)		指標			現状値 (2018 年度)		目標値 (2023 年度)				
		SNS 登録者数			—		5,000 人				

事業名	産業振興人材育成事業					SDGs		
重点プロジェクト								
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町
	○	○	○	○	○	○	○	○
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町	
	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	企業の人材育成を支援するため、中小企業大学校仙台校と連携を図り、中小企業の経営者や経営管理者を対象とした講座を開催する。 ○中小企業大学校サテライト・ゼミ事業							
連携効果	圏域内企業の人材の資質向上や異業種間交流が図られ、地域経済の活性化や企業の持続的発展につながる効果が期待できる。							
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計		
	28	30	30	30	30	148		
活用する国県補助事業等								
役割分担及び 費用負担	郡山市	・本事業の中心となって取り組む。 ・その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・事業実施に必要な費用を負担する。						
	連携市町村	・郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。						
成果指標 (KPI)	指標		現状値（2018 年度）			目標値（2023 年度）		
	講座受講者数		14 人			20 人		

事業名		企業立地セミナー及び合同プロモーション事業					SDGs	
重点プロジェクト								
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町
	○	○	○	○	○	○	○	○
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町	
	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要		福島県内に立地を検討している企業等の関係者を対象に、関係首長によるトップセールスを行い、今後の企業誘致につなげる。また、新たなビジネス展開と販路拡大を目的に合同により展示会への出展やパンフレット作成等を行い、こおりやま広域圏のプロモーション活動を実施する。 ○企業立地セミナー事業 ○合同プロモーション事業						
連携効果		合同による企業誘致を展開することにより、規模のメリットを活かした効果的な優位性のPRを行うことができ、かつ費用においても効率的な活動を行うことができるとともに、圏域全体の雇用促進及び経済の活性化が期待できる。						
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計		
	—	2,100	4,500	4,500	4,500	15,600		
活用する国県補助事業等								
役割分担及び 費用負担	郡山市	・本事業の中心となって取り組む。 ・その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・事業実施に必要な費用を負担する。						
	連携市町村	・郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。						
成果指標 (KPI)	指標		現状値（2018 年度）		目標値（2023 年度）			
	圏域市町村の誘致企業数（累計）		—		10 件			

事業名	産業イノベーション事業					SDGs			
重点プロジェクト	Ⅳ オープンイノベーション プロジェクト								
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町	
	○	○	○	○	○	○	○	○	
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町		
	○	○	○	○	○	○	○		
事業概要	ドイツエッセン市と郡山市との交流を契機に、圏域とエッセン市の連携を加速させるとともに、再エネ・医療機器関連産業の更なる集積・育成を推進し、併せて産総研福島再生可能エネルギー研究所、ふくしま医療機器開発支援センターとの連携により地元企業のシーズ支援等を行い、新事業・新産業の創出を図る。 ○ドイツ NRW 州エッセン市との連携 ○産学金官連携コーディネート業務 ○医工連携事業化参入コンサルティング業務 ○郡山地域研究機関ネットワーク形成会議 ○知的財産活用推進事業								
連携効果	圏域内企業とエッセン市を含むドイツ企業との技術交流、人材育成、販路拡大、外資の誘導を促進することにより、再エネ・医療機器関連産業の更なる集積・育成を推進し、圏域全体の産業振興及び経済の活性化が期待できる。 また、知的財産に関する普及啓発、人材育成、知的財産の利活用に向けた支援を推進し、企業の稼ぐ力を向上させることを通じて、地域の活性化及び産業振興が期待できる。								
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計			
	18,756	18,756	18,756	18,756	18,756	93,780			
活用する国県補助事業等	・地方創生推進交付金(産業イノベーション事業) ・みらいを描く市町村等支援事業助成金(知的財産活用推進事業)								
役割分担及び費用負担	郡山市	・本事業の中心となって取り組む。 ・その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・事業実施に必要な費用を負担する。							
	連携市町村	・郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。							
成果指標 (KPI)	指標		現状値 (2016 年)		目標値 (2023 年)				
	圏域内の製造品出荷額等		1,473,063 百万円		1,500,000 百万円				

③ 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

事業名	6次産業化プロジェクト					SDGs		
重点プロジェクト	Ⅲ エリアプロモーション プロジェクト							
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町
	○	○	○	○	○	○	○	○
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町	
	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	圏域内の地域資源を活用し、農産物や農産加工品の生産流通及び消費拡大による農業の活性化を図る。 ○ふくしま逢瀬ワイナリーと連携したイベントの実施 ○食の魅力向上やブランド確立に向けた検討							
連携効果	広域圏内の食の魅力が高まり、消費拡大、ブランド確立による認知度の向上が期待できる。							
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計		
	11, 548	11, 548	11, 548	11, 548	11, 548	57, 740		
活用する国県補助事業等	地方創生推進交付金							
役割分担及び費用負担	郡山市	・ 本事業の中心となって取り組む。 ・ その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・ 事業実施に必要な費用を負担する。						
	連携市町村	・ 郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・ 各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。						
成果指標 (KPI)	指標		現状値（2018 年度）			目標値（2023 年度）		
	ワイナリーフェス商品出品市町村数		1 市町村			10 市町村		

事業名					海外販路拡大支援事業		SDGs						
重点プロジェクト					Ⅲ エリアプロモーション プロジェクト								
関係市町村					郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町	
					○	○	○	○	○	○	○	○	
					石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町		
					○	○	○	○	○	○	○		
事業概要					国や県及びJETROと連携して、海外販路拡大セミナーや個別相談会の開催、海外展開を支援する各種情報の発信に取り組む。 ○留学生対象ニーズ調査 ○在日海外プレス招へい ○現地テストマーケティング(広域圏産品対象)、現地PR「郡山フェア」								
連携効果					海外市場とのネットワークを構築することにより、海外輸出による販路拡大や圏域内企業及び生産者の意識向上が期待できる。								
事業費 (千円)					2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計			
					9,508	9,508	9,508	9,508	9,508	47,540			
活用する国県補助事業等													
役割分担及び費用負担					郡山市	・本事業の中心となって取り組む。 ・その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・事業実施に必要な費用を負担する。							
					連携市町村	・郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。							
成果指標 (KPI)					指標			現状値 (2018 年度)		目標値 (2023 年度)			
					輸出を手がけた法人等 (総数)			6 社		10 社			

事業名	物産振興事業					SDGs		
重点プロジェクト	Ⅲ エリアプロモーション プロジェクト							
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町
	○	○	○	○	○	○	○	○
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町	
	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	圏域内特産品を、圏域内外においてイベント展示、出店等を共同で実施する。また、共同で実施するに当たり、効果的かつ効率的に事業を進めるためのデータ収集を行う。							
連携効果	物産展の共同実施により、圏域のプロモーション活動をはじめ、効率的な物産展の運営及び新たな販売ルートの開拓が期待できる。							
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計		
	6,218	6,218	6,218	6,218	6,218	31,090		
活用する国県補助事業等	消費者風評対策市町村支援事業県交付金							
役割分担及び 費用負担	郡山市	・ 本事業の中心となって取り組む。 ・ その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・ 事業実施に必要な費用を負担する。						
	連携市町村	・ 郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・ 各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。						
成果指標 (KPI)	指標		現状値（2017 年）		目標値（2023 年）			
	観光客入込数		1,095 万人		1,150 万人			

④ 戦略的な観光施策の推進

事業名	インバウンド推進事業					SDGs			
重点プロジェクト	Ⅲ エリアプロモーション プロジェクト								
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町	
	○	○	○	○	○	○	○	○	
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町		
	○	○	○	○	○	○	○		
事業概要	2016 年からの広域インバウンド推進体制の枠組みを活かし、外国人観光客の受入環境整備に継続して取り組むとともに、外国人向けプロモーションを実施し、こおりやま広域圏の認知度向上・外国人誘客の促進を図る。 ○通訳案内士の広域ガイド能力向上研修事業 ○多言語ウェブサイト「FUKUNAKA」運営管理・機能拡張事業 ○JNTO グローバルサイト活用PR事業 ○海外誘客事業への共同出展								
連携効果	多角的かつ拡散的な発信による圏域認知度の向上、来訪意欲の向上・来訪機会の増加が図られ、より効果的な観光誘客が期待される。								
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計			
	7,057	7,057	7,057	7,057	7,057	35,285			
活用する国県補助事業等	広域観光連携事業費負担金、(東北観光復興交付金)								
役割分担及び費用負担	郡山市	・本事業の中心となって取り組む。 ・その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・事業実施に必要な費用を負担する。							
	連携市町村	・郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。							
成果指標 (KPI)	指標		現状値 (2017 年度)		目標値 (2023 年度)				
	訪日外国人宿泊者数		14,297 人		35,000 人				

事業名	シティプロモーション推進事業					SDGs			
重点プロジェクト	Ⅲ エリアプロモーション プロジェクト								
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町	
	○	○	○	○	○	○	○	○	
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町		
	○	○	○	○	○	○	○		
事業概要	こおりやま広域圏の魅力を全国に発信し、認知度・知名度の向上、交流人口や定住人口の増加を図るため、こおりやま広域圏によるシティプロモーション活動を積極的に推進する。 ○首都圏における合同プロモーションの実施 ○圏域内市町村のゆるキャラを活用したイベント出展や特産品等のPR活動								
連携効果	圏域内市町村の連携によるプロモーションを推進することにより、イベントの活性化等が図られ、広域圏全体の関心度を高めることが期待できる。								
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計			
	15,927	15,927	15,927	15,927	15,927	79,635			
活用する国県補助事業等									
役割分担及び費用負担	郡山市	・本事業の中心となって取り組む。 ・その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・事業実施に必要な費用を負担する。							
	連携市町村	・郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。							
成果指標 (KPI)	指標			現状値 (2018 年度)		目標値 (2023 年度)			
	合同プロモーション実施回数 (累計)			1 回		10 回			

事業名	観光誘客事業					SDGs		
重点プロジェクト	Ⅲ エリアプロモーション プロジェクト							
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町
	○	○	○	○	○	○	○	○
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町	
	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	圏域市町村や観光関係団体のほか、他自治体との連携により、首都圏等を中心に観光PR等の事業を実施し、こおりやま広域圏への観光誘客を図る。 ○広域ガイドブック（広域観光素材によるデジタルブック）の作成等 ○サイクルツーリズムなど観光ニーズに合わせた広域観光ルート造成 ○圏域内の広域案内の推進 ○圏域内観光客の動態調査・アンケート ○観光物産キャンペーン							
連携効果	広域のスケールメリットを生かし、観光等メニューの多様化・相互補完を図ることで、圏域内における観光客の滞在日数の増加や、圏域内の周遊率が上がることが期待される。							
事業費 （千円）	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計		
	20,092	8,000	8,000	8,000	8,000	52,092		
活用する国県補助事業等								
役割分担及び 費用負担	郡山市	・本事業の中心となって取り組む。 ・その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・事業実施に必要な費用を負担する。						
	連携市町村	・郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。						
成果指標 （KPI）	指標		現状値（2017 年）		目標値（2023 年）			
	観光客入込数		1.095 万人		1.150 万人			

事業名	日本遺産「一本の水路」プロモーション事業（広域観光）					SDGs			
重点プロジェクト	Ⅲ エリアプロモーション プロジェクト								
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町	
	○	○	○	○	○	○	○	○	
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町		
	○	○	○	○	○	○	○		
事業概要	猪苗代湖を核とした日本遺産の魅力について、広く国内外に向けたプロモーション活動を推進し、観光誘客や交流人口の増加につなげる。 ○一般参加者撮影による写真展の開催 ○日本遺産出前講座 ○日本遺産体感バスツアー ○猪苗代湖プロモーションウェブサイト連携による交流人口創出								
連携効果	猪苗代湖を核とした日本遺産のプロモーションと併せ周辺の観光情報を効果的にPRすることにより、広域的な観光誘客が期待できる。								
事業費 （千円）	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計			
	4,282	4,282	4,282	4,282	4,282	21,410			
活用する国県補助事業等									
役割分担及び費用負担	郡山市	・本事業の中心となって取り組む。 ・その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・事業実施に必要な費用を負担する。							
	連携市町村	・郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。							
成果指標 （KPI）	指標		現状値（2017 年）		目標値（2023 年）				
	観光客入込数		1,095 万人		1,150 万人				

（２）高次の都市機能の集積・強化

取組の方向性

本圏域の救急医療体制は、初期・二次・三次救急、周産期医療体制が集積しているのが強みであるが、特に三次救急、周産期医療体制については、連携中枢都市である本市に集中しており、本市の医療体制が広域的役割を担い、高度医療を提供し圏域住民が安心して暮らすことができる環境づくりを行う責務があることから、広域的な医療体制のネットワーク構築や相互の医療資源の有効活用について展開する。

また、福島県の中央に位置する地理的優位性や充実した交通網を生かし、圏域の中心都市としての拠点性を高め、こおりやま広域圏をけん引する高次都市機能の誘導や未利用地等の活用により、「こおりやま広域圏の玄関口」に相応しい良好な中心拠点の形成を図る。

さらに、圏域内には高等教育機関が多数存在していることから、近隣市町村と圏域内の高等教育機関が連携を図りながら、高等教育の振興や産業の振興、地域人材の育成等により、圏域の地域課題の解決に取り組む。

【基本目標】

指標	現状値（2017 年）	目標値（2023 年）
福島空港利用者数	約 26 万人	30 万人
公共交通利用者数 （圏域内のＪＲ有人駅及び圏 域内複数市町村をまたぐバス 路線「地域間幹線系統」の利 用者数）	約 1,111 万人	約 1,139 万人

① 高度な医療サービスの提供

事業名	広域的な医療体制の構築					S D G s			
重点プロジェクト	Ⅵ 住民の安全・安心 プロジェクト								
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町	
	○	○	○	○	○	○	○	○	
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町		
	○	○	○	○	○	○	○		
事業概要	構成市町村との医療体制の広域連携（機能分化やネットワーク構築等）に関する調査検討を行う。 ○かかりつけ医の効率的な普及啓発の調査検討 ○高度な医療の提供体制の維持に係る課題の調査検討 ○救急搬送における圏域内医療機関連携の推進の調査検討 ○退院調整ルールの運用・連携の推進 ○周産期医療体制の維持に係る課題の調査検討 等								
連携効果	医療資源の有効活用が図られるとともに、圏域内の住民が身近なところで安心して良質な医療を受けられる地域医療体制の充実に寄与する。								
事業費 （千円）	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計			
	—	—	—	—	—	—			
活用する国県補助事業等									
役割分担及び費用負担	郡山市	・ 本事業の中心となって取り組む。 ・ その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・ 事業実施に必要な費用を負担する。							
	連携市町村	・ 郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・ 各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。							
成果指標 （KPI）	指標		現状値（2018 年度）			目標値（2023 年度）			
	圏域市町村の医療・介護資源及び医療費等の把握		—			退院調整ルール調整率の均てん化（圏域市町村において県中地域調整率 85.4%に近づける）			
	圏域市町村における救急、在宅、子ども、周産期医療に関する実態把握		—			圏域市町村の医療資源等の把握（医師数推移等 14 項目）			

② 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築

事業名	広域交流中核拠点の整備					S D G s			
重点プロジェクト									
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町	
	○	○	○	○				○	
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町		
	○	○	○	○	○	○	○		
事業概要	福島県の中央に位置する地理的優位性や充実した交通網や圏域全体の中心都市として拠点性を高め、「こおりやま広域圏の玄関口」に相応しい良好な中心拠点の形成を図る。								
連携効果	賑わいと交流の拠点が形成されるとともに、ビジネス環境の向上や誘客の促進も期待できる。								
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計			
	1,337,087	576,114	342,127	537,672	361,232	3,154,232			
活用する国県補助事業等	社会資本整備総合交付金								
役割分担	郡山市	・本事業の中心となって取り組む。 ・その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・事業実施に必要な費用を負担する。							
	連携市町村	・郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。							
成果指標 (KPI)	指標			現状値(2017 年度)		目標値 (2023 年度)			
	公共施設用地の確保 (事業区域で移転等が必要な棟数)			29 棟		69 棟 (100%)			

事業名						SDGs			
重点プロジェクト									
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町	
	○	○	○	○	○	○	○	○	
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町		
	○	○	○	○	○	○	○		
事業概要		鉄道、路線バスをはじめとする地域交通の課題等について検討を行い、高齢者や交通弱者の移動手段の確保や利用しやすい交通網形成による利便性の向上を図る。 ○圏域自治体によるニーズ調査・検討 ○モビリティマネジメントによる広域連携							
連携効果		利用しやすい交通網形成による住民生活利便性の向上、高齢者などの交通弱者に対する移動手段の確保により、利用者増加に伴う持続可能な公共交通の形成が期待できる。							
事業費 (千円)		2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計		
		178,280	178,280	178,280	178,280	178,280	891,400		
活用する国県補助事業等									
役割分担及び費用負担		郡山市	・本事業の中心となって取り組む。 ・その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・事業実施に必要な費用を負担する。						
		連携市町村	・郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。						
成果指標 (KPI)		指標		現状値 (2018 年)		目標値 (2023 年)			
		公共交通利用者数 (圏域内のＪＲ有人駅及び圏域内複数市町村をまたぐバス路線「地域間幹線系統」の利用者数)		約 1,111 万人		約 1,139 万人			

事業名	福島空港利用及び地域の活性化促進					SDGs		
重点プロジェクト	Ⅳ オープンイノベーション プロジェクト							
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町
	○	○	○	○	○	○	○	○
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町	
	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	福島空港利用促進協議会、郡山市福島空港活用促進協議会、県中地域福島空港活性化推進会議及び関係市町村の空港関係協議会等と連携しながら福島空港の利活用の促進を図る。							
連携効果	空港利用者の増加による路線の維持・拡充や地域経済の活性化、空港の活性化に伴う交流の拡大等が図られるとともに、災害発生時における人員・物資の輸送経路が確保される。							
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計		
	4,664	4,664	4,664	4,664	4,664	23,320		
活用する国県補助事業等								
役割分担及び 費用負担	郡山市	・本事業の中心となって取り組む。 ・その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・事業実施に必要な費用を負担する。						
	連携市町村	・郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。						
成果指標 (KPI)	指標		現状値 (2017 年)		目標値 (2023 年)			
	福島空港利用者数		259,618 人		300,000 人			

③ 高等教育・研究開発の環境整備

事業名	高等教育等の推進による人材育成					SDGs		
重点プロジェクト	Ⅳ オープンイノベーション プロジェクト							
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町
	○	○	○	○	○	○	○	○
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町	
	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	高等教育機関等との連携推進により、圏域内の産業の振興、地域人材の育成を図る。 ○高等教育の推進・地域人材の育成 ○「知の結節点」を目指した連携推進 ○高大連携の推進							
連携効果	圏域内における高等教育や産業の振興、地域人材の育成等により、地域課題の解決が図られる。							
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計		
	201	201	201	201	201	1,005		
活用する国県補助事業等								
役割分担及び 費用負担	郡山市	・ 本事業の中心となって取り組む。 ・ その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・ 事業実施に必要な費用を負担する。						
	連携市町村	・ 郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・ 各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。						
成果指標 (KPI)	指標			現状値 (2018 年度)		目標値 (2023 年度)		
	高等教育機関との連携事業数			2 事業		10 事業		

（３）圏域全体の生活関連機能サービスの向上

取組の方向性

圏域内市町村が有する生活関連機能サービスについて、連携中枢都市である本市と近隣市町村が有する都市機能及び行政サービスを相互補完的に圏域住民に提供し、圏域住民が豊かで安全に安心して暮らすことができる圏域の形成を目指す。

具体的には、公共施設の相互利用や広域避難をはじめとする防災体制の充実、持続可能な地域コミュニティの活性化支援、地域内の資源を活用したエネルギーの地産地消、健康立国の実現に資する健康寿命の延伸、移住定住の促進、圏域マネジメントの強化など、近隣市町村との連携により圏域全体の課題解決及び住民生活関連機能の向上に寄与する取り組みを積極的に展開する。

【基本目標】

指標	現状値（2017 年）	目標値（2023 年）
合計特殊出生率	各市町村の人口ビジョン等に掲げる合計特殊出生率の達成を目指す（2040 年）	
人口の社会動態	各市町村の人口ビジョン等に掲げる人口社会動態の達成を目指す（2040 年）	
圏域の健康寿命	各市町村における健康寿命の延伸を目指す	
温室効果ガス排出量 （参考：郡山市）	2,906 千 t-CO ₂ (2015 年)	2,538 千 t-CO ₂ (2020 年)
交通事故死傷者数	2,203 人	1,100 人

① 地域医療・福祉・子育ての充実

事業名	(再掲) 広域的な医療体制の構築					S D G s		
重点プロジェクト	VI 住民の安全・安心プロジェクト							
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町
	○	○	○	○	○	○	○	○
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町	
	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	構成市町村との医療体制の広域連携（機能分化やネットワーク構築等）に関する調査検討を行う。 ○かかりつけ医の効率的な普及啓発の調査検討 ○高度な医療の提供体制の維持に係る課題の調査検討 ○救急搬送における圏域内医療機関連携の推進の調査検討 ○退院調整ルールの運用・連携の推進 ○周産期医療体制の維持に係る課題の調査検討 等							
連携効果	医療資源の有効活用が図られるとともに、圏域内の住民が身近なところで安心して良質な医療を受けられる地域医療体制の充実に寄与する。							
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計		
	—	—	—	—	—	—		
活用する国県補助事業等								
役割分担及び費用負担	郡山市	・ 本事業の中心となって取り組む。 ・ その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・ 事業実施に必要な費用を負担する。						
	連携市町村	・ 郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・ 各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。						
成果指標 (KPI)	指標		現状値（2018 年度）		目標値（2023 年度）			
	圏域市町村の医療・介護資源及び医療費等の把握		—		退院調整ルール調整率の均てん化（圏域市町村において県中地域調整率 85.4%に近づける）			
	圏域市町村における救急、在宅、子ども、周産期医療に関する実態把握		—		圏域市町村の医療資源等の把握（医師数推移等 14 項目）			

事業名						SDGs					
重点プロジェクト											
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町			
	○	○	○	○	○	○	○	○			
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町				
	○	○	○	○	○	○	○				
事業概要		圏域内で暮らす認知症高齢者等が徘徊等により所在不明となった際の構成市町村への伝達や捜索活動について県の動向を見ながら検討する。また、その他の認知症施策についても、圏域内で社会資源や課題等について情報共有する。									
連携効果		認知症高齢者支援に係る社会資源や課題、取組みについて情報共有することで、各市町村の課題解決が期待できる。									
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計					
	32,373	32,824	34,019	34,219	—	133,435					
活用する国県補助事業等											
役割分担及び 費用負担	郡山市	・本事業の中心となって取り組む。 ・その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・事業実施に必要な費用を負担する。									
	連携市町村	・郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。									
成果指標 (KPI)	指標			現状値（2018 年度）		目標値（2023 年度）					
	認知症情報交換会開催回数 (累計)			—		5 回					

事業名	自殺対策推進事業				S D G s		   	
重点プロジェクト	Ⅵ							
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町
	○	○	○	○	○	○	○	○
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町	
	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	誰一人自殺に追い込まれることのないまちを目指し、圏域内における住民の自殺予防を図るため、自殺対策に携わる人材の育成や知識の普及・啓発を行う。							
連携効果	圏域内の全ての住民において自殺予防に係る知識の普及が図られ、自殺死亡率（人口 10 万人当たりの自殺者数）が減少する。							
事業費 （千円）	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計		
	4,009	4,009	4,009	4,009	4,009	20,045		
活用する国県補助事業等	福島県地域自殺対策強化事業（補助金）							
役割分担及び 費用負担	郡山市	・ 本事業の中心となって取り組む。 ・ その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・ 事業実施に必要な費用を負担する。						
	連携市町村	・ 郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・ 各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。						
成果指標 （KPI）	指標			現状値（2018 年度）		目標値（2023 年度）		
	自殺予防に関する講演会の参加者数			261 人		600 人		

事業名					長寿社会対策推進事業		SDGs			
重点プロジェクト										
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町		
	○	○	○	○	○	○	○	○		
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町			
	○	○	○	○	○	○	○			
事業概要		年齢にとらわれず地域において活躍できる高齢者を養成するとともに、高齢者自身の社会参加を促すことで健康寿命の延伸に向けた取組を推進する。また、今後ますます進展する高齢社会において、全ての世代の住民が自身の担うべき役割を考える場を提供する。 ○「あさかの学園大学」の運営 ○「いきいきふれあいの集い」の開催								
連携効果		圏域内の全ての住民が地域社会を構成する重要な一員として活躍するとともに、高齢者の社会参加促進が図られる。								
事業費 (千円)		2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計			
		44,335	44,335	44,335	44,335	44,335	221,675			
活用する国県補助事業等										
役割分担及び費用負担		郡山市	・本事業の中心となって取り組む。 ・その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・事業実施に必要な費用を負担する。							
		連携市町村	・郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。							
成果指標 (KPI)		指標			現状値（2018 年度）		目標値（2023 年度）			
		あさかの学園大学卒業及び修了者数			444 人		660 人			

事業名	ファミリーサポートセンターの広域利用					SDGs		
重点プロジェクト								
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町
	○	○	○	○	○	○	○	○
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町	
	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	地域における子育てサポート体制の整備を図るため、地域のネットワークの充実を図りながら取り組み、会員同士の相互援助活動を推進する。 ○養成講座の開催 ○スキルアップ研修や情報交換等の開催 ○ファミリーサポートセンターの広域利用に向けた検討							
連携効果	圏域内で研修会や情報交換を共同で行うことにより、知識や技術のスキルアップ、会員不足の解消が図られるとともに、サポートの広域利用が可能となれば仕事と育児の両立や安心して子どもを育てる環境づくりの提供がさらに期待できる。							
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計		
	8,849	8,849	8,849	8,849	8,849	44,245		
活用する国県補助事業等	子ども・子育て支援交付金							
役割分担及び 費用負担	郡山市	・本事業の中心となって取り組む。 ・その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・事業実施に必要な費用を負担する。						
	連携市町村	・郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。						
成果指標 (KPI)	指標		現状値（2017 年度）			目標値（2023 年度）		
	育児の相互援助活動件数		郡山市内：3,137 件 郡山市外：0 件			郡山市内：3,200 件 郡山市外：20 件		

事業名		病児・病後児保育事業					SDGs			
重点プロジェクト		Ⅵ 住民の安全・安心 プロジェクト								
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町		
	○	○	○	○	○	○	○	○		
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町			
	○	○	○	○	○	○	○			
事業概要		病気の治療中（病児）または病気の回復期（病後児）にある小学校6年生までの子どもを、専用施設において保育士と看護師が医師と連携を図りながら一時的に保育する「病児・病後児保育」を実施する。								
連携効果		各市町村が単独で実施するよりも費用面での抑制が図られるとともに、圏域全体の利便性・サービスの向上が見込まれ、定住意欲の向上にもつながることが期待できる。								
事業費		2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計			
		93,440	71,396	71,396	71,396	71,396	379,024			
活用する国県補助事業等		子ども・子育て支援交付金(国・県)、子ども・子育て支援整備交付金(国・県)								
役割分担及び費用負担		郡山市	・本事業の中心となって取り組む。 ・その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・事業実施に必要な費用を負担する。							
		連携市町村	・郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。							
成果指標 (KPI)		指標		現状値(2017 年度)		目標値(2023 年度)				
		利用児童数		2,879 人		4,500 人				

事業名	一時的保育事業					SDGs			
重点プロジェクト	Ⅵ 住民の安全・安心 プロジェクト								
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町	
	○	○	○	○	○	○	○	○	
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町		
	○	○	○	○	○	○	○		
事業概要	就学前の子どもが保護者の就労・傷病・入院などにより、家庭での保育が困難となる場合に、一時的・断続的に保育する「一時的保育」を実施する。								
連携効果	各市町村が単独で実施するよりも費用面での抑制が図られるとともに、圏域全体の利便性・サービスの向上が見込まれ、定住意欲の向上にもつながることが期待できる。								
事業費	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計			
	84,619	84,619	84,619	84,619	84,619	423,095			
活用する国県補助事業等	子ども・子育て支援交付金(国・県)								
役割分担及び費用負担	郡山市	・本事業の中心となって取り組む。 ・その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・事業実施に必要な費用を負担する。							
	連携市町村	・郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。							
成果指標 (KPI)	指標		現状値 (2017 年度)			目標値 (2023 年度)			
	利用児童数		20,032 人			22,000 人			

事業名	保育士・保育所支援センター事業					SDGs			
重点プロジェクト									
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町	
	○	○	○	○	○	○	○	○	
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町		
	○	○	○	○	○	○	○		
事業概要	保育士・保育所支援センターに潜在保育士として登録する対象を圏域内の住民に広げるとともに、情報を提供する施設も圏域内の施設を対象とし、慢性的な保育士不足の解消を図る。								
連携効果	潜在保育士が復職しやすい環境が作られることで、保育士の確保が進み、圏域全体の待機児童解消につながる。								
事業費	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計			
	2,522	2,522	2,522	2,522	2,522	12,610			
活用する国県補助事業等	保育対策総合支援事業費補助金(国・県)								
役割分担及び費用負担	郡山市	・本事業の中心となって取り組む。 ・その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・事業実施に必要な費用を負担する。							
	連携市町村	・郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。							
成果指標(KPI)	指標			現状値(2017 年度)		目標値(2023 年度)			
	登録保育士と保育施設のマッチング件数			85 件		95 件			

事業名	子どもの遊び場等の共同利用推進事業					SDGs		
重点プロジェクト								
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町
	○	○	○	○	○	○	○	○
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町	
	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	子どもたちの健康増進と健やかな心の発達を図るため、圏域内の子どもの遊び場等の共同利用を推進する。							
連携効果	圏域内に居住する子どもたちのニーズに合わせた相互利用をすることが可能となり、住民サービスの向上が図られる。							
事業費	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計		
	324	—	—	324	—	648		
活用する国県補助事業等								
役割分担及び費用負担	郡山市	・ 本事業の中心となって取り組む。 ・ その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・ 事業実施に必要な費用を負担する。						
	連携市町村	・ 郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・ 各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。						
成果指標 (KPI)	指標		現状値 (2017 年度)		目標値 (2023 年度)			
	遊び場利用者数 (※は把握施設のみ)		全体利用者数 620,771 人 自市町村以外の利用者数(※) 214,647 人		全体利用者数 632,000 人 自市町村以外の利用者数 226,000 人			

② 教育・文化・スポーツの振興

事業名	図書館相互利用事業					SDGs		
重点プロジェクト								
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町
	○	○	○	○	○	○	○	○
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町	
	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	圏域内の公立図書館における図書貸出サービスの利用を可能とする等、住民の利便性向上と施設利用促進に連携して取り組む。							
連携効果	圏域住民が利用できる蔵書数の増加により、サービス向上が期待されるとともに、施設の有効活用、交流人口の増加が期待できる。							
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計		
	454	0	0	0	0	454		
活用する国県補助事業等								
役割分担及び 費用負担	郡山市	・ 本事業の中心となって取り組む。 ・ その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・ 事業実施に必要な費用を負担する。						
	連携市町村	・ 郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・ 各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。						
成果指標 (KPI)	指標			現状値（2018 年度）		目標値（2023 年度）		
	圏域内住民が図書館利用登録 できる市町村数			3 市町村		10 市町村		

事業名	生涯学習施設の広域利用					SDGs			
重点プロジェクト									
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町	
	○	○	○	○	○	○	○	○	
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町		
	○	○	○	○	○	○	○		
事業概要	圏域内における生涯学習機会の充実に連携して取り組む。 ○圏域内の生涯学習施設の有効活用（連携事業・貸館等での相互利用） ○講師等人材バンクの構築 ○人材育成（職員スキルアップ等）に係る研修会の実施 等								
連携効果	圏域全体の生涯学習の推進、施設の有効活用とともに、交流人口の増加が期待できる。								
事業費 （千円）	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計			
	987	987	987	987	987	4,935			
活用する国県補助事業等									
役割分担及び費用負担	郡山市	・本事業の中心となって取り組む。 ・その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・事業実施に必要な費用を負担する。							
	連携市町村	・郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。							
成果指標 （KPI）	指標		現状値（2018 年度）		目標値（2023 年度）				
	連携事業の実施回数		4 回		20 回				

事業名	教職員等交流					SDGs		
重点プロジェクト								
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町
	○	○	○	○	○	○	○	○
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町	
	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	圏域内の教職員等の交流を促進し、実践的指導力及び教職員としての資質能力を高める。 ○「郡山の教育」実践発表会 ○郡山市公立学校教職員研究物展 ○教職員専門研修 ○100Mbps スクールネットワークを活用した交流 ○コミュニティスクール交流事業							
連携効果	教職員の資質向上、教職員・児童生徒間の交流等が促進されるとともに、共通して抱える教育課題の解決が図られる。							
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計		
	773	773	773	773	773	3,865		
活用する国県補助事業等								
役割分担及び 費用負担	郡山市	・本事業の中心となって取り組む。 ・その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・事業実施に必要な費用を負担する。						
	連携市町村	・郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。						
成果指標 (KPI)	指標		現状値 (2018 年度)		目標値 (2023 年度)			
	研修会等への参加者数		1,972 人		2,600 人			

事業名	文化体育施設の広域利用					SDGs			
重点プロジェクト									
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町	
	○	○	○	○	○	○	○	○	
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町		
	○	○	○	○	○	○	○		
事業概要	圏域内における文化体育施設の相互利用促進、有効活用を図る。 ○広域圏ポータルサイトへの施設・イベントに関する情報掲載 ○イベント等の連携検討								
連携効果	施設の有効活用、交流人口等の増加が期待できる。								
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計			
	－	－	－	－	－	－			
活用する国県補助事業等									
役割分担及び 費用負担	郡山市	・本事業の中心となって取り組む。 ・その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・事業実施に必要な費用を負担する。							
	連携市町村	・郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。							
成果指標 (KPI)	指標			現状値（2017 年度）		目標値（2023 年度）			
	文化ホール・体育施設利用者数			3,559,436 人		3,600,000 人			

③ 広域的な土地利用の促進

事業名					都市づくりに関する研究会		S D G s			
重点プロジェクト		Ⅳ オープンイノベーション プロジェクト								
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町		
	○	○	○	○	○	○	○	○		
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町			
	○	○	○	○	○	○	○			
事業概要		圏域内の様々な都市の特徴や特性を活かしたまちづくりを進めるため、都市に関する意見交換・情報交換等を通じて広域的な調整を図る。								
連携効果		各自治体の地域特性を活かした事業展開が期待できる。								
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計				
	—	—	—	—	—	—				
活用する国県補助事業等										
役割分担及び 費用負担	郡山市	・ 本事業の中心となって取り組む。 ・ その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・ 事業実施に必要な費用を負担する。								
	連携市町村	・ 郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・ 各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。								
成果指標 (KPI)	指標			現状値 (2018 年度)		目標値 (2023 年度)				
	研究会開催数 (累計)			—		10 回				

④ 地域振興

事業名	スモールスタート支援事業					SDGs			
重点プロジェクト	Ⅴ チャレンジ・スタートアップ プロジェクト								
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町	
	○	○	○	○	○	○	○	○	
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町		
	○	○	○	○	○	○	○		
事業概要	基金を運用する財団や地域団体等によるコンソーシアムにより、まちづくりに資する先駆的かつ実験的な取組を始めようとする個人、事業者、地域団体等を、資金面及びノウハウ面で支援する。								
連携効果	地域課題解決のモデルを圏域市町村で共有することができるとともに、新規事業創出や起業促進につながるなど、地域経済活性化・雇用創出への効果も期待できる。								
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計			
	8,720	8,720	8,720	8,720	8,720	43,600			
活用する国県補助事業等	地方創生推進交付金								
役割分担及び 費用負担	郡山市	・本事業の中心となって取り組む。 ・その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・事業実施に必要な費用を負担する。							
	連携市町村	・郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。							
成果指標 (KPI)	指標			現状値 (2018 年度)		目標値 (2023 年度)			
	プロジェクト支援数			12 件		15 件			

事業名	協働のまちづくり推進事業					SDGs			
重点プロジェクト	V チャレンジ・スタートアップ プロジェクト								
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町	
	○	○	○	○	○	○	○	○	
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町		
	○	○	○	○	○	○	○		
事業概要	住民、町内会、NPO 法人等、事業者及び行政が協働で様々な地域課題を解決するため、圏域での協働意識の醸成、町内会や NPO 法人等の育成・支援を図る。 ○郡山市市民活動サポートセンターの広域的利活用 ○協働セミナー・ワークショップの開催 ○町内会等の連携事業の促進								
連携効果	市町村の区域を越えて共通の課題解決が図られることにより、協働の意識醸成、活性化が期待される。								
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計			
	15, 078	15, 078	15, 078	15, 078	15, 078	75, 390			
活用する国県補助事業等									
役割分担及び費用負担	郡山市	・ 本事業の中心となって取り組む。 ・ その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・ 事業実施に必要な費用を負担する。							
	連携市町村	・ 郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・ 各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。							
成果指標 (KPI)	指標			現状値 (2017 年度)		目標値 (2023 年度)			
	郡山市市民活動サポートセンター相談対応件数			1, 611 件		1, 750 件			

事業名	ユニバーサルデザイン推進事業					SDGs		
重点プロジェクト								
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町
	○	○	○	○	○	○	○	○
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町	
	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	障がいの有無、年齢、言語、性別等の違いにかかわらず、誰もが、自分らしく、より快適に暮らすことができるよう、圏域でのセミナー等をとおしてユニバーサルデザインについての理解を広める。							
連携効果	ユニバーサルデザインに対する住民の理解促進、関心喚起が期待できる。							
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計		
	483	483	483	483	483	2,415		
活用する国県補助事業等								
役割分担及び 費用負担	郡山市	・ 本事業の中心となって取り組む。 ・ その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・ 事業実施に必要な費用を負担する。						
	連携市町村	・ 郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・ 各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。						
成果指標 (KPI)	指標		現状値（2017 年度）			目標値（2023 年度）		
	セミナー等参加連携市町村数		4 市町村			14 市町村		

事業名						男女共同参画推進に向けた取組		SDGs			
重点プロジェクト											
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町			
	○	○	○	○	○	○	○	○			
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町				
	○	○	○	○	○	○	○				
事業概要		家庭生活と地域、職場等における男女共同参画を圏域で連携して推進するために、講演会・セミナー等の開催や各種イベント等における啓発活動等を行う。									
連携効果		圏域内における理解が促進され、男女共同参画社会づくりが進むことが期待できる。									
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計					
	711	711	711	711	711	3,555					
活用する国県補助事業等		地域人権啓発活性化事業費補助金									
役割分担及び 費用負担	郡山市	・ 本事業の中心となって取り組む。 ・ その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・ 事業実施に必要な費用を負担する。									
	連携市町村	・ 郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・ 各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。									
成果指標 (KPI)	指標			現状値 (2017 年度)			目標値 (2023 年度)				
	男女共同参画に関する連携事業数			—			3 事業				

事業名						多様な働き方支援事業		SDGs			
重点プロジェクト											
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町			
	○	○	○	○	○	○	○	○			
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町				
	○	○	○	○	○	○	○				
事業概要		フリーター及びニートと呼ばれる若年無業者や、高齢化・複雑化する 59 歳までの就労困難者の社会参加と生活基盤の安定を図るため、個人の意欲に応じた働き方ができるよう切れ目のない支援を実施する。 ○若年無業者や 59 歳までの就労困難者の相談窓口設置 ○キャリア面談、就職準備講座、就労体験等の実施 ○国、県等の関係機関との意見交換会									
連携効果		若年無業者や就労困難者の実態把握と相談体制の充実が図られ、個人の意欲に応じた働き方につながる事が期待できる。									
事業費 (千円)	2019 年度		2020 年度		2021 年度		2022 年度		2023 年度		計
	6,149		6,149		6,149		6,149		6,149		30,745
活用する国県補助事業等											
役割分担及び 費用負担	郡山市		・本事業の中心となって取り組む。 ・その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・事業実施に必要な費用を負担する。								
	連携市町村		・郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。								
成果指標 (KPI)	指標				現状値 (2017 年度)				目標値 (2023 年度)		
	進路決定者数				2 人				8 人		

⑤ 災害対策・住民の安全安心確保

事業名	災害対策					S D G s			
重点プロジェクト	Ⅵ 住民の安全・安心 プロジェクト								
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町	
	○	○	○	○	○	○	○	○	
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町		
	○	○	○	○	○	○	○		
事業概要	圏域全体での災害対策の推進を図るため、大規模災害等を想定した市町村域を超えた広域避難や被災市町村への災害派遣等の相互応援体制の確保、職員や自主防災組織等の相互交流等による防災体制の充実に取り組む。 ○消防相互応援、大規模災害時における広域避難体制の強化、災害時備蓄品の相互利用 ○協定締結等による相互応援・広域避難・備蓄品相互利用 ○自主防災組織や職員等を対象とした防災セミナーの実施								
連携効果	災害時備蓄品の相互利用による経費節減や、避難所の相互利用による圏域住民の安全確保等が期待される。自主防災組織等の相互交流による組織の活性化により、地域防災力の向上が期待される。								
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計			
	324	324	324	324	324	1,620			
活用する国県補助事業等									
役割分担及び 費用負担	郡山市	・本事業の中心となって取り組む。 ・その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・事業実施に必要な費用を負担する。							
	連携市町村	・郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。							
成果指標 (KPI)	指標		現状値 (2018 年度)			目標値 (2020 年度)			
	自主防災組織カバー率		92.0%			93.7%			

事業名	セーフコミュニティの推進				SDGs						
重点プロジェクト	VI 住民の安全・安心 プロジェクト										
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町			
	○	○	○	○	○	○	○	○			
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町				
	○	○	○	○	○	○	○				
事業概要	圏域全体における安全・安心を推進するため、セーフコミュニティの活動、成果、及びノウハウ等の情報を共有する。 ○交通事故多発地点マップによる啓発 ○放置自転車対策 ○違法客引きゼロ対策 ○セーフコミュニティフェスタ 等										
連携効果	圏域全体における安全・安心に対する意識が高まり、住民のけがや事故が減少するとともに、圏域全体の安全・安心なイメージが期待される。										
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計					
	5,682	11,437	13,889	13,889	13,889	58,786					
活用する国県補助事業等											
役割分担及び 費用負担	郡山市	・本事業の中心となって取り組む。 ・その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・事業実施に必要な費用を負担する。									
	連携市町村	・郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。									
成果指標 (KPI)	指標			現状値 (2017 年)			目標値 (2023 年)				
	圏域内の交通事故死傷者数			2,203 人			1,100 人				

⑥ 環境対策の推進

事業名	地球温暖化対策事業					SDGs		
重点プロジェクト	Ⅳ オープンイノベーション プロジェクト							
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町
	○	○	○	○	○	○	○	○
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町	
	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	気候変動適応法の施行を受け、地域における適応策の検討を行う。 ○気候変動適応法に係る研究会の設置、セミナー開催（国立環境研究所との連携）							
連携効果	気候変動適応法への対応から地球温暖化対策全般へのステップアップが可能である。							
事業費 （千円）	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計		
	24, 468	24, 468	24, 468	24, 468	24, 468	122, 340		
活用する国県補助事業等								
役割分担及び 費用負担	郡山市	・ 本事業の中心となって取り組む。 ・ その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・ 事業実施に必要な費用を負担する。						
	連携市町村	・ 郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・ 各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。						
成果指標 （KPI）	指標		現状値（2018 年度）		目標値（2023 年度）			
	気候変動適応法に係る研究会 （セミナー）の開催数		2 回		4 回			

事業名	エネルギー地産地消促進					SDGs		
重点プロジェクト	Ⅳ オープンイノベーション プロジェクト							
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町
	○	○	○	○	○	○	○	○
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町	
	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	環境負荷の低減や災害時の対応のため、こおりやま広域圏の連携を視野にいたした「地域新電力」構築に向けた具体的検討を行う。 ○電源調達先、売電先の調査 ○広域圏における地域新電力の可能性調査							
連携効果	再エネの有効利用と災害に強い電力ネットワークの構築、地域の再生可能エネルギーの活用による経済効果が期待できる。							
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計		
	12,223	20,000	—	—	—	32,223		
活用する国県補助事業等	環境省又は経済産業省の補助を予定							
役割分担及び費用負担	郡山市	・本事業の中心となって取り組む。 ・その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・事業実施に必要な費用を負担する。						
	連携市町村	・郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。						
成果指標 (KPI)	指標		現状値（2015 年）		目標値（2020 年）			
	再生可能エネルギー導入割合 (参考：郡山市)		24%		30%			

事業名					有害鳥獣被害防止対策事業		SDGs						
重点プロジェクト					Ⅵ 住民の安全・安心 プロジェクト								
関係市町村					郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町	
					○	○	○	○	○	○	○	○	
					石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町		
					○	○	○	○	○	○	○		
事業概要					イノシシ等による被害防止及び捕獲処分等、有害鳥獣被害防止対策に連携して取り組む。 ○情報共有、意見交換 ○広域的な捕獲体制の検討								
連携効果					成果や課題を共有し、連携して取り組むことにより、有害鳥獣被害防止体制の強化が期待される。								
事業費 (千円)					2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計			
					31,089	31,000	31,000	31,000	31,000	155,089			
活用する国県補助事業等					福島県鳥獣被害防止対策交付金、うつくしま権限移譲交付金								
役割分担及び 費用負担					郡山市	・ 本事業の中心となって取り組む。 ・ その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・ 事業実施に必要な費用を負担する。							
					連携市町村	・ 郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・ 各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。							
成果指標 (KPI)					指標			現状値 (2018 年度)		目標値 (2022 年度)			
					農作物被害額 (参考値：郡山市)			8,568 千円		6,854 千円			

⑦ 地域公共交通の充実

事業名	(再掲) 広域的な交通網の形成促進					S D G s			
重点プロジェクト									
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町	
	○	○	○	○	○	○	○	○	
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町		
	○	○	○	○	○	○	○		
事業概要	鉄道、路線バスをはじめとする地域交通の課題等について検討を行い、高齢者や交通弱者の移動手段の確保や利用しやすい交通網形成による利便性の向上を図る。 ○圏域自治体によるニーズ調査・検討 ○モビリティマネジメントによる広域連携								
連携効果	利用しやすい交通網形成による住民生活利便性の向上、高齢者などの交通弱者に対する移動手段の確保により、利用者増加に伴う持続可能な公共交通の形成が期待できる。								
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計			
	178, 280	178, 280	178, 280	178, 280	178, 280	891, 400			
活用する国県補助事業等									
役割分担及び 費用負担	郡山市	・ 本事業の中心となって取り組む。 ・ その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・ 事業実施に必要な費用を負担する。							
	連携市町村	・ 郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・ 各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。							
成果指標 (KPI)	指標			現状値 (2018 年)		目標値 (2023 年)			
	公共交通利用者数 (圏域内のＪＲ有人駅及び圏域内複数市町村をまたぐバス路線「地域間幹線系統」の利用者数)			約 1,111 万人		約 1,139 万人			

⑧ ICTインフラの整備

事業名	Web会議システムの運用					SDGs		
重点プロジェクト	Ⅱ ICT・カイゼン プロジェクト							
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町
	○	○	○	○	○	○	○	○
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町	
	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	圏域の会議等でWeb会議システムを利用する。							
連携効果	移動時間や経費を削減する。 会議だけではなく、個別の打合せにおいても使用することができる。							
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計		
	916	1,000	1,000	1,000	1,000	4,916		
活用する国県補助事業等								
役割分担及び費用負担	郡山市	・本事業の中心となって取り組む。 ・その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・事業実施に必要な費用を負担する。						
	連携市町村	・郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。						
成果指標 (KPI)	指標		現状値（2018 年度）		目標値（2023 年度）			
	Web 会議システムを利用した会議等の回数		1 回		12 回			

事業名	自治体クラウドの推進					SDGs		
重点プロジェクト	Ⅱ ICT・カイゼン プロジェクト							
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町
	○	○	○	○	○	○	○	○
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町	
	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	圏域内の自治体が共同で利用できるクラウドの検討を行う。 検討期間は、2020 年度までの 2 年間とし、具体的な整備計画を策定する。							
連携効果	情報システムの運用について、単独自治体でクラウドを利用するよりも経費の削減となる。また、高いレベルの情報セキュリティが確保できる。							
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計		
	—	—	—	—	—	—		
活用する国県補助事業等								
役割分担及び 費用負担	郡山市	・ 本事業の中心となって取り組む。 ・ その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・ 事業実施に必要な費用を負担する。						
	連携市町村	・ 郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・ 各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。						
成果指標 (KPI)	指標		現状値（2018 年度）		目標値（2023 年度）			
	自治体クラウドの検討に参加している市町村数		—		15 市町村			

事業名	オープンデータ利活用推進事業					SDGs			
重点プロジェクト	Ⅱ ICT・カイゼン プロジェクト								
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町	
	○	○	○	○	○	○	○	○	
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町		
	○	○	○	○	○	○	○		
事業概要	自治体が保有するデータを住民や企業等が容易に二次利用できる形式で公開する。								
連携効果	住民サービスの向上や市民協働によるまちづくりの促進が図られる。 新たな価値の創造、商品、サービスの開発による経済の活性化が期待できる。								
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計			
	—	—	—	—	—	—			
活用する国県補助事業等									
役割分担及び 費用負担	郡山市	・ 本事業の中心となって取り組む。 ・ その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・ 事業実施に必要な費用を負担する。							
	連携市町村	・ 郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・ 各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。							
成果指標 (KPI)	指標			現状値 (2018 年度)		目標値 (2023 年度)			
	オープンデータ公開市町村数			1 市町村		15 市町村			

事業名	根拠に基づく政策立案（EBPM）の推進					SDGs			
重点プロジェクト	Ⅱ ICT・カイゼン プロジェクト								
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町	
	○	○	○	○	○	○	○	○	
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町		
	○	○	○	○	○	○	○		
事業概要	各種の統計データやRESAS等を活用し、圏域内のデータ分析を行う。								
連携効果	データに基づいた根拠のある政策立案が可能となる。								
事業費 （千円）	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計			
	238	238	238	238	238	1,190			
活用する国県補助事業等									
役割分担及び 費用負担	郡山市	・ 本事業の中心となって取り組む。 ・ その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・ 事業実施に必要な費用を負担する。							
	連携市町村	・ 郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・ 各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。							
成果指標 （KPI）	指標		現状値（2018 年度）			目標値（2023 年度）			
	統計研修会の参加者数（累計）		98 人			250 人			

⑨ 道路等の社会インフラの整備・維持

事業名						道 路 等 の 交 通 イン フ ラ 整 備		S D G s			
重点プロジェクト											
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町			
	○	○	○	○		○		○			
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町				
	○	○	○	○	○	○	○				
事業概要		圏域内のアクセス道路の機能整備に向け、国、県に対する整備要望を行う等、連携して取り組む。									
連携効果		圏域内幹線道路の整備促進、交通渋滞の軽減等が図られる。									
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計					
	—										
活用する国県補助事業等											
役割分担及び 費用負担	郡山市	・ 本事業の中心となって取り組む。 ・ その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・ 事業実施に必要な費用を負担する。									
	連携市町村	・ 郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・ 各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。									
成果指標 (KPI)	指標			現状値（2018 年度）			目標値（2023 年度）				
	都市内交通流入分散（圏域内 特定渋滞箇所数）			42 箇所			41 箇所				

事業名	インフラメンテナンス連携推進事業					S D G s			
重点プロジェクト									
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町	
	○	○	○	○		○	○	○	
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町		
	○	○	○	○	○	○	○		
事業概要	インフラメンテナンスに係るフォーラムを共同開催し、各自治体の職員間の情報共有を図る。								
連携効果	各自治体の地域課題や取り組み事例等を情報共有し議論を深めることにより、有力な課題解決の方策の検討が期待できる。								
事業費 （千円）	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計			
	—	—	—	—	—	—			
活用する国県補助事業等									
役割分担及び 費用負担	郡山市	・ 本事業の中心となって取り組む。 ・ その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・ 事業実施に必要な費用を負担する。							
	連携市町村	・ 郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・ 各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。							
成果指標 （KPI）	指標			現状値（2018 年度）		目標値（2023 年度）			
	地域課題及び取組事例等の情報共有（累計）			—		5 件			

事業名	上下水道技術研修の実施					SDGs		
重点プロジェクト								
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町
	○	○	○	○	○	○	○	○
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町	
	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	上下水道技術に係る各種研修を実施し、圏域自治体間でノウハウ等の共有を図る。							
連携効果	圏域自治体職員の人材育成と技術継承が図られるとともに、職員交流や情報交換をとおして各自自治体を持つ知識やノウハウが共有される。							
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計		
	－	－	－	－	－	－		
活用する国県補助事業等								
役割分担及び 費用負担	郡山市	・ 本事業の中心となって取り組む。 ・ その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・ 事業実施に必要な費用を負担する。						
	連携市町村	・ 郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・ 各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。						
成果指標 (KPI)	指標		現状値 (2017 年度)		目標値 (2023 年度)			
	研修会参加者数		56 人／回		292 人／回			

事業名	公共施設等マネジメント推進事業					SDGs		
重点プロジェクト								
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町
	○	○	○	○	○	○	○	○
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町	
	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	圏域における公共施設等マネジメントの推進を図るため、職員を対象とした研修会を開催する。							
連携効果	公共施設等マネジメントの必要性について職員の理解が深まるとともに、意識及び資質が向上することにより、圏域内の公共施設マネジメントの推進が図られる。							
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計		
	120	120	120	120	120	600		
活用する国県補助事業等								
役割分担及び 費用負担	郡山市	・ 本事業の中心となって取り組む。 ・ その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・ 事業実施に必要な費用を負担する。						
	連携市町村	・ 郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・ 各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。						
成果指標 (KPI)	指標			現状値		目標値		
	2021 年度に検討 (圏域市町村の公共施設等総合管理計画の個別施設計画策定後に設定)			—		—		

事業名	P P P／P F I の調査検討					S D G s		
重点プロジェクト	Ⅳ オープンイノベーション プロジェクト							
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町
	○	○	○	○	○	○	○	○
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町	
	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	「こおりやまエリアプラットフォーム」を運営し、圏域の住民満足の向上及び事務の効率化等のため、PPP／PFI を推進する。							
連携効果	圏域全体における民間事業者及び市町村職員の PPP／PFI の識見の向上、官民対話による事業化の推進が図られる。							
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計		
	75	75	75	75	75	375		
活用する国県補助事業等								
役割分担及び 費用負担	郡山市	・ 本事業の中心となって取り組む。 ・ その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・ 事業実施に必要な費用を負担する。						
	連携市町村	・ 郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・ 各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。						
成果指標 (KPI)	指標		現状値 (2018 年度)			目標値 (2023 年度)		
	圏域内における PFI 件数 (累計)		—			1 件		

⑩ 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消

事業名					地域農業「学び」推進事業		SDGs				
重点プロジェクト											
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町			
	○	○	○	○	○	○	○	○			
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町				
	○	○	○	○	○	○	○				
事業概要		農業や食品産業の風評払しょくと復興を推進する。 ○大学との連携による公開授業の開催									
連携効果		圏域内の「食と農」への関心を高め、地域農業の活性化を図る。									
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計					
	473	473	473	473	473	2,365					
活用する国県補助事業等											
役割分担及び 費用負担	郡山市	・本事業の中心となって取り組む。 ・その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・事業実施に必要な費用を負担する。									
	連携市町村	・郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。									
成果指標 (KPI)	指標		現状値（2015～2017 年度）			目標値（2023 年度）					
	公開授業の来場者数		60 名／回			70 名／回					

事業名	(再掲) 6次産業化プロジェクト					SDGs			
重点プロジェクト	Ⅲ エリアプロモーション プロジェクト								
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町	
	○	○	○	○	○	○	○	○	
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町		
	○	○	○	○	○	○	○		
事業概要	圏域内の地域資源を活用し、農産物や農産加工品の生産流通及び消費拡大による農業の活性化を図る。 ○ふくしま逢瀬ワイナリーと連携したイベントの実施 ○食の魅力向上やブランド確立に向けた検討								
連携効果	広域圏内の食の魅力が高まり、消費拡大、ブランド確立による認知度の向上が期待できる。								
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計			
	11,548	11,548	11,548	11,548	11,548	57,740			
活用する国県補助事業等									
役割分担及び費用負担	郡山市	・本事業の中心となって取り組む。 ・その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・事業実施に必要な費用を負担する。							
	連携市町村	・郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。							
成果指標 (KPI)	指標			現状値 (2018 年度)		目標値 (2023 年度)			
	ワイナリーフェス商品出品市町村数			1 市町村		10 市町村			

事業名	(再掲) 物産振興事業					SDGs		
重点プロジェクト	Ⅲ エリアプロモーション プロジェクト							
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町
	○	○	○	○	○	○	○	○
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町	
	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	圏域内特産品を、圏域内外においてイベント展示、出店等を共同で実施する。また、共同で実施するに当たり、効果的かつ効率的に事業を進めるためのデータ収集を行う。							
連携効果	物産展の共同実施により、圏域のプロモーション活動をはじめ、効率的な物産展の運営及び新たな販売ルートの開拓が期待できる。							
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計		
	6,218	6,218	6,218	6,218	6,218	31,090		
活用する国県補助事業等								
役割分担及び 費用負担	郡山市	・本事業の中心となって取り組む。 ・その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・事業実施に必要な費用を負担する。						
	連携市町村	・郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。						
成果指標 (KPI)	指標		現状値 (2017 年)		目標値 (2023 年)			
	観光客入込数		1,095 万人		1,150 万人			

⑪ 圏域内外の住民との交流・移住促進

事業名	移住・定住促進事業					SDGs			
重点プロジェクト	Ⅲ エリアプロモーション プロジェクト								
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町	
	○	○	○	○	○	○	○	○	
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町		
	○	○	○	○	○	○	○		
事業概要	地方創生の取組の中で、地方への新しい人の流れをつくるため、移住・定住関連事業を実施する。 ○空き家情報の提供を広域圏の枠組みで連携 ○こおりやま広域圏の魅力発信、潜在的な移住希望者の掘り起こし ○民間企業等との連携を検討								
連携効果	各市町村が持つ魅力を圏域単位でPRすることで、効果的・効率的な情報提供が可能となり、移住先として圏域単位で興味を持ってもらえるようになる。								
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計			
	18,551	18,500	18,500	18,500	18,500	92,551			
活用する国県補助事業等	UIJ ターン支援補助金								
役割分担及び 費用負担	郡山市	・本事業の中心となって取り組む。 ・その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・事業実施に必要な費用を負担する。							
	連携市町村	・郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。							
成果指標 (KPI)	指標		現状値 (2018 年度)		目標値 (2023 年度)				
	国等の制度を活用した UIJ ターン件数		—		30 件				

事業名						婚活支援事業		SDGs			
重点プロジェクト											
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町			
	○	○	○	○	○	○	○				
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町				
	○	○	○	○	○	○	○				
事業概要		圏域で連携して若者の出会いを創出するイベントを開催する。 ○自治体間の人事交流を通じた出会いの場の創出 ○民間企業への広域圏を対象とした婚活イベントの提案									
連携効果		若者に対する「出会いの場」の創出・拡大が図られ、結婚に向けた機会の増加が期待される。									
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計					
	—	—	—	—	—	—					
活用する国県補助事業等											
役割分担及び 費用負担	郡山市	・本事業の中心となって取り組む。 ・その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・事業実施に必要な費用を負担する。									
	連携市町村	・郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。									
成果指標 (KPI)	指標			現状値（2018 年度）		目標値（2023 年度）					
	イベント開催数			—		2 回					

⑫ 圏域マネジメント能力の強化

事業名	職員相互交流事業（「人財」育成事業）					SDGs			
重点プロジェクト									
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町	
	○	○	○	○		○	○	○	
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町		
	○	○	○	○	○	○	○		
事業概要	圏域内職員の相互交流により職員の資質向上を図るとともに、人材の共有等についても検討し、圏域全体での「人財」発掘・育成を進める。								
連携効果	連携への機運や一体感が醸成されるとともに、圏域全体の職員の底上げが図られ、住民サービスの向上が期待できる。								
事業費 （千円）	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計			
	－	－	－	－	－	－			
活用する国県補助事業等									
役割分担及び 費用負担	郡山市	・ 本事業の中心となって取り組む。 ・ その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・ 事業実施に必要な費用を負担する。							
	連携市町村	・ 郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・ 各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。							
成果指標 （KPI）	指標			現状値（2018 年度）		目標値（2023 年度）			
	派遣職員報告会の情報共有			－		14 人			

事業名					研修等ネットワーク構築及び共同開催		SDGs			
重点プロジェクト		Ⅳ オープンイノベーション プロジェクト								
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町		
	○	○	○	○	○	○	○	○		
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町			
	○	○	○	○	○	○	○			
事業概要		圏域内の市町村それぞれが実施する研修、講演会等の開催情報を共有し、他市町村職員の参加を可能とする。また、研修、講演会等を圏域で共同企画、開催する。								
連携効果		多様な研修に参加する機会が得られることにより、人材育成の促進、交流の拡大が図られるとともに、個々の経費負担の減少も期待される。								
事業費 (千円)		2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計			
		400	450	500	550	600	2,500			
活用する国県補助事業等										
役割分担及び 費用負担		郡山市	・ 本事業の中心となって取り組む。 ・ その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・ 事業実施に必要な費用を負担する。							
		連携市町村	・ 郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・ 各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。							
成果指標 (KPI)		指標			現状値 (2017 年度)		目標値 (2023 年度)			
		相互参加可能な研修等メニュー数			42 件		60 件			

事業名	カイゼン運動の推進					SDGs			
重点プロジェクト	Ⅱ ICT・カイゼン プロジェクト								
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町	
	○	○	○	○	○	○	○	○	
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町		
	○	○	○	○	○	○	○		
事業概要	こおりやま☆カイゼン運動について、圏域での横展開を図る。 また、カイゼン実績等、圏域市町村の取組を共有し、業務効率化、住民サービス向上につなげる。								
連携効果	他市町村の事例を取り入れ、さらに発展させたカイゼンを実践することができるようになるとともに、圏域全体におけるカイゼン風土の醸成、住民サービス向上が図られる。								
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計			
	359	359	359	359	359	1,795			
活用する国県補助事業等									
役割分担及び 費用負担	郡山市	・本事業の中心となって取り組む。 ・その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・事業実施に必要な費用を負担する。							
	連携市町村	・郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。							
成果指標 (KPI)	指標			現状値（2018 年度）		目標値（2023 年度）			
	連携市町村からのカイゼン事例報告数			—		14 件			

事業名		こおりやま広域圏チャレンジ「新発想」研究塾				SDGs			
重点プロジェクト		Ⅴ チャレンジ・スタートアップ プロジェクト							
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町	
	○	○	○	○	○	○	○	○	
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町		
	○	○	○	○	○	○	○		
事業概要		圏域内市町村が共有する政策課題や取組をテーマとして共同研究チームを編成し、圏域の課題に対する解決策を検討する。							
連携効果		各市町村の持つ各種の課題について客観的な分析が可能になるとともに、職員の人材育成、相互理解が図られる。							
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計			
	1,630	1,630	1,630	1,630	1,630	8,150			
活用する国県補助事業等									
役割分担及び 費用負担	郡山市	・ 本事業の中心となって取り組む。 ・ その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・ 事業実施に必要な費用を負担する。							
	連携市町村	・ 郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・ 各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。							
成果指標 (KPI)	指標		現状値（2018 年度）			目標値（2023 年度）			
	広域連携事業化数（累計）		－			5 件			

事業名	広域圏インフォメーション事業					SDGs		
重点プロジェクト	Ⅲ エリアプロモーション プロジェクト							
関係市町村	郡山市	須賀川市	田村市	本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村	猪苗代町
	○	○	○	○	○	○	○	○
	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町	
	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	圏域内市町村の広報紙やウェブサイト、SNS 等を活用し、15 市町村のイベント、季節の風物詩などの地域資源情報を発信する。							
連携効果	地域資源情報の共有により、交流人口の増加が期待される。							
事業費 (千円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	計		
	16	0	0	0	0	16		
活用する国県補助事業等								
役割分担及び 費用負担	郡山市	・ 本事業の中心となって取り組む。 ・ その他、必要に応じて連携市町村との協議により決定する。 ・ 事業実施に必要な費用を負担する。						
	連携市町村	・ 郡山市と連携・協力し、本事業に共同で取り組む。 ・ 各市町村が取り組む事業に係る費用は、必要に応じて各市町村が負担する。						
成果指標 (KPI)	指標			現状値 (2018 年度)		目標値 (2023 年度)		
	取扱コンテンツ数			16 件		32 件		

発行 郡山市

〒963-8601 福島県郡山市朝日一丁目 23 番 7 号

編集 郡山市 政策開発部 政策開発課 連携中枢都市圏推進係

TEL:024-924-2021 FAX:024-924-2822

E-mail:seisaku-kaihatsu@city.koriyama.lg.jp

郡山市ウェブサイト <https://www.city.koriyama.lg.jp/>

発行日 2019（平成 31）年 3 月